

---

---

大谷大学・大谷大学短期大学部  
在学生満足度アンケート調査  
結果報告書

---

---

2018年3月

大谷大学・大谷大学短期大学部  
自己点検・評価委員会

# 目 次

---

調査概要	4
【文学部編】	
回答者の属性	6
Ⅰ. 大谷大学への進学について	
1. 大学進学を選んだ理由	20
2. 大谷大学への入学決定理由	21
3. 卒業後の希望進路	23
Ⅱ. 大谷大学の建学の理念・目的について	
1. 建学の理念の認知度	24
2. 建学の理念を感じる機会	25
Ⅲ. 大谷大学での取り組みについて	
1. 身についた能力や知識・技能	26
2. 入学後の自己認識・評価	27
Ⅳ. 大谷大学での学業について	
1. 授業出席率	28
2. 授業欠席理由	29
3. 授業理解度	30
4. 授業を理解できない理由	31
Ⅴ. 大谷大学に対する評価や満足度について	
1. 「A.授業」の評価	32
2. 「B.学びの環境」の評価	33
3. 「C.教員」の評価	34
4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価	35
5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価	37
6. 「F.福利厚生施設・設備など」の評価	39
7. 「G.教育施設・設備など」の評価	40
8. 「H.その他」の評価	46
9. 各カテゴリーの満足度	47
Ⅵ. 大谷大学に対する満足度について	
1. 大谷大学への満足度	48
2. 入学時の満足度と現在の満足度の比較	49

# 目 次

---

## 【短期大学部編】

回答者の属性	51
I. 大谷大学短期大学部への進学について	
1. 大谷大学短期大学部進学を選んだ理由	60
2. 大谷大学短期大学部への入学決定理由	61
3. 卒業後の希望進路	63
II. 大谷大学の建学の理念・目的について	
1. 建学の理念の認知度	64
2. 建学の理念を感じる機会	65
III. 大谷大学短期大学部での取り組みについて	
1. 身についた能力や知識・技能	66
2. 入学後の自己認識・評価	67
IV. 大谷大学短期大学部での学業について	
1. 授業出席率	68
2. 授業欠席理由	69
3. 授業理解度	70
4. 授業を理解できない理由	71
V. 大谷大学短期大学部に対する評価や満足度について	
1. 「A.授業」の評価	72
2. 「B.学びの環境」の評価	73
3. 「C.教員」の評価	74
4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価	75
5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価	77
6. 「F.福利厚生施設・設備など」の評価	79
7. 「G.教育施設・設備など」の評価	80
8. 「H.その他」の評価	87
9. 各カテゴリーの満足度	88
VI. 大谷大学短期大学部に対する満足度について	
1. 大谷大学短期大学部への満足度	89
2. 入学時の満足度と現在の満足度の比較	90

# 目 次

---

## 【大学院編】

回答者の属性	92
I. 大谷大学大学院での学業・取り組みについて	
1. 大谷大学大学院への進学理由	94
2. 大谷大学大学院で意欲的に取り組んでいること	95
3. 専門研究の進行状況	96
4. 入学後の自己認識・評価	97
II. 大谷大学の建学の理念・目的について	
1. 建学の理念の認知度	98
2. 建学の理念を感じる機会	99
III. 大谷大学大学院に対する評価や満足度について	
1. 「A.授業」の評価	100
2. 「B.学びの環境」の評価	101
3. 「C.教員」の評価	103
4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価	104
5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価	106
6. 「F.教育施設・設備など」の評価	108
7. 「G.福利厚生施設・設備など」の評価	112
8. 「H.その他」の評価	113
9. 各カテゴリーの満足度	114
IV. 大谷大学大学院に対する満足度について	
1. 大谷大学大学院への満足度	115
付 調査票	
文学部・短期大学部 調査票	117
大学院 調査票	132

# 調査概要

## 1 調査目的

全学的・組織的な自己点検・評価活動の一環として、大学（文学部・短期大学部）および大学院の教育内容や学生生活に対する在学生の満足度を把握し、課題を明らかにするとともに、改善に向けた施策検討のための基礎資料とする。

## 2 調査対象

- 大谷大学 文学部在学生 全員
- 大谷大学 短期大学部在学生 全員
- 大谷大学大学院 在学生 全員

## 3 調査方法

- 文学部、短期大学部

学内配付・回収（授業中に実施し（30分程度）、その場で回収。）

- 大学院

学内配布・回収（授業中に実施（30分程度）。持ち帰りの場合は記入後、後日回収ボックスにて回収。）

## 4 調査実施時期

- 文学部、短期大学部 2017年11月1日～11月22日
- 大学院 2017年11月1日から学生へ配布。回収締め切りは11月24日。

## 5 依頼数、有効回収数、有効回収率

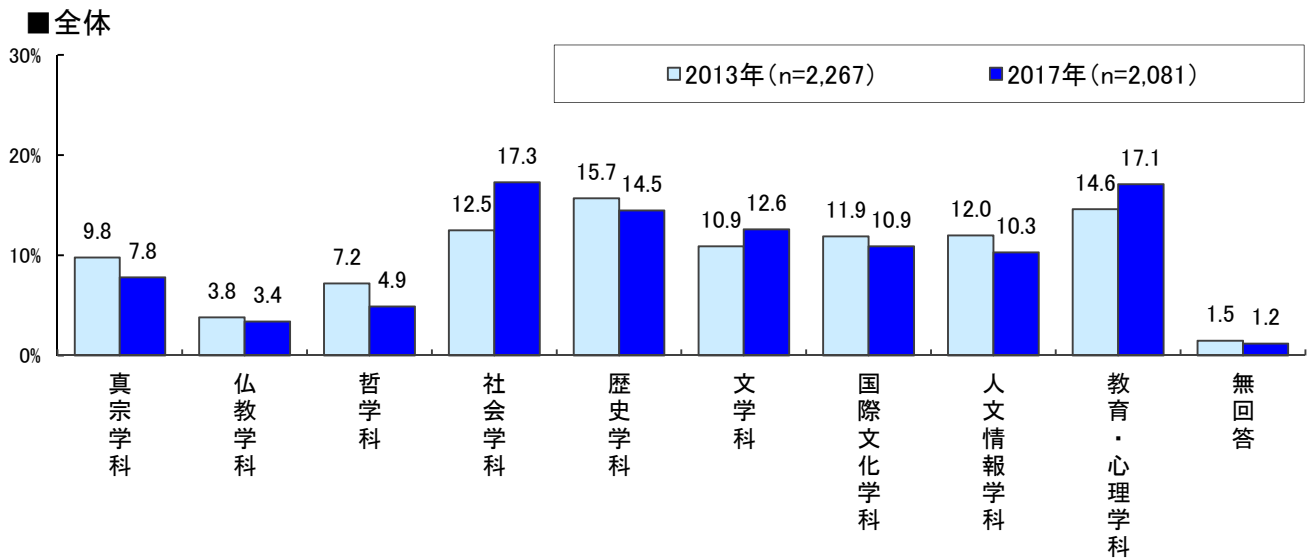
※2013年は参照

調査対象	依頼数 (在学生数)		有効 回収数		有効 回収率	
	2013年	2017年	2013年	2017年	2013年	2017年
大学 全体	3,348	<b>3,189</b>	2,430	<b>2,218</b>	72.6%	<b>69.6%</b>
文学部	3,160	<b>3,033</b>	2,267	<b>2,081</b>	71.7%	<b>68.6%</b>
短期大学部	188	<b>156</b>	163	<b>137</b>	86.7%	<b>87.8%</b>
大学院 全体	122	<b>96</b>	53	<b>50</b>	43.4%	<b>52.1%</b>
修士課程	88	<b>72</b>	38	<b>37</b>	43.2%	<b>51.4%</b>
博士後期課程	34	<b>24</b>	14	<b>11</b>	41.2%	<b>45.8%</b>

## **【文学部編】 調査結果**

# 回答者の属性

## ●学科



## ■学年別／性別

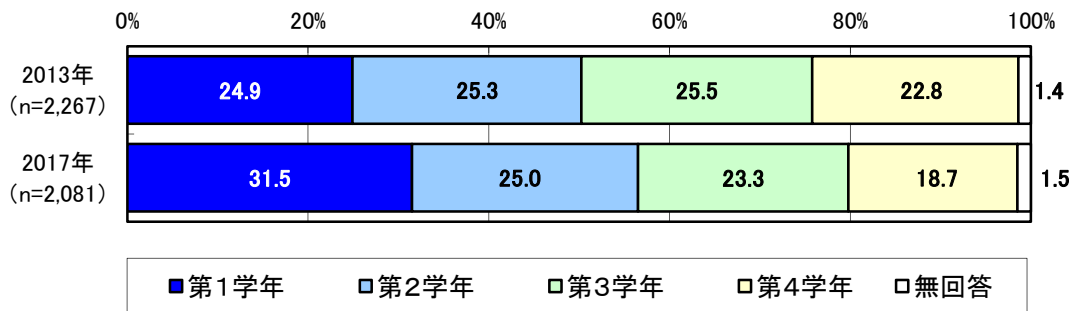
		回答者数 (n)		真宗学科		仏教学科		哲学科		社会学科		歴史学科		%
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	
全体		2,267	2,081	9.8	7.8	3.8	3.4	7.2	4.9	12.5	17.3	15.7	14.5	
学年別	第1学年	565	655	8.3	6.7	3.5	5.3	8.0	4.6	15.0	18.5	16.6	12.7	
	第2学年	573	520	8.4	6.9	4.9	2.5	6.5	5.2	12.2	20.2	17.1	14.6	
	第3学年	579	484	12.1	8.7	4.0	2.3	7.3	4.1	12.3	18.8	13.8	15.9	
	第4学年	518	390	11.2	10.5	2.9	2.8	7.5	6.2	11.2	11.0	16.2	15.4	
性別	男性	1,305	1,217	15.1	11.3	4.7	4.5	7.0	4.3	14.1	21.0	16.3	14.3	
	女性	917	808	2.6	2.8	2.7	1.7	7.9	5.9	10.6	12.6	15.3	14.9	

		回答者数 (n)		文学科		国際文化学		人文学科		教育・心理学		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		2,267	2,081	10.9	12.6	11.9	10.9	12.0	10.3	14.6	17.1	1.5	1.2
学年別	第1学年	565	655	11.7	13.4	11.9	14.4	9.7	12.5	14.9	11.9	0.4	0.0
	第2学年	573	520	11.2	11.7	11.7	8.7	11.5	10.2	16.2	19.8	0.3	0.2
	第3学年	579	484	10.4	13.6	13.3	9.5	13.0	8.1	13.8	18.6	0.2	0.4
	第4学年	518	390	11.0	12.1	11.0	10.8	14.7	9.7	14.1	21.5	0.2	0.0
性別	男性	1,305	1,217	8.0	9.5	9.9	7.6	14.5	12.9	10.1	14.4	0.4	0.2
	女性	917	808	15.6	17.6	15.2	16.3	8.6	6.6	21.5	21.4	0.1	0.1

全体に比べて5ポイント以上高い (Pink background)      全体に比べて5ポイント以上低い (Blue background)

● 学年

■ 全体



■ 学科別／性別

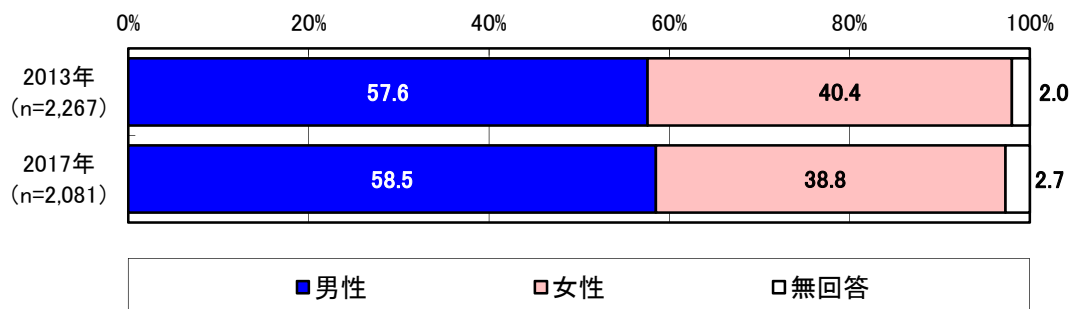
		回答者数		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		2,267	2,081	24.9	31.5	25.3	25.0	25.5	23.3	22.8	18.7	1.4	1.5
学科別	真宗学科	223	163	21.1	27.0	21.5	22.1	31.4	25.8	26.0	25.2	0.0	0.0
	仏教学科	86	71	23.3	49.3	32.6	18.3	26.7	15.5	17.4	15.5	0.0	1.4
	哲学科	164	101	27.4	29.7	22.6	26.7	25.6	19.8	23.8	23.8	0.6	0.0
	社会学科	284	361	29.9	33.5	24.6	29.1	25.0	25.2	20.4	11.9	0.0	0.3
	歴史学科	357	301	26.3	27.6	27.5	25.2	22.4	25.6	23.5	19.9	0.3	1.7
	文学科	248	263	26.6	33.5	25.8	23.2	24.2	25.1	23.0	17.9	0.4	0.4
	国際文化学科	269	227	24.9	41.4	24.9	19.8	28.6	20.3	21.2	18.5	0.4	0.0
	人文情報学科	273	214	20.1	38.3	24.2	24.8	27.5	18.2	27.8	17.8	0.4	0.9
	教育・心理学科	330	355	25.5	22.0	28.2	29.0	24.2	25.4	22.1	23.7	0.0	0.0
性別	男性	1,305	1,217	25.2	31.6	26.5	27.5	25.8	23.0	22.4	17.7	0.1	0.2
	女性	917	808	25.4	33.4	24.2	22.4	26.1	24.3	24.1	19.9	0.2	0.0

■ 全体に比べて5ポイント以上高い ■ 全体に比べて5ポイント以上低い



●性別

■全体



■学科別／学年別

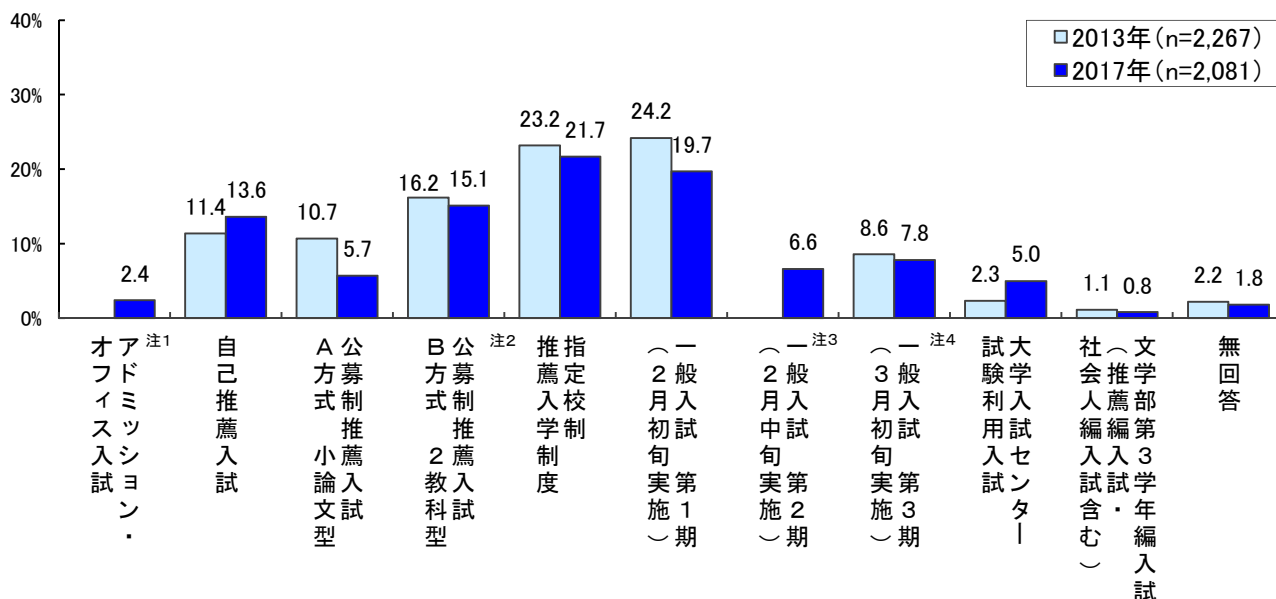
		回答者数 (n)		男性 (%)		女性 (%)		無回答 (%)	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		2,267	2,081	57.6	58.5	40.4	38.8	2.0	2.7
学科別	真宗学科	223	163	88.3	84.7	10.8	14.1	0.9	1.2
	仏教学科	86	71	70.9	77.5	29.1	19.7	0.0	2.8
	哲学科	164	101	55.5	51.5	43.9	47.5	0.6	1.0
	社会学科	284	361	64.8	70.9	34.2	28.3	1.1	0.8
	歴史学科	357	301	59.7	57.8	39.2	39.9	1.1	2.3
	文学科	248	263	41.9	44.1	57.7	54.0	0.4	1.9
	国際文化学科	269	227	48.0	40.5	51.7	58.1	0.4	1.3
	人文情報学科	273	214	69.2	73.4	28.9	24.8	1.8	1.9
教育・心理学科	330	355	40.0	49.3	59.7	48.7	0.3	2.0	
学年別	第1学年	565	655	58.2	58.6	41.2	41.2	0.5	0.2
	第2学年	573	520	60.4	64.4	38.7	34.8	0.9	0.8
	第3学年	579	484	58.2	57.9	41.3	40.5	0.5	1.7
	第4学年	518	390	56.4	55.4	42.7	41.3	1.0	3.3

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い

# ●入学した入試方式

注1、注3 2017年に新しく追加された項目  
 注2 2013年は「公募制推薦入試B方式 教科型」  
 注4 2013年は「一般入試第2期 教科型」として3月に実施したもの

## ■全体



## ■学科別／学年別／性別

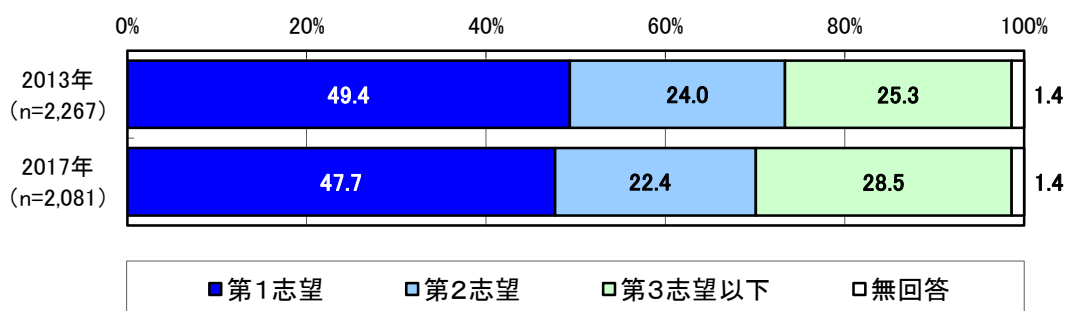
	回答者数 (n)		オフィス入試		自己推薦		小論文式入試		公募制推薦入試		B方式 公募制推薦入試教科型		指定校制推薦入学		一般入試第1期(2月初旬)	
	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
年度 全体	2,267	2,081	—	2.4	11.4	13.6	10.7	5.7	16.2	15.1	23.2	21.7	24.2	19.7	—	—
学科別	真宗学科	223	163	—	3.7	24.7	45.4	17.0	3.7	9.4	4.9	17.5	13.5	16.1	9.2	—
	仏教学科	86	71	—	5.6	14.0	12.7	4.7	4.2	8.1	5.6	20.9	7.0	27.9	26.8	—
	哲学科	164	101	—	4.0	14.0	12.9	9.8	4.0	13.4	10.9	15.9	13.9	27.4	26.7	—
	社会学科	284	361	—	2.2	8.8	15.8	10.2	4.7	15.8	12.5	22.9	27.1	30.3	21.9	—
	歴史学科	357	301	—	2.0	11.8	11.3	9.2	8.0	19.9	19.3	20.4	19.3	26.6	20.3	—
	文学科	248	263	—	0.8	10.9	8.4	11.3	10.6	18.5	16.3	21.8	20.5	29.4	24.0	—
	国際文化学科	269	227	—	3.5	8.9	9.3	8.2	2.2	21.2	16.7	23.0	17.2	25.3	21.1	—
	人文情報学科	273	214	—	3.3	7.3	9.8	16.8	3.7	23.1	25.7	19.8	16.8	18.7	16.8	—
	教育・心理学科	330	355	—	1.1	9.1	8.7	8.2	6.5	10.9	14.9	40.3	34.9	20.6	16.6	—
学年別	第1学年	565	655	—	3.5	14.5	9.8	10.3	4.7	15.8	16.0	20.7	22.0	28.1	21.1	—
	第2学年	573	520	—	2.7	8.6	13.7	12.7	5.0	18.5	14.8	24.8	21.9	23.4	20.0	—
	第3学年	579	484	—	0.4	9.3	15.9	12.4	7.2	16.6	14.5	26.3	22.5	22.6	18.2	—
	第4学年	518	390	—	2.1	14.1	17.9	7.7	6.2	14.3	15.9	22.4	21.0	23.9	19.7	—
性別	男性	1,305	1,217	—	1.8	12.9	15.7	12.3	5.0	14.9	14.8	21.8	23.4	24.5	19.9	—
	女性	917	808	—	3.2	9.8	11.0	8.8	6.6	18.2	16.0	26.2	19.4	24.4	19.8	—

	回答者数 (n)		一般入試第2期(2月中旬)		一般入試第3期(3月初旬)		大学入試センター試験利用入試		文学部第3学年編入試験(社会人編入)		無回答		
	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	
年度 全体	2,267	2,081	—	6.6	8.6	7.8	2.3	5.0	1.1	0.8	2.2	1.8	
学科別	真宗学科	223	163	—	1.8	3.6	1.8	3.6	9.8	4.5	4.3	3.6	1.8
	仏教学科	86	71	—	9.9	20.9	23.9	2.3	2.8	1.2	1.4	0.0	0.0
	哲学科	164	101	—	5.9	6.7	8.9	9.1	11.9	1.8	0.0	1.8	1.0
	社会学科	284	361	—	6.4	9.2	6.1	1.8	2.5	0.7	0.3	0.4	0.6
	歴史学科	357	301	—	5.3	8.4	8.0	2.8	5.0	0.3	1.3	0.6	0.3
	文学科	248	263	—	8.0	6.9	4.6	0.4	5.7	0.0	0.4	0.8	0.8
	国際文化学科	269	227	—	10.6	9.7	13.7	1.1	4.8	1.5	0.4	1.1	0.4
	人文情報学科	273	214	—	6.1	11.7	12.1	1.8	4.7	0.0	0.0	0.7	0.9
	教育・心理学科	330	355	—	6.8	7.9	5.1	1.2	3.9	1.2	0.3	0.6	1.1
学年別	第1学年	565	655	—	6.3	7.8	11.5	2.3	4.3	0.0	0.0	0.5	0.9
	第2学年	573	520	—	7.5	8.4	7.1	2.4	6.7	0.0	0.0	1.2	0.6
	第3学年	579	484	—	6.8	6.6	7.0	2.1	5.4	2.9	1.4	1.2	0.6
	第4学年	518	390	—	6.2	12.4	4.1	2.7	3.8	1.4	2.3	1.2	0.8
性別	男性	1,305	1,217	—	6.0	9.0	8.1	2.5	4.0	1.1	0.7	1.1	0.6
	女性	917	808	—	7.9	8.3	7.5	2.2	6.8	1.2	0.7	0.9	1.0

全体に比べて5ポイント以上高い (ピンク色) / 全体に比べて5ポイント以上低い (水色)

●受験時の志望順位

■全体



■学科別／学年別／性別／入試方式別

		回答者数 (n)		第1志望 (%)		第2志望 (%)		第3志望以下 (%)		無回答 (%)	
		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
年度		2,267	2,081	49.4	47.7	24.0	22.4	25.3	28.5	1.4	1.4
学科別	真宗学科	223	163	82.5	87.7	8.1	6.1	9.4	5.5	0.0	0.6
	仏教学科	86	71	51.2	43.7	24.4	23.9	24.4	32.4	0.0	0.0
	哲学科	164	101	57.9	52.5	23.2	21.8	18.9	25.7	0.0	0.0
	社会学科	284	361	40.5	49.0	27.5	21.3	32.0	29.4	0.0	0.3
	歴史学科	357	301	42.6	43.5	29.4	25.9	27.5	29.9	0.6	0.7
	文学科	248	263	46.4	38.0	27.4	31.6	26.2	29.7	0.0	0.8
	国際文化学科	269	227	41.6	36.6	27.1	22.5	30.9	40.5	0.4	0.4
	人文情報学科	273	214	53.1	48.1	22.7	21.0	24.2	30.4	0.0	0.5
	教育・心理学科	330	355	47.0	47.6	23.9	23.4	28.8	28.7	0.3	0.3
学年別	第1学年	565	655	49.7	44.4	23.0	20.0	27.3	35.3	0.0	0.3
	第2学年	573	520	47.1	48.1	25.3	26.9	27.4	24.8	0.2	0.2
	第3学年	579	484	54.4	49.2	22.5	22.3	22.8	27.9	0.3	0.6
	第4学年	518	390	48.1	52.8	26.6	22.1	25.1	24.6	0.2	0.5
性別	男性	1,305	1,217	52.5	52.3	23.6	21.7	23.8	25.7	0.2	0.3
	女性	917	808	46.2	41.7	25.3	24.4	28.2	33.4	0.2	0.5
入試方式別	AO入試	—	49	—	95.9	—	4.1	—	0.0	—	0.0
	自己推薦入試	259	283	75.7	90.8	18.1	5.7	6.2	3.2	0.0	0.4
	公募制推薦A	243	118	63.8	51.7	22.6	40.7	13.6	7.6	0.0	0.0
	公募制推薦B	368	315	41.8	28.3	36.4	38.7	21.5	32.7	0.3	0.3
	指定校制推薦	527	451	86.3	86.9	10.1	8.2	3.4	4.2	0.2	0.7
	一般1期	548	409	17.7	17.8	33.8	38.1	48.4	43.8	0.2	0.2
	一般2期	—	137	—	13.9	—	23.4	—	62.8	—	0.0
	一般3期	194	162	10.3	7.4	24.7	22.2	64.9	70.4	0.0	0.0
	センター利用	53	104	20.8	21.2	24.5	14.4	54.7	63.5	0.0	1.0
	第3学年編入試	25	16	88.0	81.3	4.0	12.5	8.0	6.3	0.0	0.0

■ 全体に比べて5ポイント以上高い ■ 全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

■ 学科別 × 学年別

		正宗学科					仏教学科				
		回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答	回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
学年別	第1学年	44	86.4	4.5	6.8	2.3	35	40.0	25.7	34.3	0.0
	第2学年	36	88.9	8.3	2.8	0.0	13	46.2	15.4	38.5	0.0
	第3学年	42	78.6	9.5	11.9	0.0	11	54.5	9.1	36.4	0.0
	第4学年	41	97.6	2.4	0.0	0.0	11	36.4	45.5	18.2	0.0

		哲学科					社会学科				
		回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答	回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
学年別	第1学年	30	50.0	6.7	43.3	0.0	121	43.0	19.0	38.0	0.0
	第2学年	27	66.7	25.9	7.4	0.0	105	53.3	24.8	21.9	0.0
	第3学年	20	55.0	25.0	20.0	0.0	91	52.7	19.8	26.4	1.1
	第4学年	24	37.5	33.3	29.2	0.0	43	46.5	23.3	30.2	0.0

		歴史学科					文学科				
		回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答	回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
学年別	第1学年	83	47.0	24.1	27.7	1.2	88	28.4	28.4	43.2	0.0
	第2学年	76	42.1	27.6	30.3	0.0	61	39.3	32.8	27.9	0.0
	第3学年	77	41.6	24.7	33.8	0.0	66	47.0	28.8	22.7	1.5
	第4学年	60	40.0	30.0	30.0	0.0	47	42.6	38.3	17.0	2.1

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

■学科別×学年別

		国際文化学科					人文情報学科				
		回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答	回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
学年別	第1学年	94	33.0	20.2	46.8	0.0	82	43.9	20.7	35.4	0.0
	第2学年	45	35.6	33.3	28.9	2.2	53	45.3	32.1	22.6	0.0
	第3学年	46	39.1	23.9	37.0	0.0	39	43.6	15.4	38.5	2.6
	第4学年	42	42.9	14.3	42.9	0.0	38	65.8	13.2	21.1	0.0

		教育・心理学科				
		回答者数 (n)	第1志望	第2志望	第3志望以下	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
学年別	第1学年	78	52.6	17.9	29.5	0.0
	第2学年	103	40.8	28.2	31.1	0.0
	第3学年	90	44.4	27.8	27.8	0.0
	第4学年	84	54.8	17.9	26.2	1.2

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

■ 学科別 × 入試方式別

		真宗学科					仏教学科				
		(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答	(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
入試方式別	AO入試	6	100.0	0.0	0.0	0.0	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	74	98.6	1.4	0.0	0.0	9	100.0	0.0	0.0	0.0
	公募制推薦A	6	83.3	16.7	0.0	0.0	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	公募制推薦B	8	75.0	25.0	0.0	0.0	4	75.0	25.0	0.0	0.0
	指定校制推薦	22	95.5	0.0	0.0	4.5	5	80.0	0.0	20.0	0.0
	一般1期	15	66.7	20.0	13.3	0.0	19	26.3	42.1	31.6	0.0
	一般2期	3	33.3	0.0	66.7	0.0	7	14.3	28.6	57.1	0.0
	一般3期	3	66.7	0.0	33.3	0.0	17	0.0	35.3	64.7	0.0
	センター利用	16	56.3	18.8	25.0	0.0	2	50.0	0.0	50.0	0.0
	第3学年編入試	7	100.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0

		哲学科					社会学科				
		(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答	(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
入試方式別	AO入試	4	100.0	0.0	0.0	0.0	8	87.5	12.5	0.0	0.0
	自己推薦入試	13	84.6	0.0	15.4	0.0	57	77.2	17.5	5.3	0.0
	公募制推薦A	4	75.0	25.0	0.0	0.0	17	52.9	35.3	11.8	0.0
	公募制推薦B	11	36.4	45.5	18.2	0.0	45	22.2	40.0	37.8	0.0
	指定校制推薦	14	85.7	14.3	0.0	0.0	98	86.7	8.2	4.1	1.0
	一般1期	27	29.6	48.1	22.2	0.0	79	19.0	30.4	50.6	0.0
	一般2期	6	33.3	0.0	66.7	0.0	23	8.7	21.7	69.6	0.0
	一般3期	9	22.2	0.0	77.8	0.0	22	9.1	22.7	68.2	0.0
	センター利用	12	50.0	8.3	41.7	0.0	9	11.1	0.0	88.9	0.0
	第3学年編入試	0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0

		歴史学科					文学科				
		(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答	(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
入試方式別	AO入試	6	100.0	0.0	0.0	0.0	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	34	85.3	2.9	11.8	0.0	22	100.0	0.0	0.0	0.0
	公募制推薦A	24	54.2	37.5	8.3	0.0	28	42.9	46.4	10.7	0.0
	公募制推薦B	58	27.6	37.9	34.5	0.0	43	23.3	48.8	27.9	0.0
	指定校制推薦	58	84.5	10.3	5.2	0.0	54	83.3	11.1	3.7	1.9
	一般1期	61	14.8	37.7	47.5	0.0	63	7.9	42.9	49.2	0.0
	一般2期	16	25.0	31.3	43.8	0.0	21	4.8	42.9	52.4	0.0
	一般3期	24	4.2	33.3	62.5	0.0	12	8.3	25.0	66.7	0.0
	センター利用	15	6.7	20.0	66.7	6.7	15	6.7	26.7	66.7	0.0
	第3学年編入試	4	75.0	25.0	0.0	0.0	1	100.0	0.0	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

■ 学科別 × 入試方式別

		国際文化学科					人文情報学科				
		(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答	(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4	2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
入試方式別	AO入試	8	87.5	12.5	0.0	0.0	7	100.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	21	95.2	4.8	0.0	0.0	21	85.7	9.5	0.0	4.8
	公募制推薦A	5	40.0	60.0	0.0	0.0	8	75.0	12.5	12.5	0.0
	公募制推薦B	38	18.4	31.6	50.0	0.0	55	45.5	34.5	20.0	0.0
	指定校制推薦	39	97.4	0.0	2.6	0.0	36	86.1	8.3	5.6	0.0
	一般1期	48	12.5	43.8	41.7	2.1	36	19.4	30.6	50.0	0.0
	一般2期	24	4.2	16.7	79.2	0.0	13	30.8	23.1	46.2	0.0
	一般3期	31	3.2	16.1	80.6	0.0	26	7.7	23.1	69.2	0.0
	センター利用	11	9.1	27.3	63.6	0.0	10	20.0	0.0	80.0	0.0
	第3学年編入試	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0

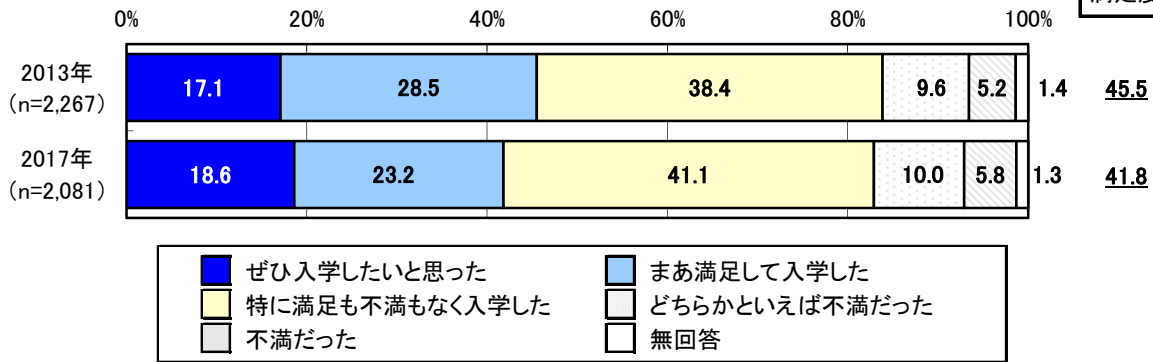
		教育・心理学科				
		(n) 回答者数	第1志望	第2志望	以下第3志望	無回答
年度		17年	17年	17年	17年	17年
全体		2,081	47.7	22.4	28.5	1.4
入試方式別	AO入試	4	100.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	31	96.8	3.2	0.0	0.0
	公募制推薦A	23	34.8	60.9	4.3	0.0
	公募制推薦B	53	15.1	41.5	41.5	1.9
	指定校制推薦	124	85.5	9.7	4.8	0.0
	一般1期	59	13.6	44.1	42.4	0.0
	一般2期	24	12.5	16.7	70.8	0.0
	一般3期	18	5.6	16.7	77.8	0.0
	センター利用	14	0.0	7.1	92.9	0.0
	第3学年編入試	1	0.0	0.0	100.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

●入学した時の気持ち

■全体

※  
入学時の満足度



※入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」

■学科別／学年別／性別／入試方式別／受験時の志望順位別／建学の理念認知度別

		回答者数 (n)		入学時の満足度		ぜひ入学したいと思った		まあ満足して入学した		特に満足も不満もなく入学した		どちらかといえば不満だった		不満だった		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		2,267	2,081	45.5	41.8	17.1	18.6	28.5	23.2	38.4	41.1	9.6	10.0	5.2	5.8	1.4	1.3
学科別	真宗学科	223	163	56.1	55.8	35.4	41.1	20.6	14.7	31.4	37.4	7.2	4.9	5.4	1.8	0.0	0.0
	仏教学科	86	71	40.7	45.1	16.3	28.2	24.4	16.9	44.2	33.8	9.3	11.3	5.8	9.9	0.0	0.0
	哲学科	164	101	55.5	46.5	26.2	22.8	29.3	23.8	34.1	44.6	8.5	5.9	1.2	2.0	0.6	1.0
	社会学科	284	361	39.1	38.0	8.1	15.5	31.0	22.4	41.9	41.6	10.6	10.2	8.5	9.7	0.0	0.6
	歴史学科	357	301	50.1	47.5	17.1	19.3	33.1	28.2	36.7	39.5	8.7	9.0	3.9	4.0	0.6	0.0
	文学科	248	263	44.8	42.2	16.1	11.8	28.6	30.4	44.8	43.7	6.9	8.4	3.6	4.9	0.0	0.8
	国際文化学科	269	227	32.0	26.4	10.0	12.3	21.9	14.1	47.2	48.5	13.4	15.4	7.1	9.3	0.4	0.4
	人文情報学科	273	214	44.7	33.6	13.9	13.1	30.8	20.6	41.4	49.1	7.3	13.6	6.6	3.7	0.0	0.0
教育・心理学科	330	355	51.8	49.3	18.5	21.4	33.3	27.9	30.6	35.5	13.3	9.9	4.2	5.1	0.0	0.3	
学年別	第1学年	565	655	42.5	38.6	18.4	18.8	24.1	19.8	40.4	41.2	11.9	11.6	5.3	8.4	0.0	0.2
	第2学年	573	520	44.5	44.0	16.2	20.6	28.3	23.5	39.1	40.2	10.3	9.4	5.9	6.2	0.2	0.2
	第3学年	579	484	44.7	39.3	17.3	14.5	27.5	24.8	38.7	45.9	10.2	10.1	6.0	4.1	0.3	0.6
	第4学年	518	390	53.1	49.2	17.2	21.5	35.9	27.7	37.1	38.5	6.2	8.7	3.5	3.1	0.2	0.5
性別	男性	1,305	1,217	45.1	42.3	17.1	18.9	28.0	23.4	41.0	42.0	8.4	9.7	5.4	5.8	0.2	0.2
	女性	917	808	47.2	41.8	17.6	18.4	29.7	23.4	35.8	40.7	11.7	11.0	5.1	5.9	0.2	0.5
入試方式別	AO入試	-	49	-	83.7	-	53.1	-	30.6	-	12.2	-	4.1	-	0.0	-	0.0
	自己推薦入試	259	283	65.6	60.1	29.7	36.0	35.9	24.0	28.6	34.3	3.1	3.2	2.7	2.1	0.0	0.4
	公募制推薦A	243	118	50.6	51.7	21.0	16.1	29.6	35.6	37.4	38.1	9.5	6.8	2.5	3.4	0.0	0.0
	公募制推薦B	368	315	45.7	38.1	13.3	12.4	32.3	25.7	44.3	45.7	7.6	10.8	2.4	5.1	0.0	0.3
	指定校制推薦	527	451	62.0	59.2	28.1	31.3	34.0	27.9	34.0	35.0	2.7	3.8	0.9	1.8	0.4	0.2
	一般1期	548	409	27.2	29.6	9.7	8.1	16.2	21.5	46.5	50.9	21.0	12.0	6.2	7.6	0.4	0.0
	一般2期	-	137	-	20.4	-	3.6	-	16.8	-	48.2	-	19.7	-	10.9	-	0.7
	一般3期	194	162	24.2	15.4	5.2	2.5	19.1	13.0	42.3	43.8	17.5	24.7	16.0	16.0	0.0	0.0
	センター利用	53	104	43.4	19.2	5.7	6.7	37.7	12.5	26.4	50.0	22.6	18.3	7.5	11.5	0.0	1.0
第3学年編入試	25	16	68.0	81.3	44.0	56.3	24.0	25.0	12.0	18.8	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
順位の受験時	第1志望	1,119	992	64.3	62.1	31.6	35.8	32.7	26.3	31.7	34.1	2.5	2.6	1.3	1.0	0.2	0.2
	第2志望	544	466	41.7	38.6	4.8	5.4	36.9	33.3	48.3	51.5	7.9	7.7	1.8	1.7	0.2	0.4
	第3志望以下	573	594	14.7	12.1	1.2	1.2	13.4	10.9	43.6	46.0	25.5	24.6	16.2	17.2	0.0	0.2
建学の理念認知度	大学入学前から知っていた	700	380	60.6	59.7	27.3	36.1	33.3	23.7	30.3	30.3	5.4	4.5	2.1	3.4	1.6	2.1
	大学入学後に知った	1,217	1,005	40.6	43.2	12.7	16.0	27.9	27.2	41.1	41.7	11.8	9.8	5.4	4.7	1.1	0.7
	今回初めて知った	299	652	29.8	29.0	10.4	11.7	19.4	17.3	46.5	47.1	10.4	13.8	11.0	8.9	2.3	1.2

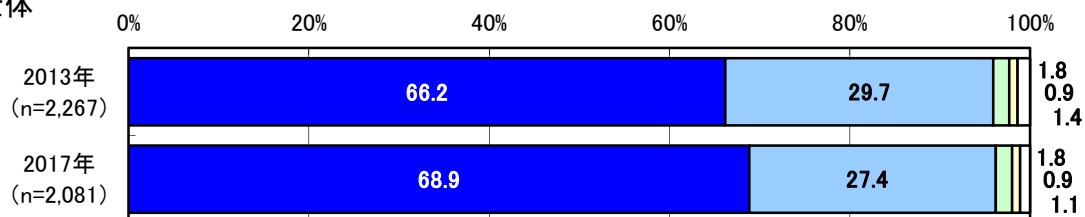
全体に比べて5ポイント以上高い (赤色) 全体に比べて5ポイント以上低い (青色)

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし



## ● 居住形態

### ■ 全体



- 自宅
- 下宿 (アパート・マンション等での一人暮らし)
- 学生寮 (本学学寮を含む)
- その他
- 無回答

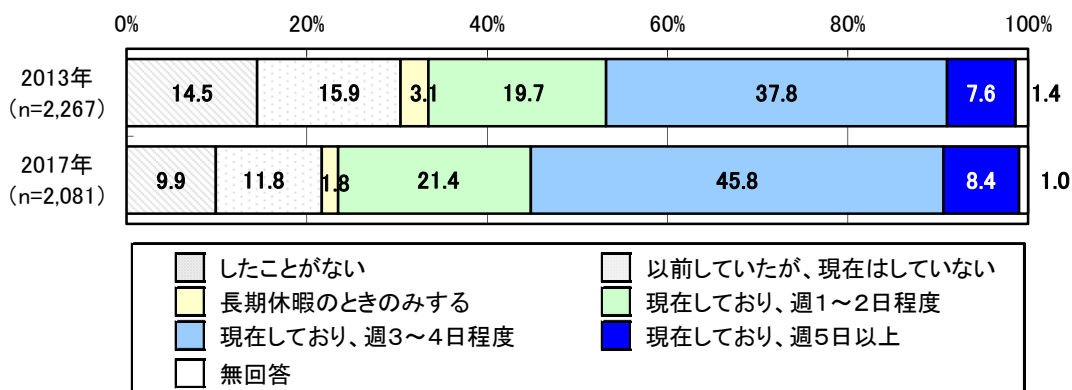
### ■ 学科別／学年別／性別

	回答者数 (n)	自宅		下宿 (アパート・マンション等での一人暮らし)		学生寮 (本学学寮を含む)		その他		無回答			
		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年		
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年		
全体	2,267	2,081	66.2	68.9	29.7	27.4	1.8	1.8	0.9	0.9	1.4	1.1	
学科別	真宗学科	223	163	22.4	15.3	69.1	73.0	7.6	11.0	0.4	0.6	0.4	0.0
	仏教学科	86	71	57.0	63.4	36.0	29.6	3.5	5.6	3.5	1.4	0.0	0.0
	哲学科	164	101	54.3	57.4	43.9	38.6	0.6	2.0	1.2	2.0	0.0	0.0
	社会学科	284	361	78.5	83.7	19.0	14.1	1.1	0.6	1.4	1.7	0.0	0.0
	歴史学科	357	301	60.2	61.8	36.1	35.5	2.2	1.7	1.1	0.3	0.3	0.7
	文学科	248	263	70.2	72.6	28.2	26.2	1.2	0.4	0.4	0.8	0.0	0.0
	国際文化学科	269	227	81.8	81.5	17.5	18.1	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0
	人文情報学科	273	214	88.6	83.6	9.5	14.5	0.7	1.4	0.7	0.5	0.4	0.0
	教育・心理学科	330	355	70.9	72.4	27.0	25.9	1.2	0.3	0.6	1.1	0.3	0.3
学年別	第1学年	565	655	67.3	72.8	26.9	20.9	5.1	4.6	0.7	1.7	0.0	0.0
	第2学年	573	520	66.1	69.2	31.1	29.4	1.2	1.0	1.2	0.4	0.3	0.0
	第3学年	579	484	68.0	70.0	30.4	29.3	0.3	0.0	0.9	0.6	0.3	0.0
	第4学年	518	390	66.4	63.8	32.0	34.6	0.6	0.5	1.0	0.5	0.0	0.5
性別	男性	1,305	1,217	64.3	68.9	32.6	28.4	2.2	2.1	0.8	0.7	0.1	0.0
	女性	917	808	70.6	70.4	26.7	26.7	1.3	1.5	1.1	1.1	0.3	0.2

全体に比べて5ポイント以上高い (pink background)      全体に比べて5ポイント以上低い (light blue background)

## ●アルバイト経験

### ■全体



### ■学科別／学年別／性別／居住形態別

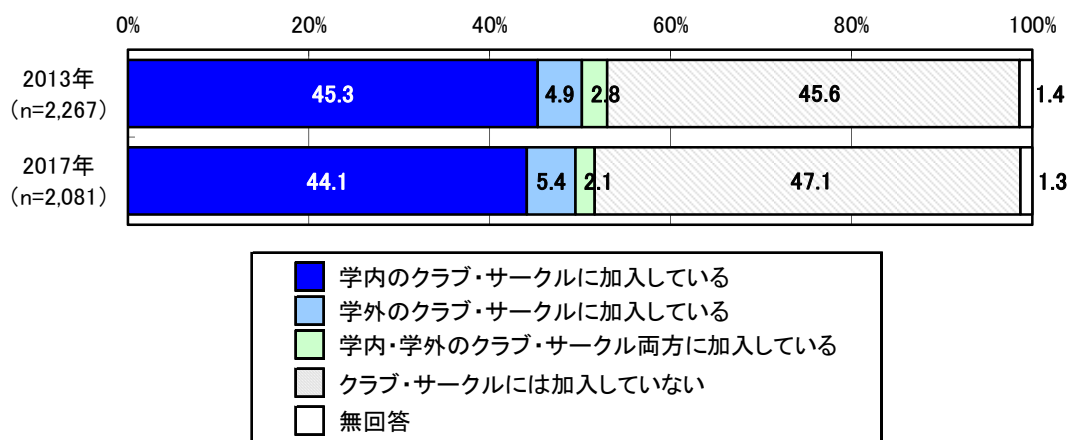
	回答者数 (n)	したことがない		現在以前はしていたが、		長期休暇のときのみする		現在1～2日程度		現在3～4日程度		現在5日以上		無回答			
		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年		
年度	13年 2,267 / 17年 2,081	14.5	9.9	15.9	11.8	3.1	1.8	19.7	21.4	37.8	45.8	7.6	8.4	1.4	1.0		
全体		14.5	9.9	15.9	11.8	3.1	1.8	19.7	21.4	37.8	45.8	7.6	8.4	1.4	1.0		
学科別	真宗学科	223	163	28.3	22.7	32.3	19.0	6.7	3.7	11.7	19.6	17.9	28.8	3.1	6.1	0.0	0.0
	仏教学科	86	71	25.6	14.1	20.9	15.5	3.5	0.0	14.0	19.7	27.9	43.7	8.1	7.0	0.0	0.0
	哲学科	164	101	29.3	17.8	17.1	25.7	4.3	3.0	16.5	12.9	27.4	34.7	5.5	5.9	0.0	0.0
	社会学科	284	361	7.4	5.0	14.4	9.4	2.8	1.1	18.0	21.6	45.4	51.5	11.6	11.4	0.4	0.0
	歴史学科	357	301	17.6	9.3	16.5	15.3	3.9	3.0	19.3	26.9	35.6	39.5	6.7	6.0	0.3	0.0
	文学科	248	263	17.3	14.4	14.5	10.3	3.6	1.5	22.2	23.6	36.7	43.0	5.6	7.2	0.0	0.0
	国際文化学科	269	227	5.9	6.2	13.0	8.4	1.1	0.4	20.8	16.3	49.4	55.9	9.3	12.8	0.4	0.0
	人文情報学科	273	214	9.9	14.0	12.8	10.7	2.6	0.9	19.8	19.2	44.0	50.9	11.0	4.2	0.0	0.0
教育・心理学科	330	355	7.6	3.7	10.9	7.6	1.5	2.3	29.4	24.2	43.6	51.8	6.7	10.4	0.3	0.0	
学年別	第1学年	565	655	23.7	15.0	15.0	9.9	3.2	2.1	18.6	21.1	33.8	46.4	5.5	5.5	0.2	0.0
	第2学年	573	520	15.2	11.0	9.9	11.7	2.6	1.2	21.3	21.2	41.7	46.0	9.1	9.0	0.2	0.0
	第3学年	579	484	11.1	4.8	18.0	12.8	2.6	2.3	18.8	22.9	41.3	47.1	7.9	10.1	0.3	0.0
	第4学年	518	390	8.3	7.2	21.8	14.4	4.2	1.5	21.2	20.5	36.1	45.6	8.3	10.8	0.0	0.0
性別	男性	1,305	1,217	16.7	10.7	18.5	12.9	4.1	2.1	16.2	19.9	36.7	44.6	7.6	9.8	0.2	0.0
	女性	917	808	12.0	9.4	12.4	10.1	2.0	1.4	25.3	23.4	40.2	49.1	7.9	6.6	0.2	0.0
形態別	自宅	1,500	1,433	9.2	7.0	12.9	8.1	1.9	1.3	21.0	21.7	45.5	52.5	9.4	9.4	0.1	0.0
	下宿	674	570	24.0	15.3	23.0	19.6	5.0	2.3	18.5	22.8	24.8	33.5	4.2	6.5	0.4	0.0
	学生寮	41	37	61.0	48.6	17.1	27.0	19.5	13.5	2.4	2.7	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

## ●クラブ・サークル活動参加

### ■全体



### ■学科別／学年別／性別

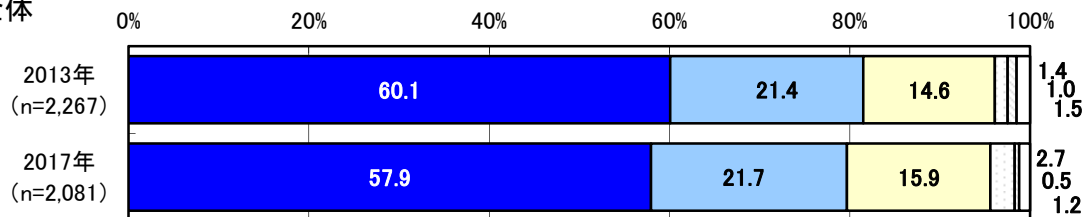
	回答者数 (n)		学内のクラブ・サークルに加入している (%)		学外のクラブ・サークルに加入している (%)		学内・学外のクラブ・サークル両方に加入している (%)		クラブ・サークルには加入していない (%)		無回答 (%)		
	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	
年度	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	
全体	2,267	2,081	45.3	44.1	4.9	5.4	2.8	2.1	45.6	47.1	1.4	1.3	
学科別	真宗学科	223	163	59.6	54.6	2.7	3.7	4.0	3.7	33.2	38.0	0.4	0.0
	仏教学科	86	71	41.9	43.7	4.7	9.9	3.5	5.6	50.0	40.8	0.0	0.0
	哲学科	164	101	54.9	45.5	1.8	4.0	0.6	4.0	42.7	46.5	0.0	0.0
	社会学科	284	361	44.4	35.5	6.0	8.6	4.9	2.8	44.7	52.4	0.0	0.8
	歴史学科	357	301	51.3	40.2	4.2	4.7	2.2	0.3	42.0	54.2	0.3	0.7
	文学科	248	263	47.2	51.7	3.2	3.8	2.4	1.5	46.8	42.6	0.4	0.4
	国際文化学科	269	227	40.1	41.9	8.6	6.2	3.7	1.3	47.6	50.2	0.0	0.4
	人文情報学科	273	214	34.4	51.4	5.1	0.5	1.8	1.9	58.6	45.8	0.0	0.5
	教育・心理学科	330	355	42.1	44.8	6.7	7.0	1.8	2.0	49.1	46.2	0.3	0.0
学年別	第1学年	565	655	52.7	53.9	3.9	4.4	4.1	2.4	39.3	38.6	0.0	0.6
	第2学年	573	520	45.5	43.5	5.8	6.2	2.8	2.3	45.7	47.7	0.2	0.4
	第3学年	579	484	41.6	36.2	5.7	8.1	2.6	2.1	49.6	53.5	0.5	0.2
	第4学年	518	390	43.8	40.3	4.6	3.1	1.7	1.3	49.8	55.4	0.0	0.0
性別	男性	1,305	1,217	45.6	44.7	5.7	6.1	3.7	2.8	44.8	46.0	0.2	0.4
	女性	917	808	46.5	44.3	3.9	4.5	1.6	1.1	47.8	49.9	0.2	0.2

全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

## ●学費の負担者

### ■全体



<span style="color: blue;">■</span>	全額家庭から
<span style="color: lightblue;">■</span>	大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から
<span style="color: yellow;">■</span>	大部分をアルバイト収入や奨学金から
<span style="color: lightgrey;">■</span>	金融機関の教育ローン <sup>注1</sup>
<span style="color: grey;">■</span>	その他の援助など <sup>注2</sup>
<span style="color: white;">■</span>	無回答

その他の援助などの内訳	件数
自分の収入/貯蓄	4
全額奨学金	2
親と奨学金	2
親の遺産	1
親戚と親と奨学金	1

注1 2013年は「他からの援助・借入れから」

注2 2013年は「その他」

### ■学科別／学年別／性別／居住形態別／アルバイト経験別

	回答者数 (n)	全額家庭から		大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から		大部分をアルバイト収入や奨学金から		金融機関の教育ローン		その他の援助など		無回答			
		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年		
年度	13年 17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年		
全体	2,267 2,081	60.1	57.9	21.4	21.7	14.6	15.9	1.4	2.7	1.0	0.5	1.5	1.2		
学科別	真宗学科	223	163	80.7	87.1	12.6	9.8	3.6	1.8	1.3	0.0	1.3	1.2	0.4	0.0
	仏教学科	86	71	62.8	56.3	16.3	25.4	14.0	12.7	2.3	5.6	4.7	0.0	0.0	0.0
	哲学科	164	101	64.0	60.4	19.5	18.8	10.4	18.8	1.8	0.0	3.7	1.0	0.6	1.0
	社会学科	284	361	56.3	54.6	25.4	25.2	16.2	15.5	1.4	3.9	0.4	0.6	0.4	0.3
	歴史学科	357	301	57.7	52.5	24.1	24.9	14.6	18.3	2.0	3.7	1.4	0.7	0.3	0.0
	文学科	248	263	52.8	47.5	27.0	25.5	18.5	22.4	0.4	4.6	0.4	0.0	0.8	0.0
	国際文化学科	269	227	60.2	56.8	17.5	19.4	19.3	19.4	2.2	3.5	0.7	0.4	0.0	0.4
	人文情報学科	273	214	59.7	63.6	22.0	19.6	17.2	15.9	1.1	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0
教育・心理学科	330	355	60.3	60.0	23.3	22.5	15.5	14.6	0.9	1.7	0.0	0.6	0.0	0.6	
学年別	第1学年	565	655	61.6	60.3	20.7	21.1	14.3	15.7	2.1	2.0	0.9	0.5	0.4	0.5
	第2学年	573	520	58.5	55.4	24.1	25.4	13.8	15.4	1.7	2.9	1.4	0.8	0.5	0.2
	第3学年	579	484	63.6	58.1	19.0	21.9	15.7	17.1	0.7	2.7	0.9	0.0	0.2	0.2
	第4学年	518	390	60.0	60.3	22.6	18.7	15.4	16.4	1.2	3.6	0.8	1.0	0.0	0.0
性別	男性	1,305	1,217	62.0	59.8	20.7	20.5	14.3	15.8	1.8	3.0	0.9	0.7	0.3	0.2
	女性	917	808	59.4	56.7	22.9	24.1	15.6	16.5	0.8	2.1	1.1	0.2	0.2	0.4
居住形態別	自宅	1,500	1,433	56.6	52.8	23.0	23.7	17.6	19.7	1.5	3.3	1.0	0.3	0.3	0.3
	下宿	674	570	69.9	71.4	18.8	17.9	9.1	8.2	1.0	1.4	0.9	0.9	0.3	0.2
	学生寮	41	37	73.2	81.1	14.6	18.9	7.3	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0
アルバイト経験別	したことがない	329	206	80.2	78.2	12.2	14.1	4.9	5.3	1.8	1.5	0.6	1.0	0.3	0.0
	現在はしていない	431	282	70.5	65.2	18.8	20.9	8.4	10.3	0.7	2.8	0.9	0.7	0.7	0.0
	週1～2日	447	445	63.1	62.0	23.0	21.1	12.3	14.4	0.4	1.8	0.9	0.2	0.2	0.4
	週3日以上	1,029	1,128	49.8	51.8	25.2	23.9	21.9	20.1	2.0	3.3	1.1	0.5	0.1	0.4

全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

# I. 大谷大学への進学について

## 1. 大学進学を選んだ理由（複数回答）

Q1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 大学進学を選んだ理由トップ3

1位：「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」40.5%

2位：「取得したい資格や免許があるから」38.2%

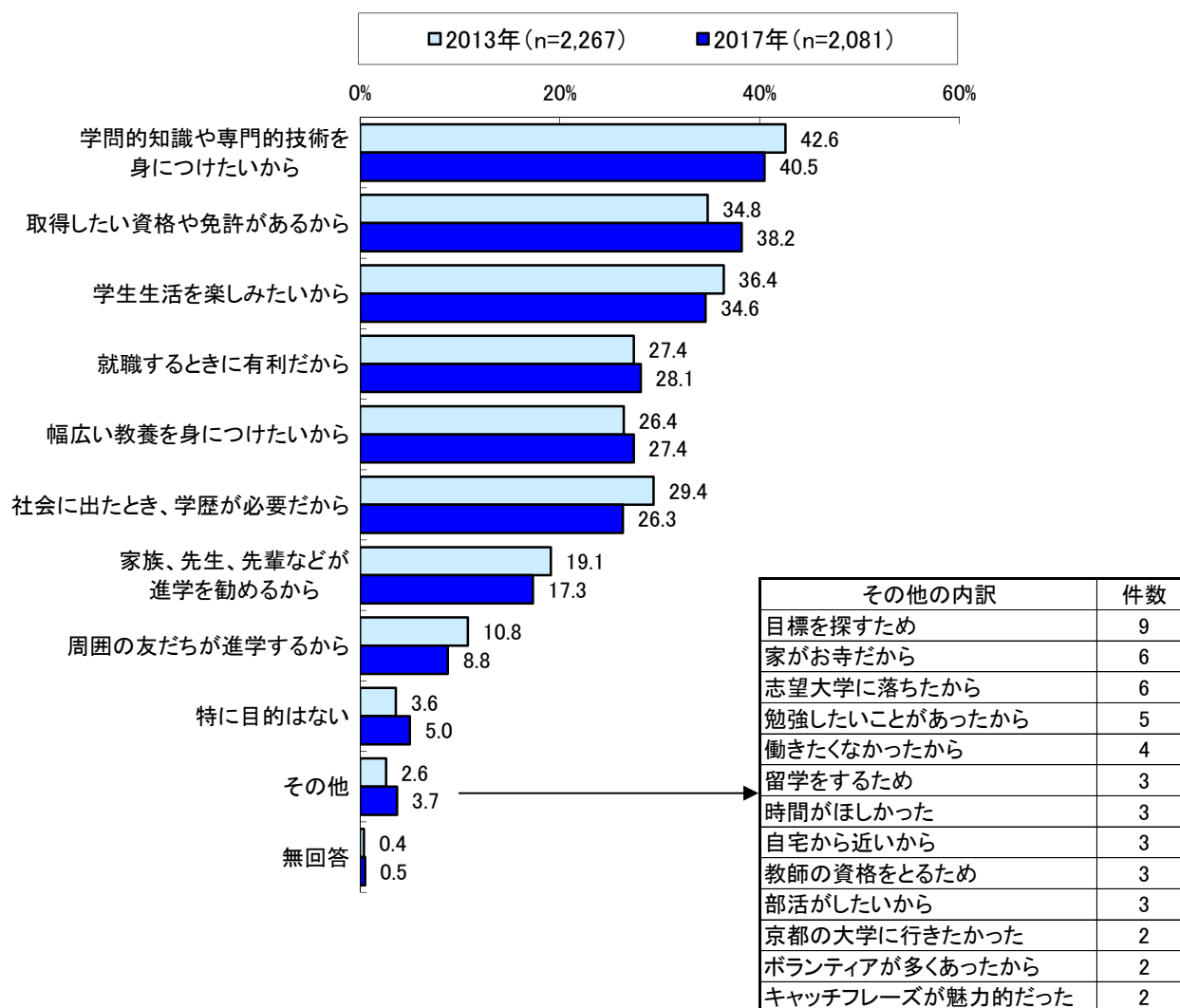
3位：「学生生活を楽しまたいから」34.6%

大学進学を選んだ理由としては、「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」「取得したい資格や免許があるから」が約4割で、将来を見据えた「学び」の充実を求めていることがうかがえる。

2013年と比べると、「取得したい資格や免許があるから」は3.4ポイント上昇し、順位も上がっており、卒業後の進路を視野に入れている学生の増加傾向がうかがえる。

一方、「学生生活を楽しまたいから」「社会に出たとき、学歴が必要だから」「家族、先生、先輩などが進学を勧めるから」「周囲の友だちが進学するから」が低下しており、自らが目的意識を持って大学進学を選ぶ傾向が強まっていると考えられる。

### ■全体



(2件以上のものを掲載)

## 2. 大谷大学への入学決定理由（3回答まで）

Q2 あなたが大谷大学に入学を決めた際の理由は何ですか。あてはまる番号3つに○をつけてください。

※ 2013年は「あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。」

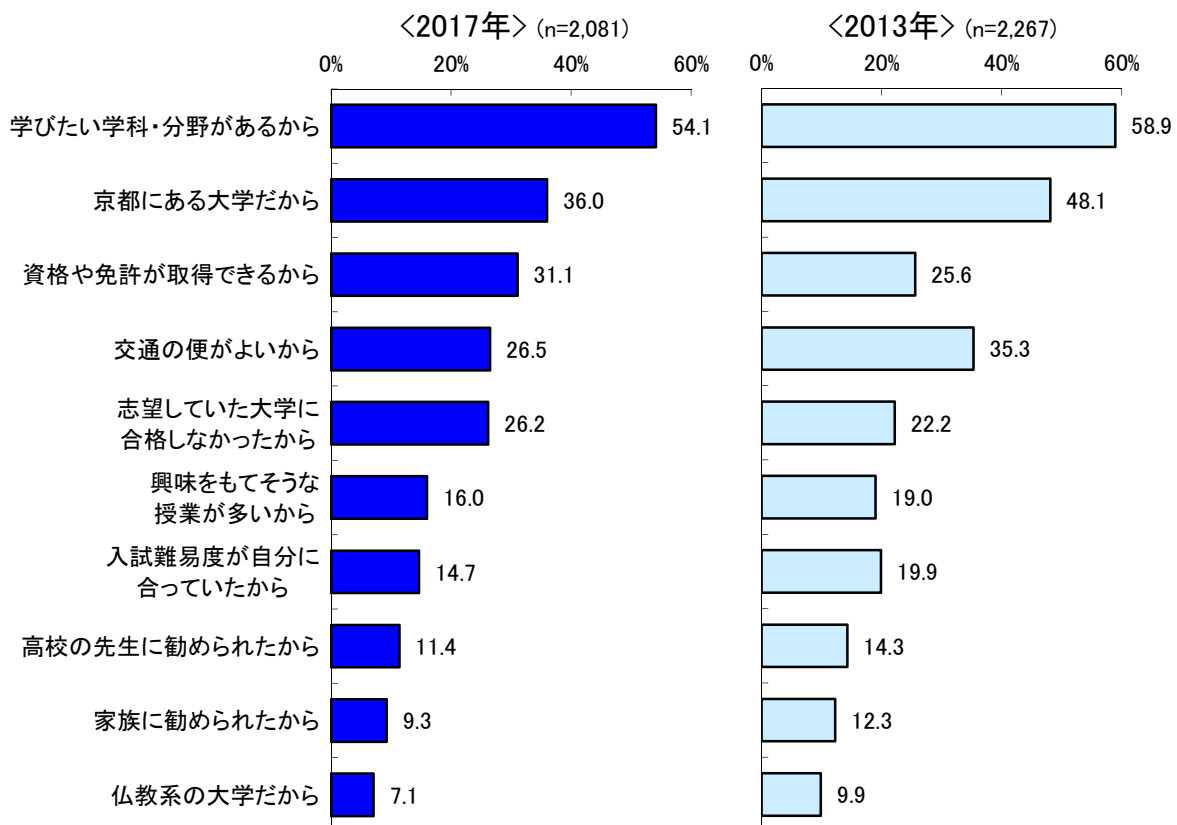
### 大谷大学への入学決定理由

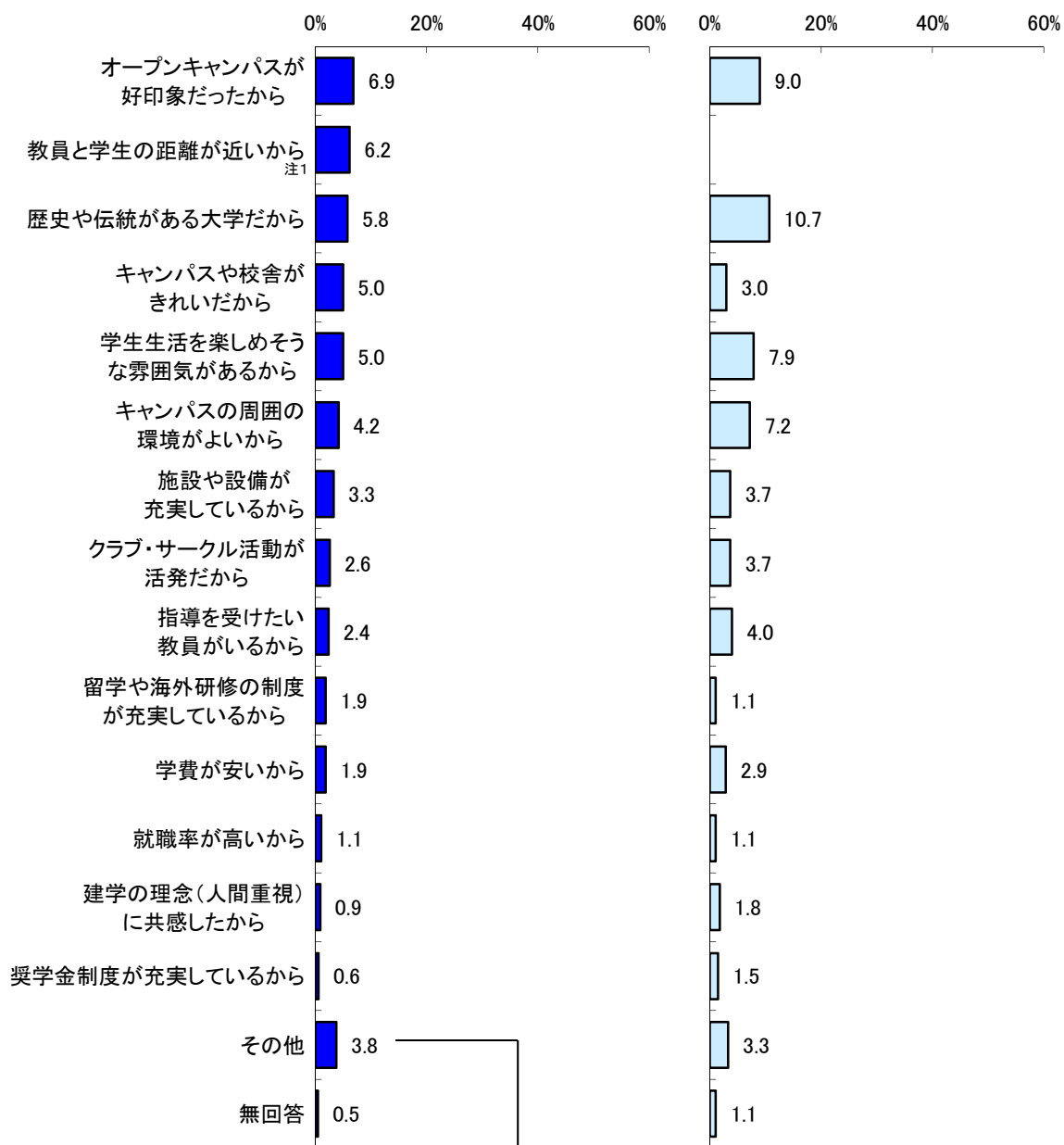
1位は「学びたい学科・分野があるから」54.1%

大谷大学に入学を決めた理由は、「学びたい学科・分野があるから」が54.1%と突出して高い。以下、「京都にある大学だから」（36.0%）、「資格や免許が取得できるから」（31.1%）と続く。

※ 2013年より質問形式が変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体





その他の内訳	件数
志望大学に落ちたから	9
自宅から近いから	9
特に理由はない	9
部活がしたいから	4
勉強したい授業があったから	4
塾や家庭教師の勧め	3
指定校推薦枠があったから	3
偏差値が低いから	3
先輩の勧め	3
駅から近いから	3
学生寮があるから	2
家がお寺だから	2

(2件以上のものを掲載)

注1 2017年に新しく追加された項目

### 3. 卒業後の希望進路（複数回答）

Q3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

#### 卒業後の希望進路

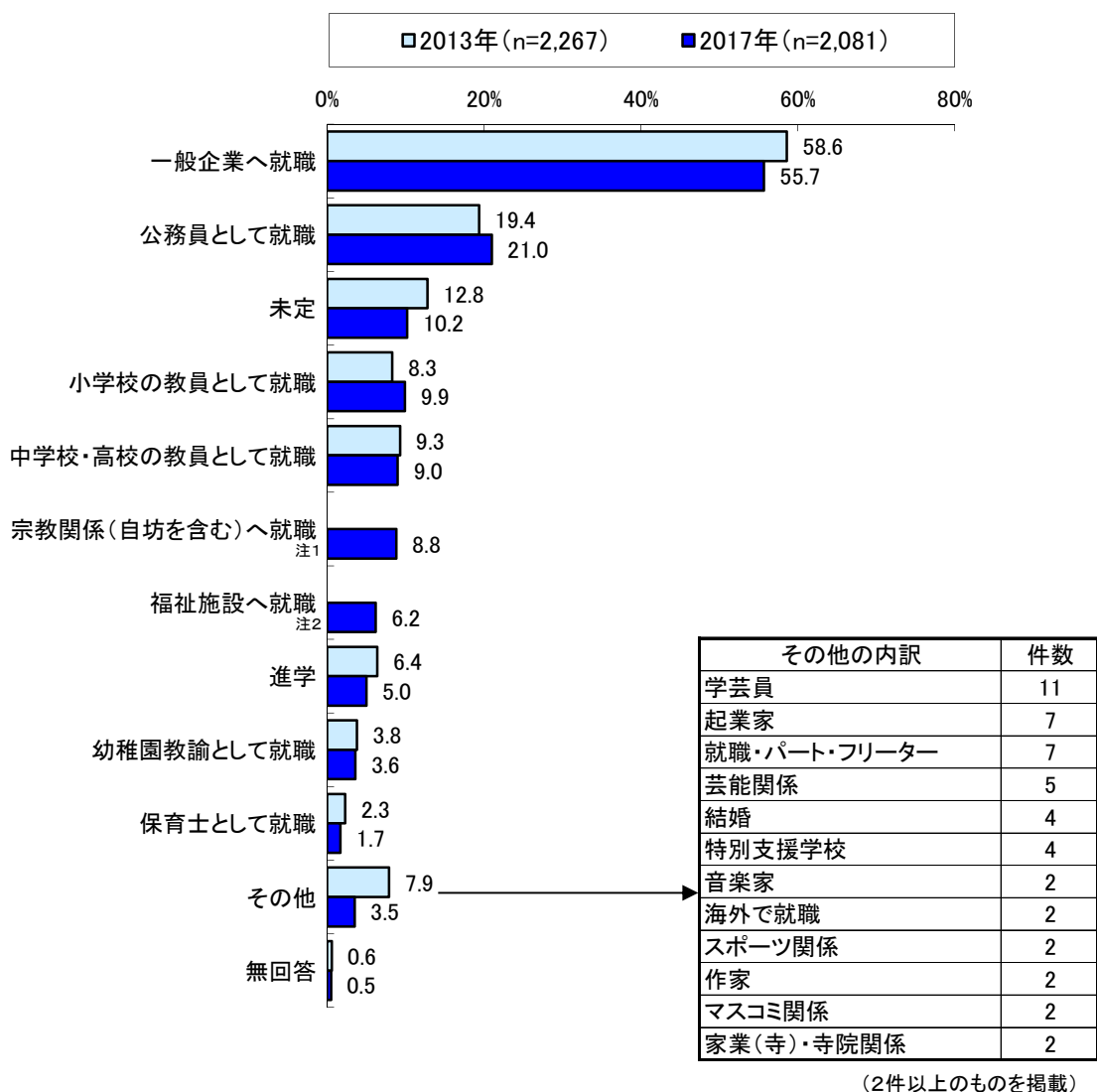
1位：「一般企業へ就職」55.7%

2位：「公務員として就職」21.0%

大学卒業後の希望する進路は、「一般企業へ就職」が55.7%で突出して高く、次いで「公務員として就職」が21.0%。また「未定」が約1割を占めている。

2013年と比べると、一般企業への希望が低下し公務員がやや上昇している。

#### ■全体



注1、注2 2017年に新しく追加された項目



## Ⅱ. 大谷大学の建学の理念・目的について

### 1. 建学の理念の認知度

大谷大学には、「仏教精神にもとづいた人間教育を行い、真実を求め、現実から目をそらさず、あるべき社会や人間のあり方を探究する人物を育成し、人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。この理念は【人間が大好きです。】や【Be Real 寄りそう知性】というメッセージとして象徴的に表されています。

これについて、以下の設問に答えてください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

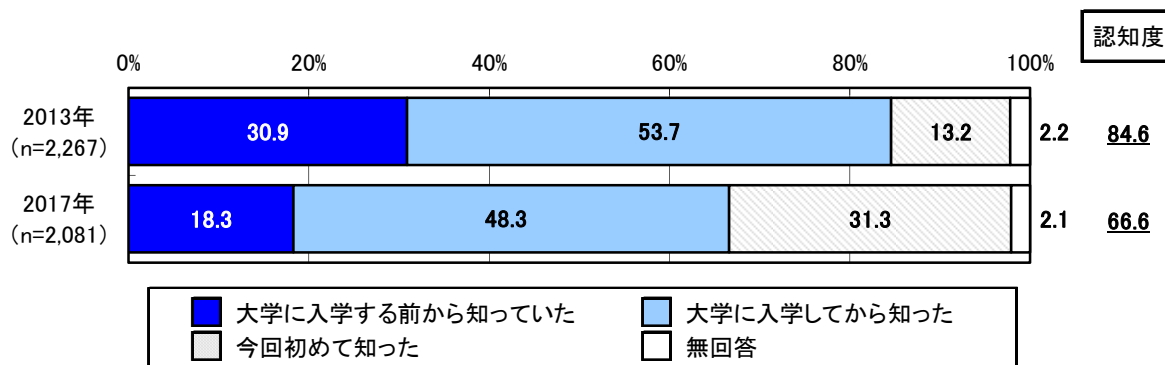
### 建学の理念認知度※は66.6%

建学の理念の認知度は66.6%で、「大学に入学する前から知っていた」が2割弱、「大学に入学してから知った」が5割弱を占める。「今回初めて知った」が約3割を占めている。

※ 認知度＝「大学に入学する前から知っていた」＋「大学に入学してから知った」

※ 2013年より質問文前文が変更されているため、経年比較コメントは差し控える

### ■全体



※ 2013年における質問文前文は、

『大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係（自分との関係、他者との関係）を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。』

## 2. 建学の理念を感じる機会（複数回答）

Q11-2 あなたは、上記のような建学の理念、目的として表明されている学びの内容や姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 2013年は「あなたは、建学の理念で言われる本学の間人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。」

### 建学の理念を感じる機会

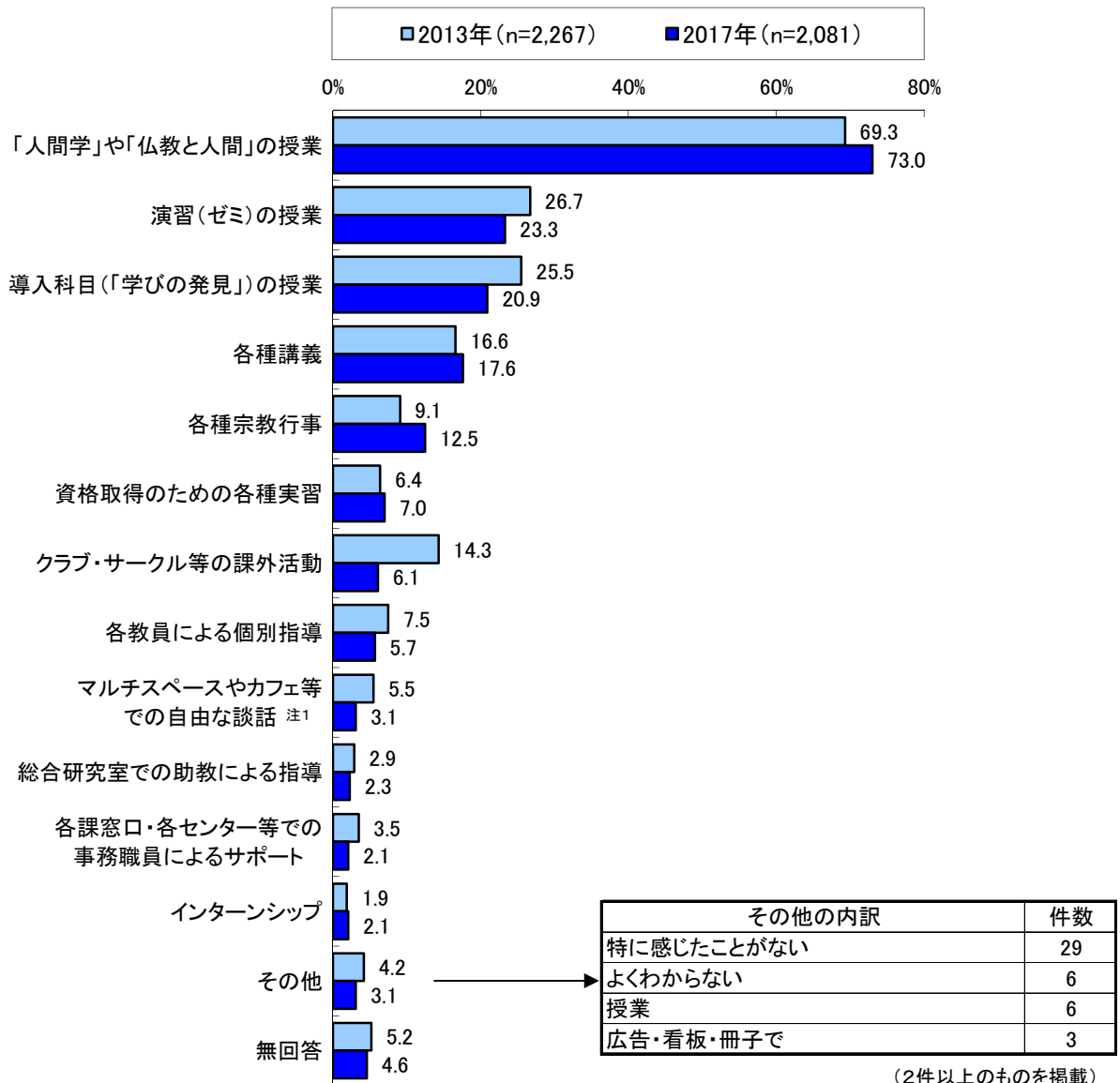
#### 1位は「『人間学』や『仏教と人間』の授業」73.0%

大谷大学の建学の理念を感じる機会としては、「『人間学』や『仏教と人間』の授業」が73.0%と突出して高い。次いで「演習（ゼミ）の授業」（23.3%）や「導入科目（『学びの発見』）の授業」（20.9%）が続き、主に『授業』を通じて建学の理念に触れている様子が見える。

（20.9%）が続き、主に『授業』を通じて建学の理念に触れている様子が見える。

2013年と比べると、特に「『人間学』や『仏教と人間』の授業」、「各種宗教行事」で建学の理念を感じる機会が増えている。

#### ■全体



注1 2013年は「ビッグバレーなどでの自由な談話」

### Ⅲ. 大谷大学での取り組みについて

#### 1. 身についた能力や知識・技能

Q4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身についてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 入学後に身についた\*能力や知識・技能トップ3

- 1位：「社会人として必要な一般常識やマナー」57.8%
- 2位：「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」56.9%
- 3位：「自分や他者を理解し、主体的に様々な問題解決に取り組む力」54.1%

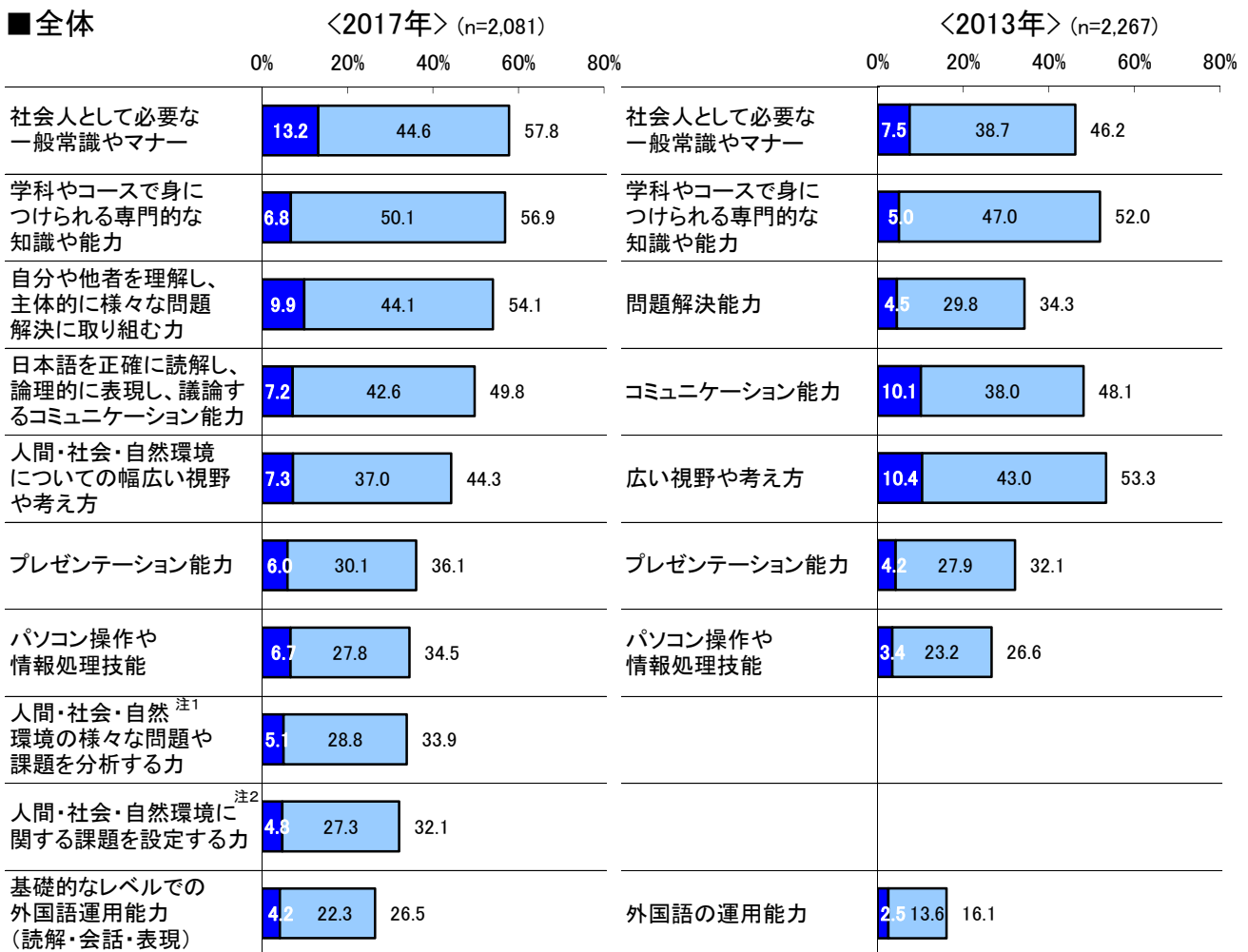
入学後に身についた能力や知識・技能としては、「社会人として必要な一般常識やマナー」「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」が6割弱で上位。次いで、「自分や他者を理解し、主体的に様々な問題解決に取り組む力」「日本語を正確に読解し、論理的に表現し、議論するコミュニケーション能力」が5割前後で続く。

一方、「基礎的なレベルでの外国語運用能力（読解・会話・表現）」は26.5%と低い。

※ 身についた＝「十分身についてきた」＋「ある程度身についてきた」

※ 2013年より設問文が一部変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体



■十分身についてきた □ある程度身についてきた

注1、注2 2017年に新しく追加された項目

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目の「身についた」を示す  
 身についた＝「十分身についてきた」＋「ある程度身についてきた」

## 2. 入学後の自己認識・評価

Q5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

### 入学後の自己認識・評価※トップ3

1位：「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」75.1%

2位：「自分と違う意見でも、他者を理解し、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う」72.8%

3位：「自分の生き方について考えている」62.5%

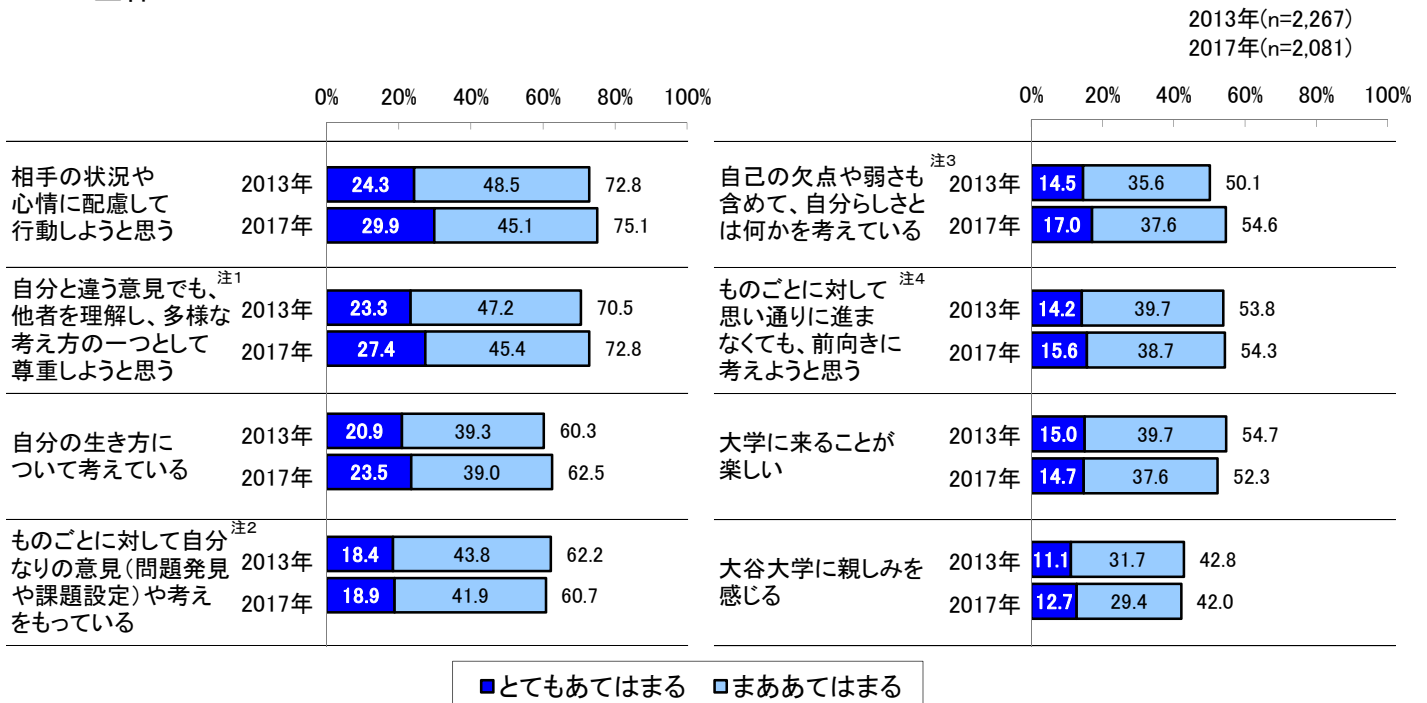
入学後の自己認識・評価としては、ほとんどの項目で評価が5割を超えており、評価は高い。特に、コミュニケーション能力と関連する「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「自分と違う意見でも、他者を理解し、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う」は7割を超えている。

一方、「大谷大学に親しみを感じる」と答えた学生は5割に満たず、他の項目に比べるとやや評価は低い。

2013年と比べると、「大学に来ることが楽しい」「ものごとに対して自分なりの意見（問題発見や課題設定）や考えをもっている」「大谷大学に親しみを感じる」の評価がやや低下している。

※ 評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

### ■全体



注1 2013年は「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」

注2 2013年は「ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている」

注3 2013年は「欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている」

注4 2013年は「ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う」

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す  
評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

## IV. 大谷大学での学業について

### 1. 授業出席率

Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

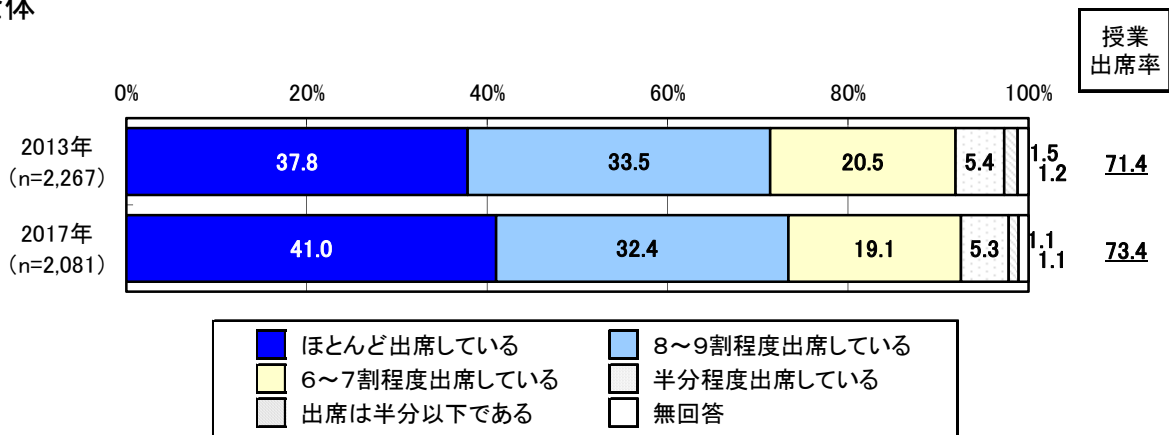
#### 授業出席率\*は73.4%で、「ほとんど出席している」が4割強

授業出席率（「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」）は73.4%で、2013年（71.4%）よりわずかではあるが上昇している。また、「ほとんど出席している」（41.0%）は4割を超えており、2013年（37.8%）と比べると3.2ポイント上昇している。

大学進学における目的意識の高まりが、出席率にも影響していると考えられる。

※ 授業出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

#### ■全体



## 2. 授業欠席理由（複数回答）

Q7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 授業を欠席する理由

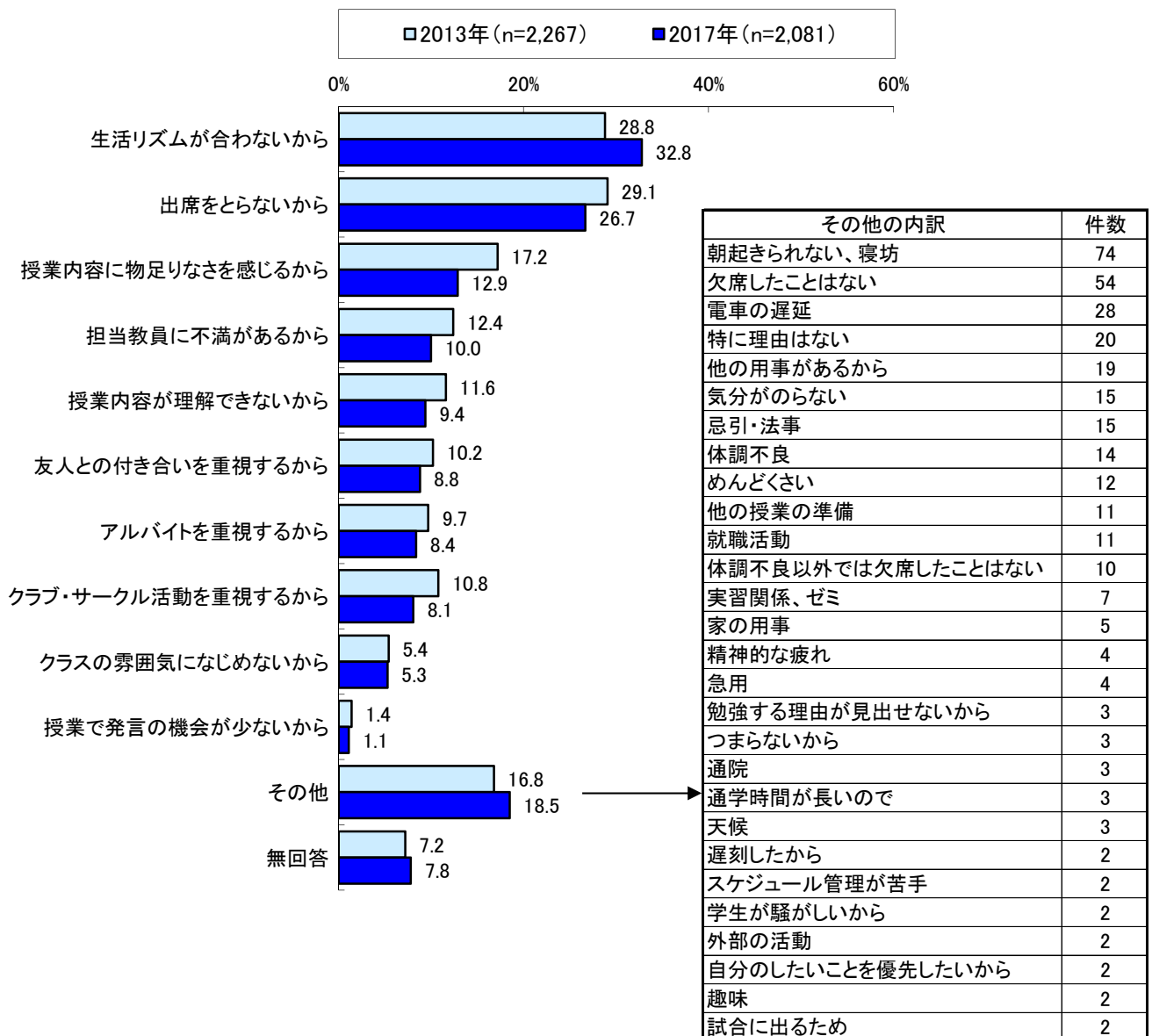
#### 1位は「生活リズムが合わないから」32.8%

授業を欠席する理由の1位は「生活リズムが合わないから」が32.8%、次いで「出席をとらないから」が26.7%と、それぞれ全体の約3割を占めている。

2013年と比べると、「生活リズムが合わないから」が4.0ポイント上昇し、他の項目は低下している。

その他の理由をみると、「朝起きられない、寝坊」が最も多く、次いで「電車の遅延」「他の用事があるから」「気分がのらない」などがあがる。

### ■全体



(2件以上のものを掲載)

### 3. 授業理解度

Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

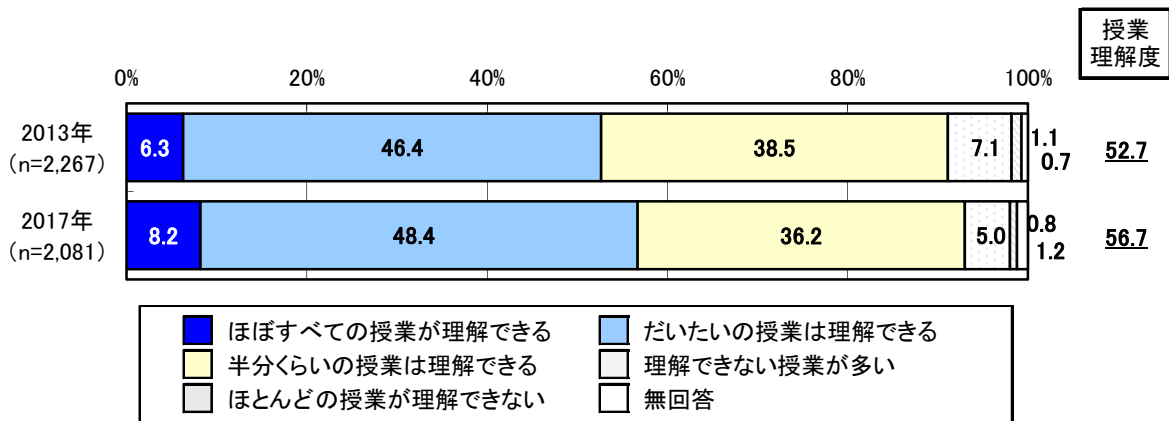
#### 授業理解度\*は56.7%で、2013年より上昇

授業理解度は56.7%で、2013年（52.7%）に比べ4.0ポイント上昇している。

授業出席率の上昇が、授業理解度の上昇につながっていると考えられる。

※ 授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたいの授業は理解できる」

#### ■全体



#### 4. 授業を理解できない理由（複数回答）

Q9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

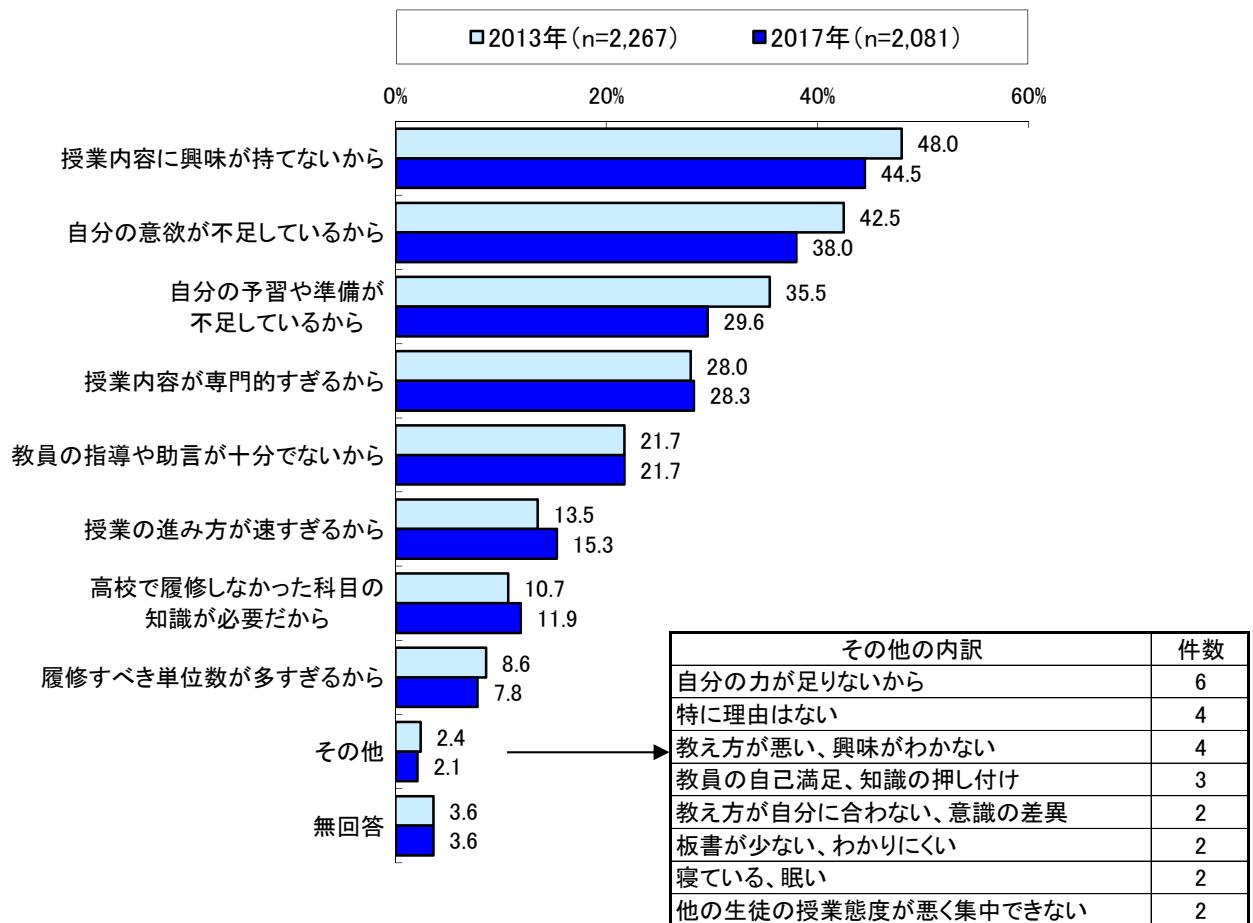
##### 授業を理解できない理由

- 1位：「授業内容に興味がないから」44.5%
- 2位：「自分の意欲が不足しているから」38.0%
- 3位：「自分の予習や準備が不足しているから」29.6%

授業を理解できない理由は、2013年と同様、「授業内容に興味がないから」（44.5%）、「自分の意欲が不足しているから」（38.0%）、「自分の予習や準備が不足しているから」（29.6%）が上位にあり、自己の関心や意欲の無さが授業を理解できない原因であると考える学生が多い。

2013年と比べると、「授業内容が専門的すぎるから」「教員の指導や助言が十分でないから」の選択率がほぼ横ばいで、「授業の進み方が速すぎるから」「高校で履修しなかった科目の知識が必要だから」の選択率がやや上昇しており、他責的な意見が増加傾向にある。

##### ■全体



(2件以上のものを掲載)



## V. 大谷大学に対する評価や満足度について

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

### 1. 「A.授業」の評価

#### 授業に対する評価※

1位：「専門的な知識・技能が身につく授業が多い」63.4%

2位：「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」61.5%

授業に関する8項目の中では、1位の「専門的な知識・技能が身につく授業が多い」(63.4%)、2位の「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」(61.5%)で評価がそれぞれ6割を超える。次いで「興味をもてる授業が多い」(47.0%)、「自分の生き方に影響を与えられる授業が多い」(45.7%)と続く。

2013年と比べると、すべての項目で評価が上昇しており、「とてもあてはまる」の割合も上昇している。特に、「将来の進路に役立ちそうな授業が多い」の評価は9.9ポイントと、他の項目に比べて大きく上昇している。

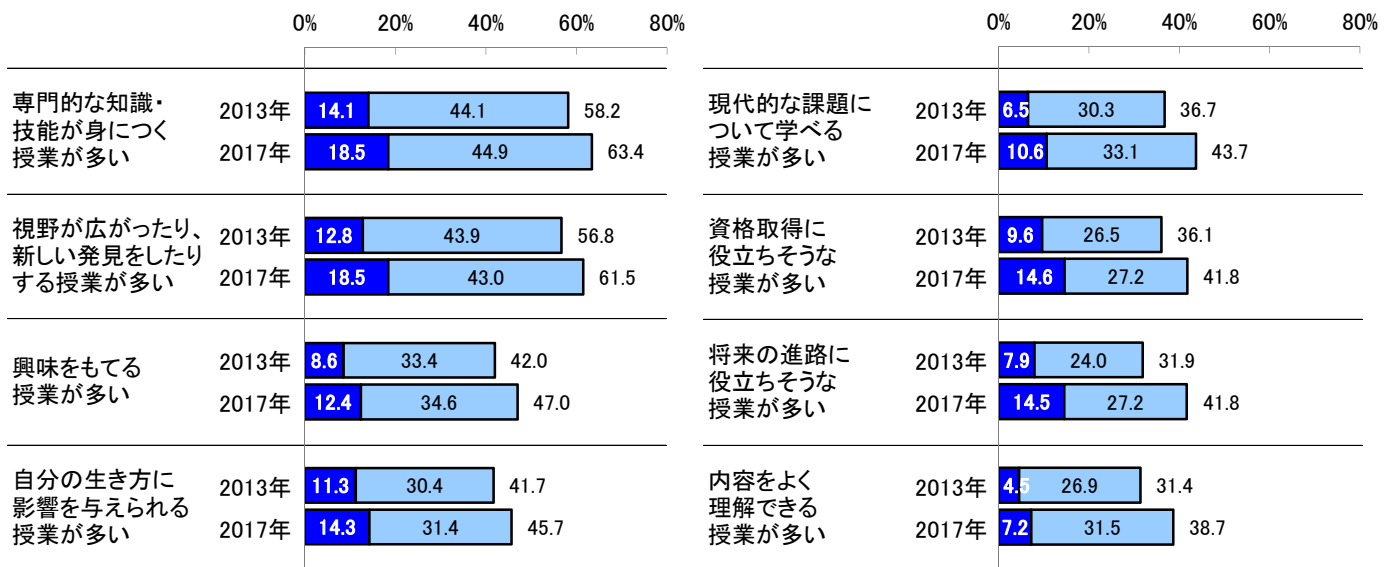
※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」 Q10は以下同様

#### 【A 大谷大学での授業について】

##### ■全体

2013年(n=2,267)

2017年(n=2,081)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す  
 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」  
 Q10は以下同様

## 2. 「B.学びの環境」の評価

### 学びの環境に対する評価※

1位は「Webシラバス（授業計画）は、時間割作成等に役立っている」63.0%

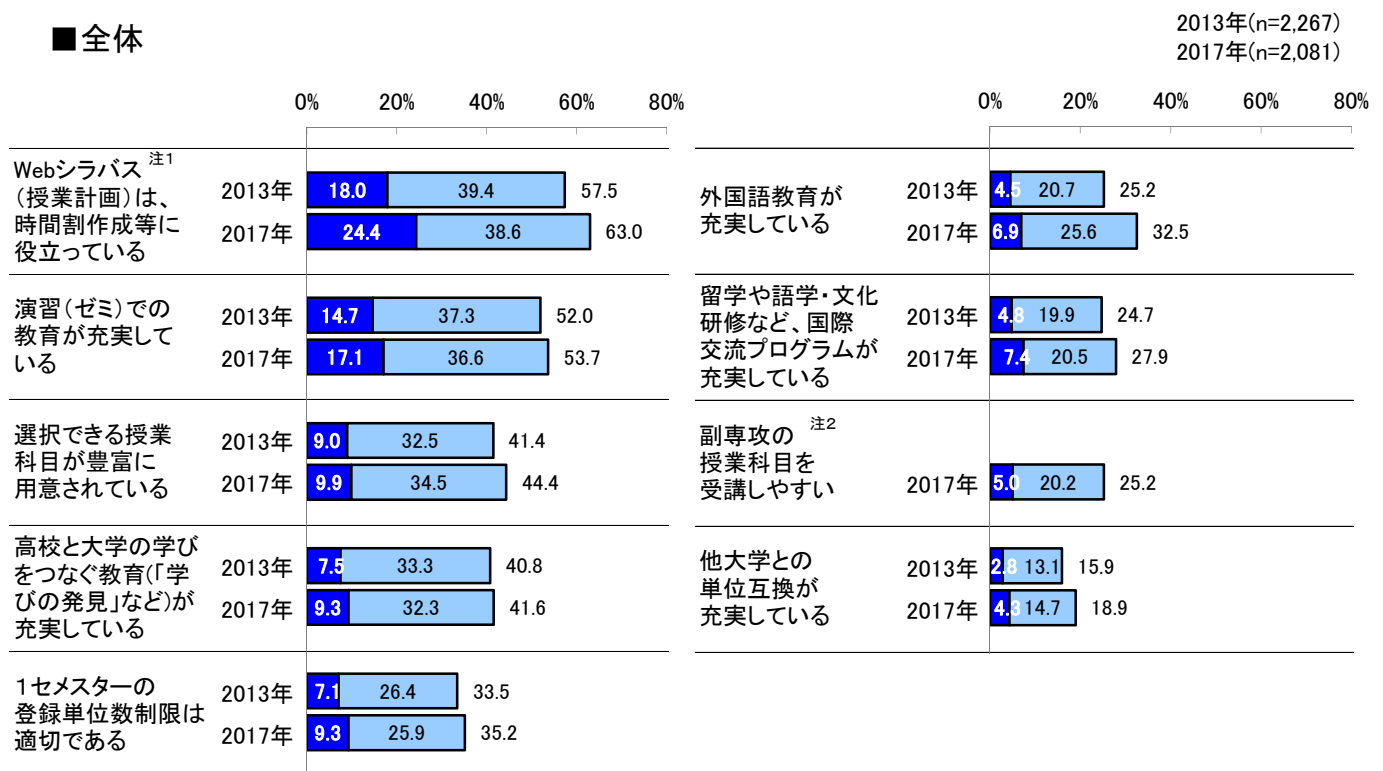
学びの環境に関する9項目の中で、最も評価の高い項目は「Webシラバス（授業計画）は、時間割作成等に役立っている」（63.0%）で、次いで「演習（ゼミ）での教育が充実している」（53.7%）、「選択できる授業科目が豊富に用意されている」（44.4%）、「高校と大学の学びをつなぐ教育（『学びの発見』など）が充実している」（41.6%）と続く。

2013年と比べると、ほとんどの項目で評価が上昇している。特に「外国語教育が充実している」は、2013年より7.3ポイント上昇している。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### 【B 大谷大学での学びの環境について】

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」

注2 2017年に新しく追加された項目

### 3. 「C.教員」の評価

#### 教員に対する評価\*

1位は「学問分野の専門家として優れた教員が多い」60.5%

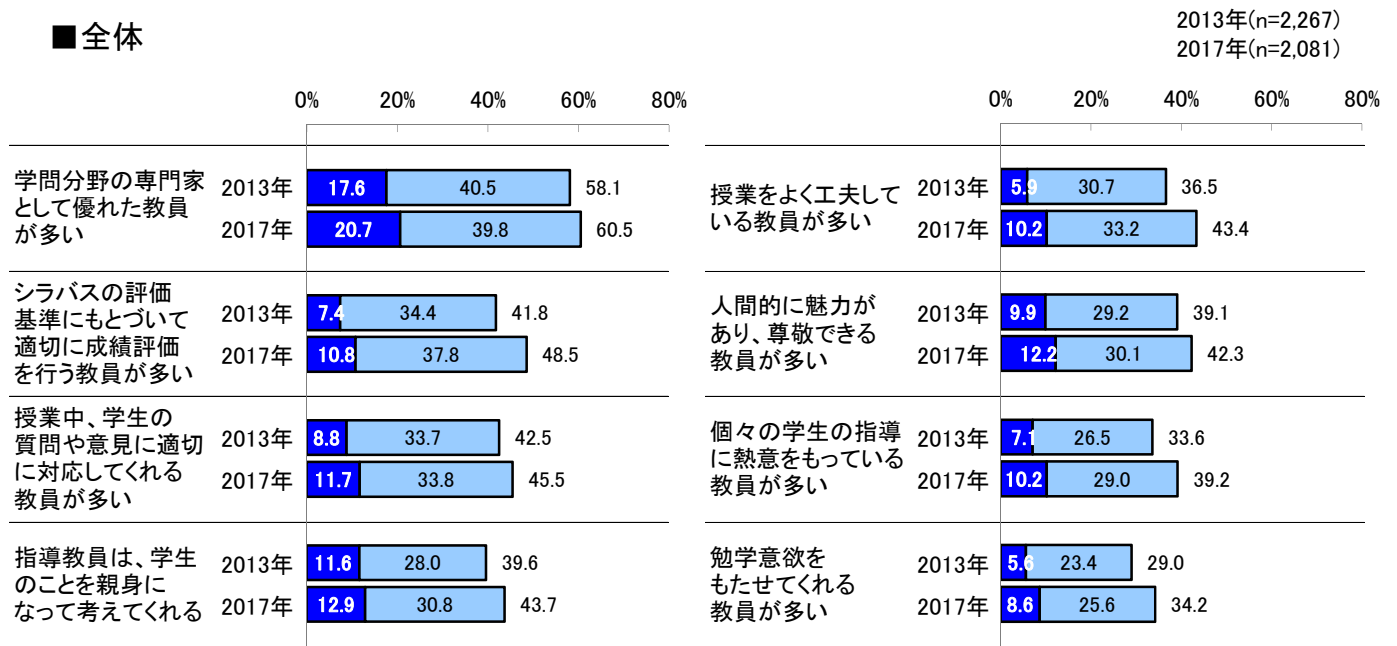
教員に関する8項目の中で最も評価が高いのは、「学問分野の専門家として優れた教員が多い」(60.5%)で、以下「シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い」(48.5%)、「授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い」(45.5%)と続く。

2013年と比べると、すべての項目で評価が上昇している。特に「授業をよく工夫している教員が多い」「シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い」は、それぞれ約7ポイント上昇している。

※ 評価=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

#### 【C 大谷大学の教員について】

##### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

#### 4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価

##### 教育に関するサポート体制の評価\*

1位は「OUNETや『学生向け情報提供システム』が充実している」  
50.9%

教育に関するサポート体制についての8項目の中で最も評価が高い項目は、「OUNETや『学生向け情報提供システム』が充実している」（50.9%）で、次に「入学時のオリエンテーションが充実している」（44.3%）が続く。

一方、「外国語学習や海外研修などのサポート体制が充実している」（24.3%）は2割台にとどまっている。

2013年と比べると、ほとんどの項目で評価が上昇している。特に「TAのアドバイスはわかりやすく、適切である」（36.6%）は11.5ポイント、「『学びの発見』の授業では、TA（ティーチングアシスタント）に相談できる体制が整っている」（34.6%）は12.5ポイント上昇し、TA制に対する評価が大きく上昇している。

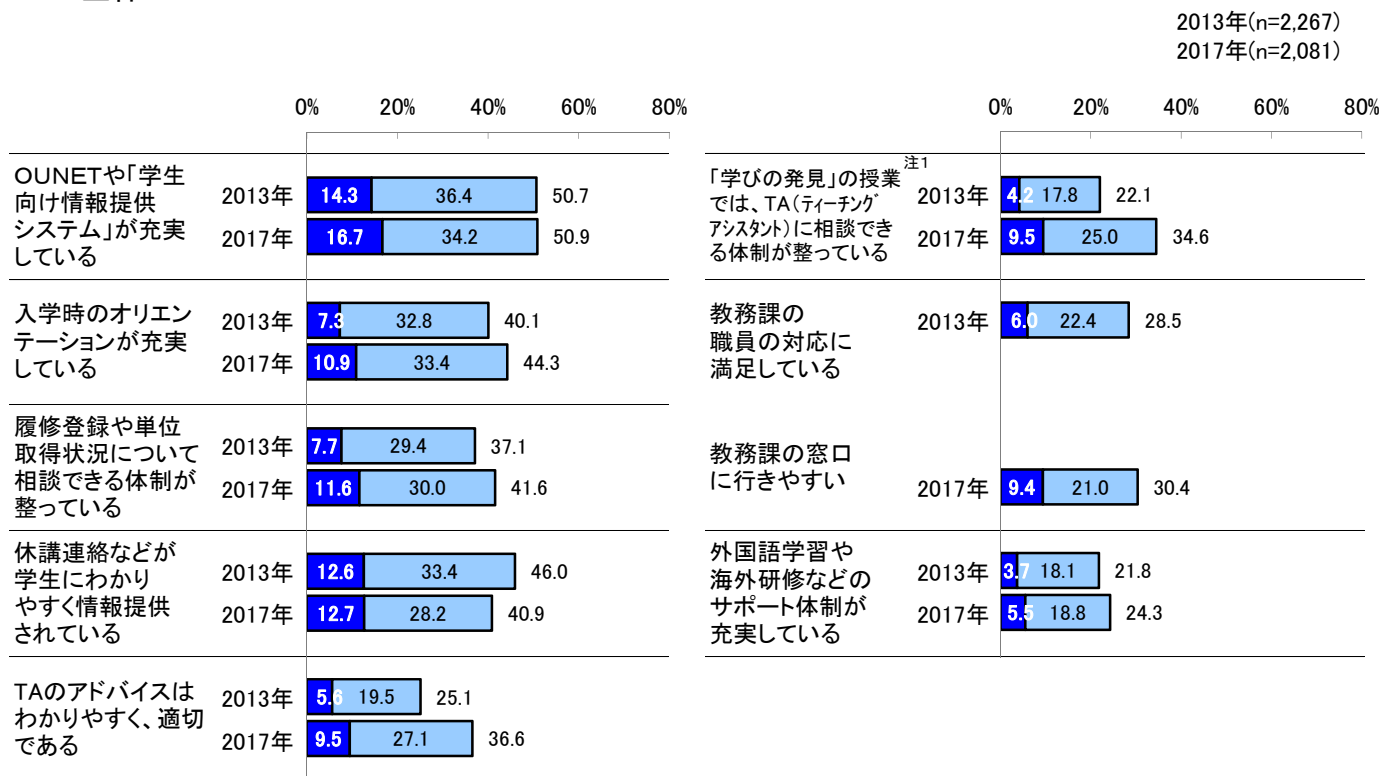
一方、「休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている」は5.1ポイント低下している。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

#### 【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

##### <教育に関するサポート>

##### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「導入科目の授業では、TA（ティーチングアシスタント）に相談できる体制が整っている」

## 学生生活に関するサポート体制の評価※

### 1位は「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」40.9%

学生生活に関するサポート体制についての8項目の中で最も評価の高い項目は、「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」（40.9%）である。

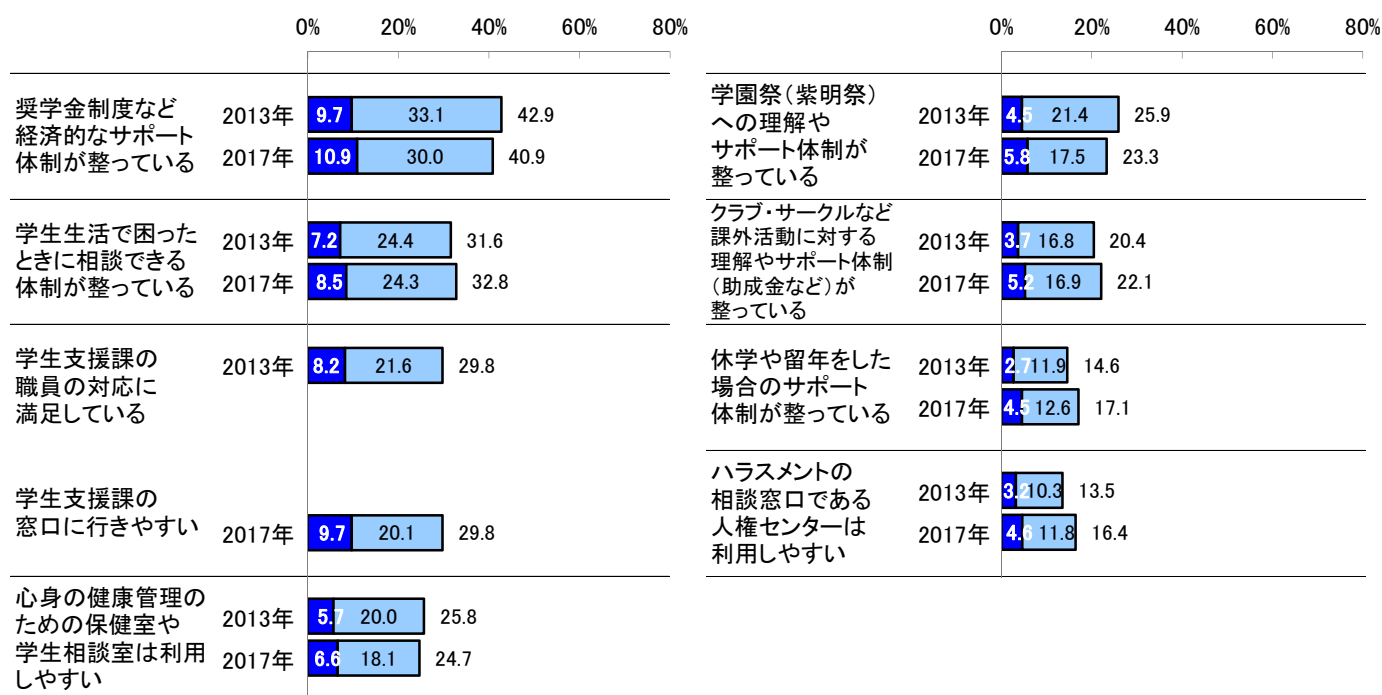
2013年と比べると、数ポイントながら評価が上昇した項目もみられるが、ほとんどの項目で評価は3割以下にとどまっており、依然として、これらの学生生活サポート自体が認知・利用されていない状況がうかがえる。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

## <学生生活に関するサポート>

### ■全体

2013年(n=2,267)  
2017年(n=2,081)



■とてもあてはまる □まああてはまる

## 5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価

問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**キャリアセンターの利用率\*は28.5%、  
利用しない理由の1位は「利用の仕方がわからないから」46.3%**

キャリアセンターの利用率は28.5%で、2013年よりも8.9ポイント低下している。

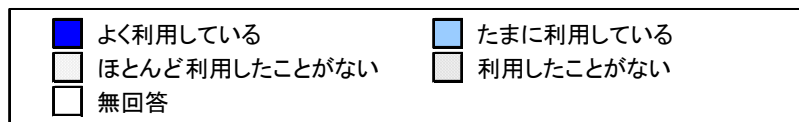
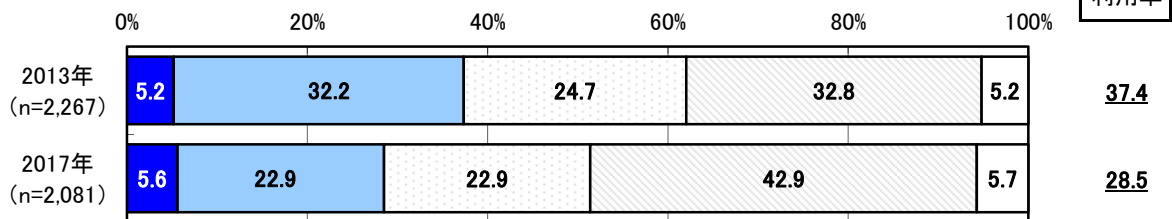
利用しない理由は、「利用の仕方がわからないから」（46.3%）が最も高いが、2013年と比べると「現段階で進路・就職サポートは不要だから」（37.5%）が9.3ポイント上昇している。

一方で、「就職活動をする予定がないから」（8.7%）は8.7ポイント低下しており、就職や卒業後の進路を意識した学生の増加がうかがえる。

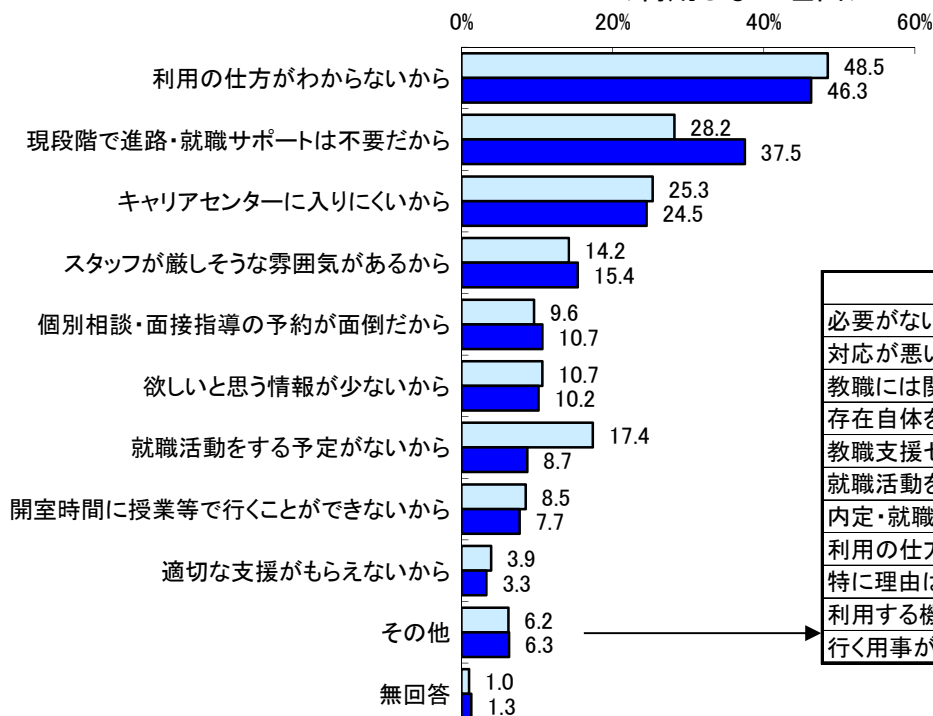
※ 利用率＝「よく利用している」＋「たまに利用している」

### 【E-1 キャリアセンターの利用状況について】

#### ■全体



#### <利用しない理由>



その他の内訳	件数
必要がないから	12
対応が悪い	8
教職には関係がない	7
存在自体を知らない・場所を知らない	6
教職支援センターを利用している	6
就職活動をする余裕がない	5
内定・就職先が決まっている	5
利用の仕方がわからない	5
特に理由はない	4
利用する機会がない	4
行く用事がない	2

(2件以上のものを掲載)

## 進路・就職サポート体制の評価\*

1位：「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」39.7%

2位：「資格や免許取得のためのサポート体制が充実している」39.0%

進路・就職サポート体制に関する13項目の中で最も評価が高いのは、「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」（39.7%）で、「資格や免許取得のためのサポート体制が充実している」（39.0%）が続く。

2013年と比べると、すべての項目で評価が上昇し、特に「資格や免許取得のためのサポート体制が充実している」「1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である」「公務員志望者のための指導や講座が充実している」の評価は、2013年より5ポイント以上上昇している。

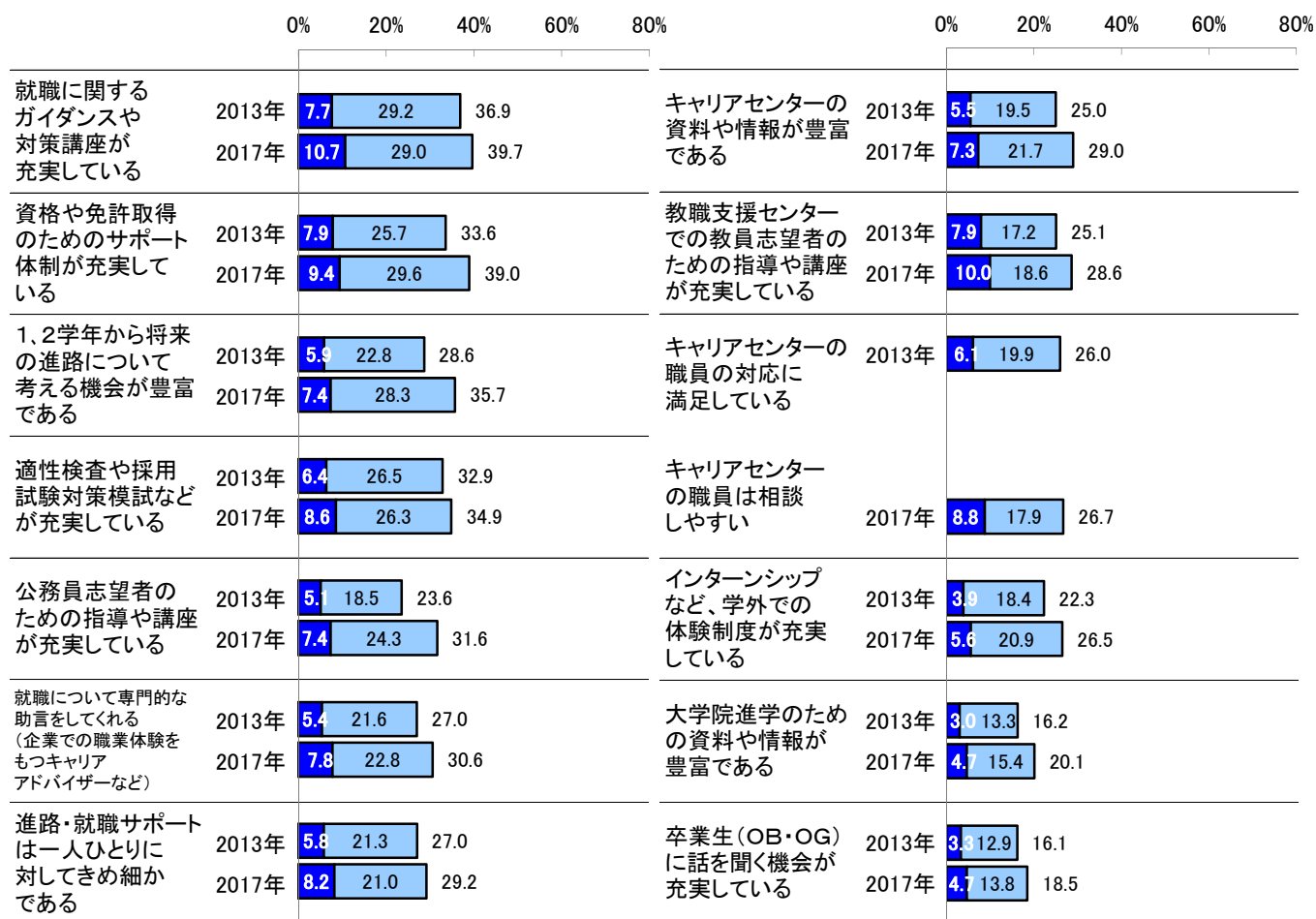
※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### 【E-2 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

2013年(n=2,267)

2017年(n=2,081)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

## 6. 「F.福利厚生施設・設備など」の評価

### 評価\*の高い福利厚生施設・・・《慶聞館》のトイレ 評価の低い福利厚生施設・・・《学内書店》《その他》の施設

《慶聞館》は、「トイレは利用しやすい」（82.5％）の評価が突出して高いが、他のスペースの利用者は3割程度にとどまっている。

《学内食堂》は、「利用しやすい営業時間である」（55.9％）の評価が高い。

《学内コンビニエンスストア》は、品数・価格帯、営業時間とも比較的评价が高い。

《学内書店》は、営業時間、種類・価格帯ともに比較的低い評価。

《その他》の湖西キャンパスのセミナーハウス（研修施設）、クラブ・サークル活動など課外活動のための施設に対する評価は、2割台と依然低い。

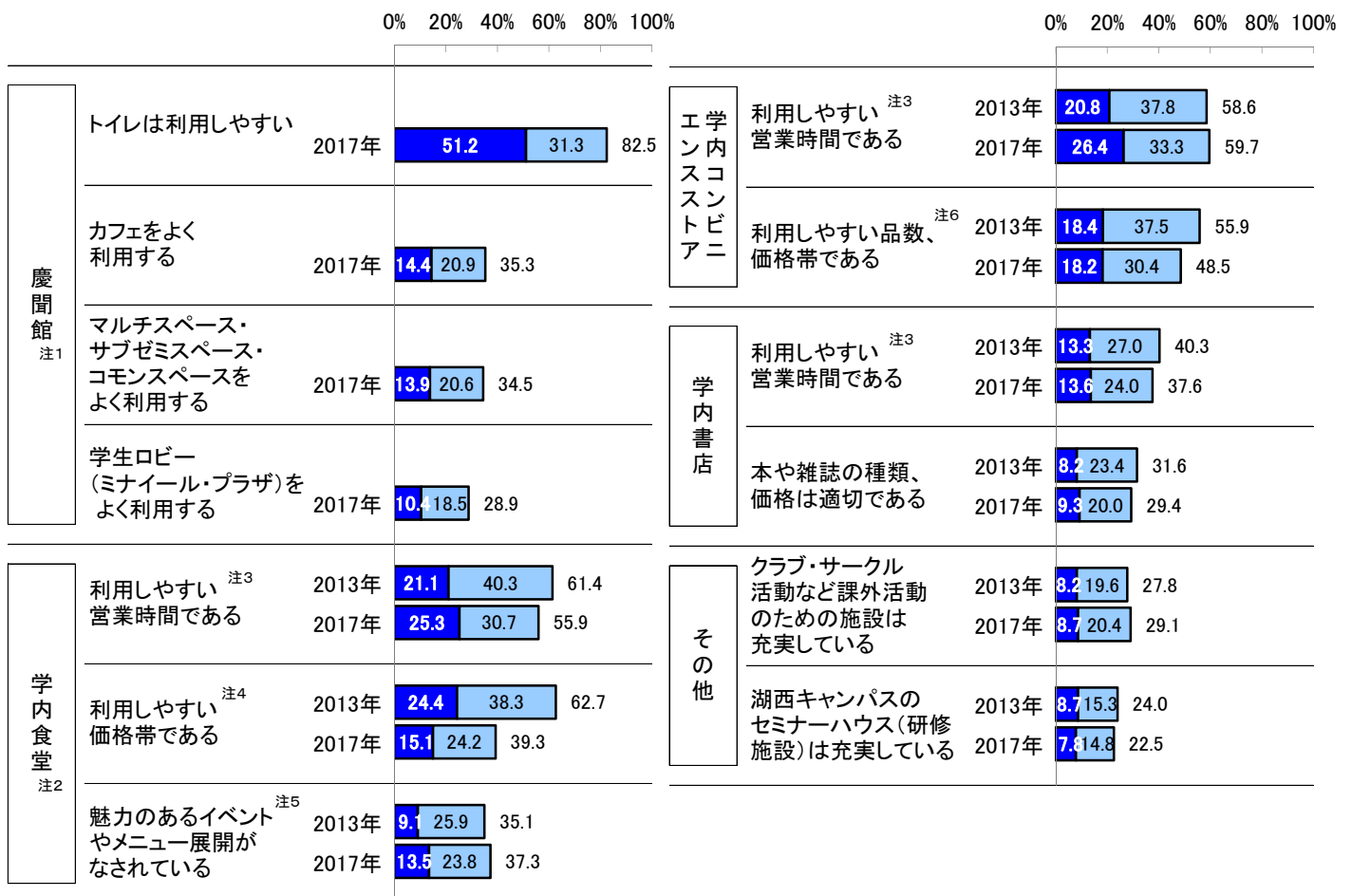
※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

#### 【F 大谷大学の福利厚生施設・設備などについて】

2013年(n=2,267)

2017年(n=2,081)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2017年に新しく追加された項目

注2 2013年は「食堂」

注3 2013年は「営業時間は適切である」

注4 2013年は「価格は適切である」

注5 2013年は「メニューが充実している」

注6 2013年は「品数、価格は適切である」



## 7. 「G.教育施設・設備など」の評価

### 教育施設・設備の評価\*

#### 《講義室など》の評価が高く、3項目中2項目で5割超

教育施設・設備の中では、《講義室など》の評価が高く、2013年と比べると、「利用できるパソコンの台数は十分である」が8.4ポイント、「授業の形式に合った教室の設備が整っている」が8.0ポイント上昇している。

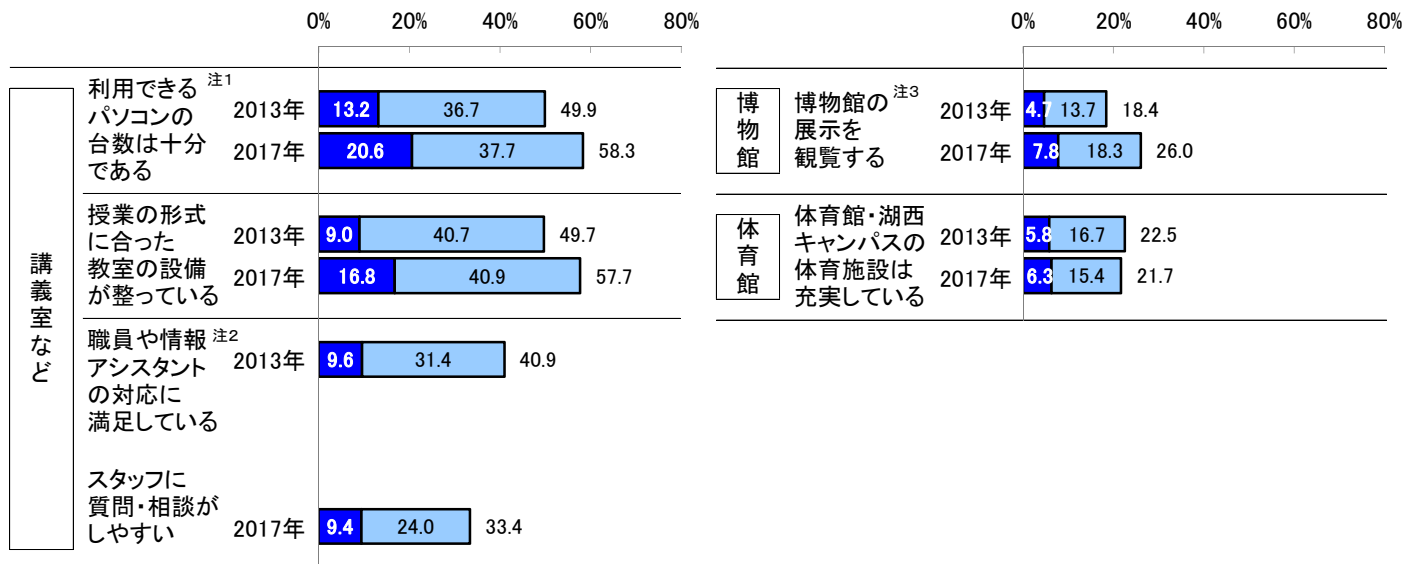
《博物館》、《体育館》の評価はどちらも2割台。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### 【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

2013年(n=2,267)  
2017年(n=2,081)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「情報処理教室」において「利用できるパソコンの台数は十分である」

注2 2013年は「情報処理教室」において「職員や情報アシスタントの対応に満足している」

注3 2013年は「博物館の展示をよく見学する」

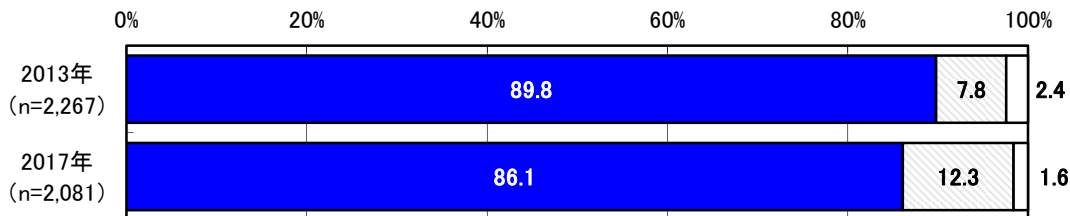
問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《図書館》の利用率は86.1%、2013年に比べやや低下

《図書館》の利用率は86.1%で、2013年（89.8%）と比べて3.7ポイント低下している。  
 しかし、利用者の評価※をみると、ほとんどの項目で2013年より上昇している。  
 《図書館》を利用しない理由では、「本を読まない・興味がない」が46件で最も多くあげられており、「行く用事・理由がないから」「行く機会がない」も多い。

※ 評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

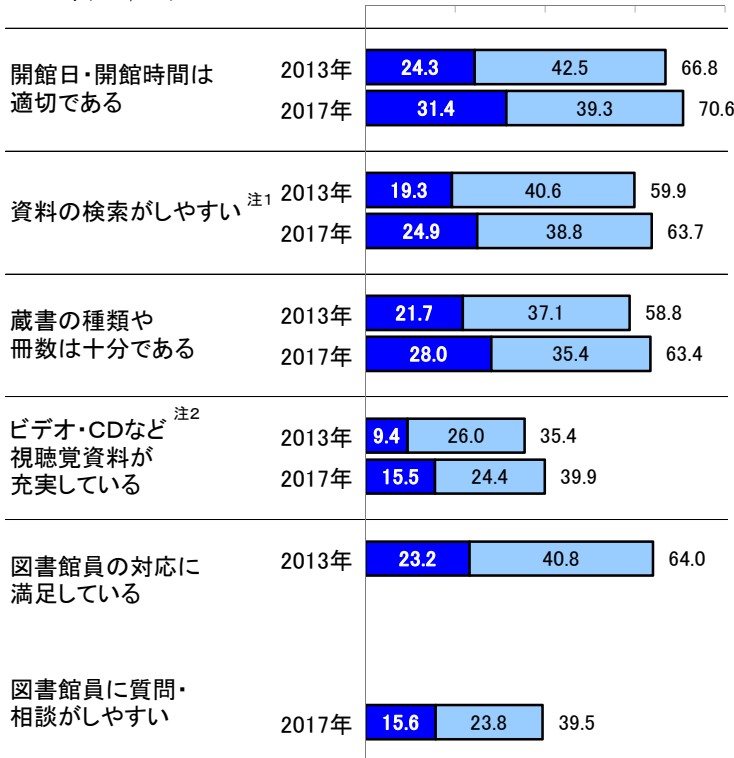
### ■全体



■ はい □ いいえ □ 無回答

### <利用者の評価>

2013年(n=2,035)  
2017年(n=1,791)



■ とてもあてはまる □ まああてはまる

図書館を利用しない理由	件数
本を読まない・興味がない	46
行く用事・理由がないから	39
行く機会がない	30
行く必要がない	21
特に理由はない	14
読みたい本がない	9
行く時間がない	8
総合研究室を利用するから	7
試験・勉強以外では利用しない	5

(5件以上のものを掲載)

注1 2013年は「探している本を検索しやすい」

注2 2013年は「ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している」

問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《総合研究室》は約7割が利用

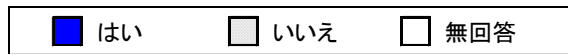
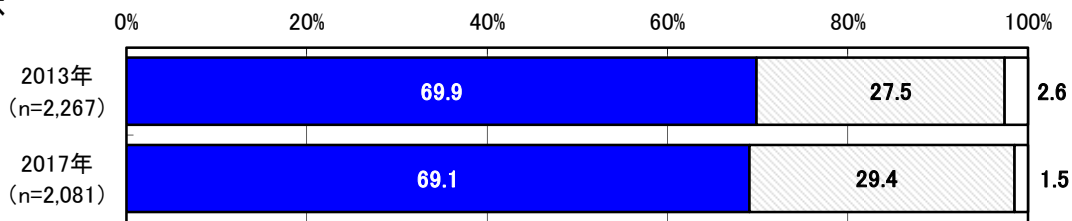
《総合研究室》の利用率は69.1%で、2013年とほぼ変わらない。

利用者の評価※をみると、「利用したい時にパソコンが利用できる」(70.0%)、「開室日・開室時間は適切である」(68.6%)の評価が高い。一方、『助教』に関する項目に対する評価はやや低下している。

《総合研究室》を利用しない理由では、「行く機会がないから」「用事や目的がない」「必要がないから」に次いで、「何をやる場所か・利用の仕方がわからない」が60件もあることから、学生への周知の不足が考えられる。

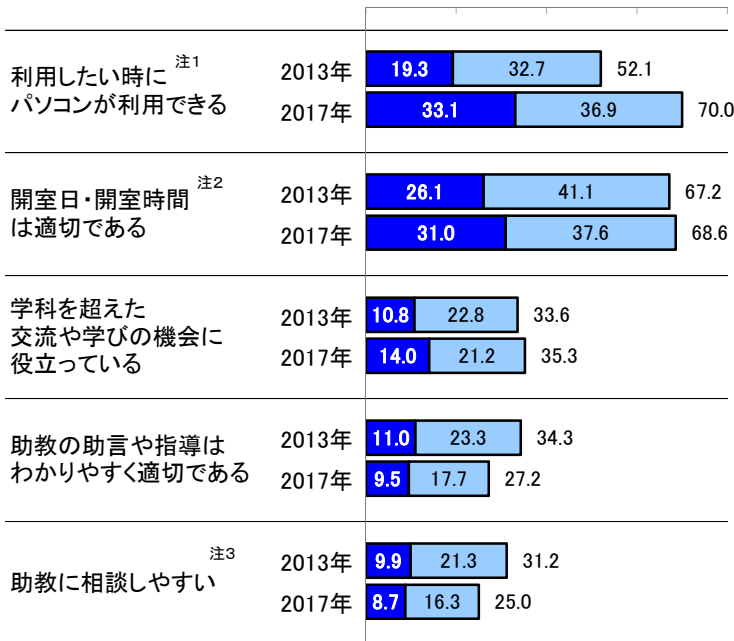
※ 評価=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### ■全体



### <利用者の評価>

2013年(n=1,585)  
2017年(n=1,438)



総合研究室を利用しない理由	件数
行く機会がないから	81
用事や目的がない	70
必要がないから	60
何をやる場所か・利用の仕方がわからない	60
行く理由がないから	35
入りづらい・利用しにくい	31
特に理由はない	25
図書館を利用するから	17
騒がしい	15
場所を知らないから	15
図書館で十分だから	13
利用しない	11
存在自体を知らない	10
勉強は自分の家でするから	7
他の施設を利用するから	7
行こうと思わない	5
興味がない・魅力がない	5

(5件以上のものを掲載)

※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「利用できるパソコンの台数は十分である」

注2 2013年は「開室時間は適切である」

注3 2013年は「常駐している助教に相談しやすい」

注4 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」  
については回答者ベースで評価を算出

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《GLOBAL SQUARE》の利用率は約2割

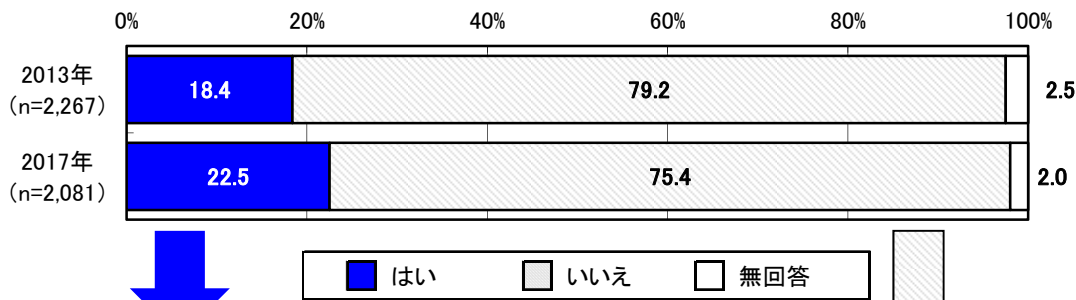
《GLOBAL SQUARE》の利用率は22.5%であり、図書館や総合研究室の利用率と比べて低いものの、2013年（18.4%）と比較すると4.1ポイント上昇している。

利用者の評価※を2013年と比べると、すべての項目で評価が上昇し、特に「スタッフに相談しやすい」（52.0%）は15.2ポイント、「開室時間は適切である」（54.4%）は10.9ポイントとそれぞれ大きく上昇している。

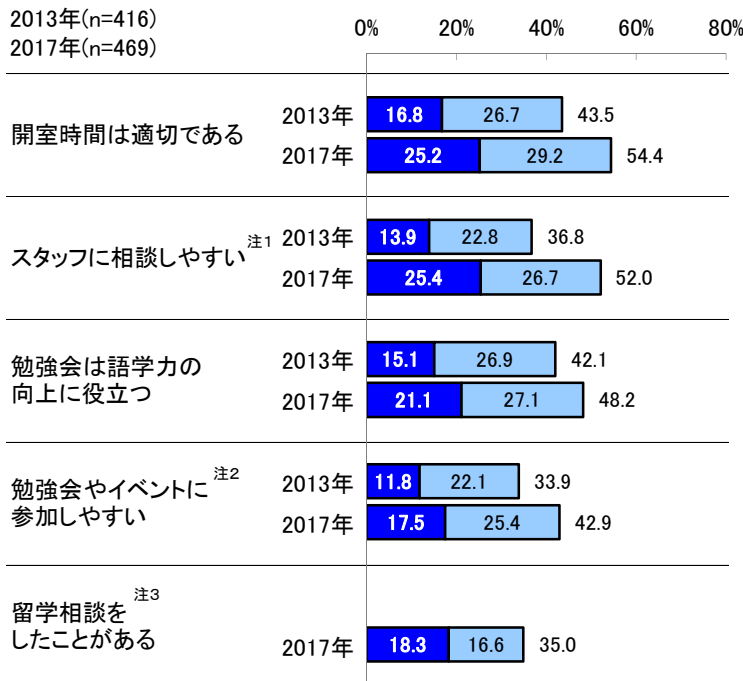
《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由は、「興味・関心がない」が163件、「何をする場所か・利用の仕方がわからない」が151件もあり、《GLOBAL SQUARE》の存在や施設の目的・活動内容を知らない学生が非常に多いことがうかがえる。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### ■全体



### <利用者の評価>



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「常駐しているスタッフに相談しやすい」

注2 2013年は「勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある」

注3 2017年に新しく追加された項目

GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
興味・関心がない	163
何をする場所か・利用の仕方がわからない	151
利用する機会がないから	138
行きにくい・入りづらい	125
利用する用事や目的がない	112
行く必要がないから	109
利用する理由がないから	76
特に理由はない	52
留学や国際交流に関心がない	49
利用する時間がない・時間が合わない	47
存在自体知らない・聞いたことがない	42
利用したことがない・行かないから	29
語学能力がないから	21
外国語を学ぶ気がないから	20
利用する気にならないから	19
留学を考えていないから	13
行く勇気がない	8
場所を知らないから	8
自分で学習できるから	8
語学を学んでいるわけではないから	7
施設の場所が遠い	6
今後利用したい	5
外国語が好きではない	5

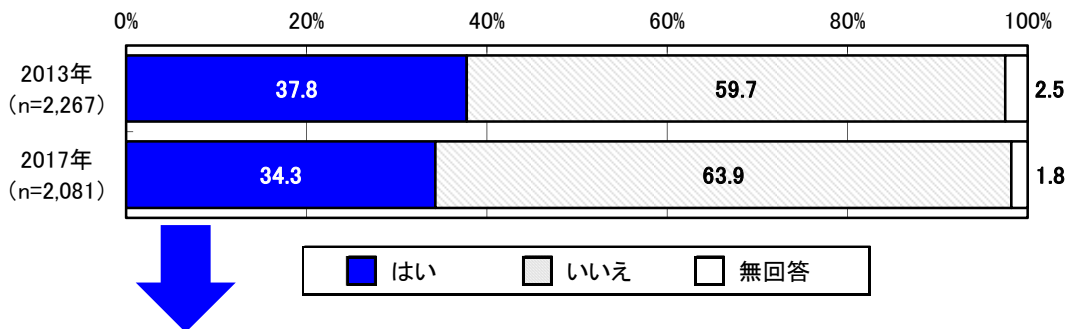
(5件以上のものを掲載)

問. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

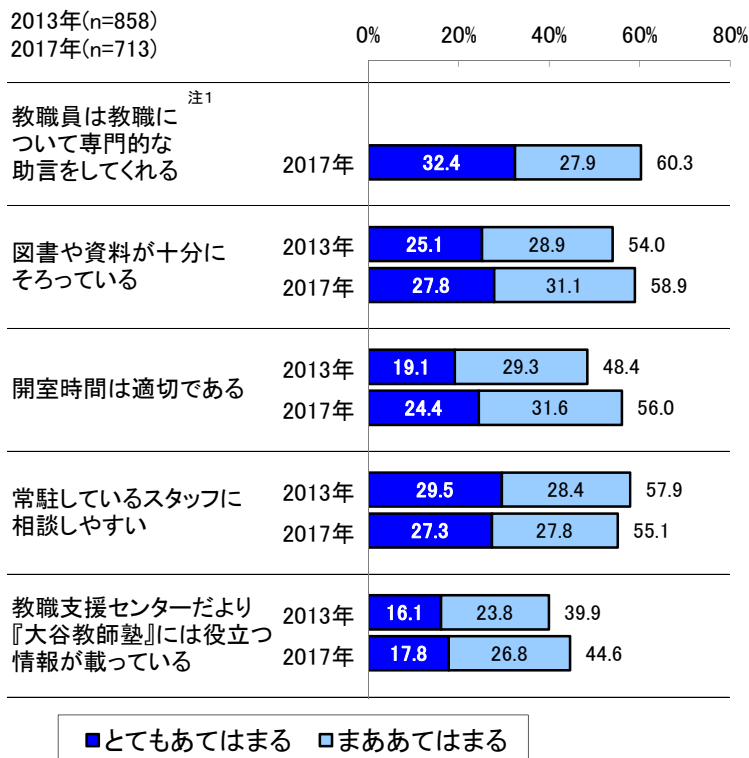
## 《教職支援センター》の利用率※は3割強

《教職支援センター》の利用率は34.3%で、2013年と比べると3.5ポイント低下している。  
 利用者の評価※は「教職員は教職について専門的な助言をしてくれる」が6割を超える。次いで「図書や資料が十分にそろっている」(58.9%)、「開室時間は適切である」(56.0%)も、2013年と比べて上昇し、それぞれ6割弱の評価。  
 「常駐しているスタッフに相談しやすい」(55.1%)は2013年よりわずかに低下している。  
 ※ 評価=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### ■全体



### <利用者の評価>



注1 2017年に新しく追加された項目

問. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きします。  
あなたは《実習支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

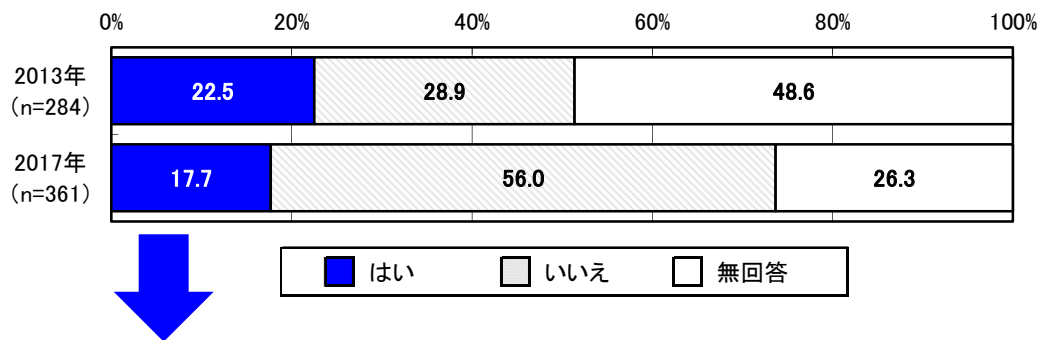
## 社会学科在籍学生の《実習支援センター》の利用率は2割弱

社会学科在籍学生の《実習支援センター》の利用率は17.7%で、2013年と比べると約5ポイント低下している。また、利用者の評価※もすべての項目で低下しており、「常駐しているスタッフに相談しやすい」(40.6%)、「実習手続きの窓口として適切である」(39.1%)は、2013年と比べてそれぞれ15ポイント以上低下している。

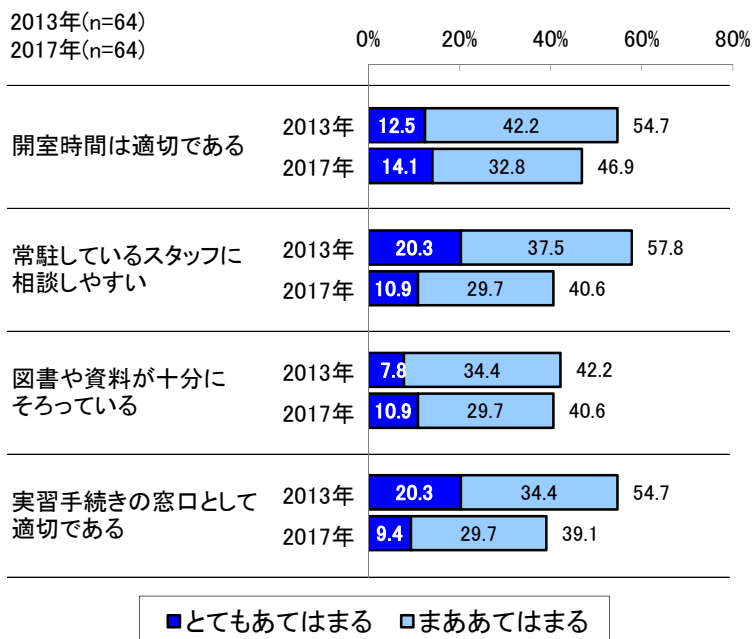
実習支援センター移設のため、センターを利用しているという認識が学生になかった可能性がある。

※ 評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### ■全体



### <利用者の評価>



## 8. 「H.その他」の評価

### その他の項目に対する評価

1位は「通学のための交通の便がよい」73.1%

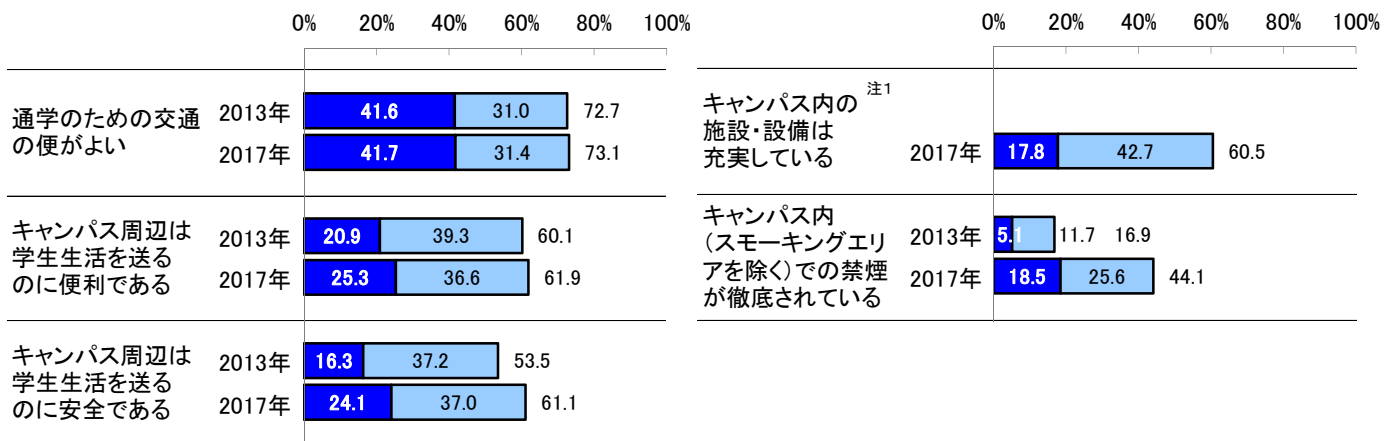
その他の項目について、最も評価の高い項目は、「通学のための交通の便がよい」（73.1%）で、以下「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」（61.9%）、「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」（61.1%）、「キャンパス内の施設・設備は充実している」（60.5%）と続く。2013年と比べると、「キャンパス内（スモークエリアを除く）での禁煙が徹底されている」（44.1%）が27.2ポイントと大幅に評価が上昇している。

※ 評価=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」

### 【H その他】

#### ■全体

2013年(n=2,267)  
2017年(n=2,081)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2017年に新しく追加された項目

## 9. 各カテゴリーの満足度

### 満足度\*上位3カテゴリー

1位：「H.その他」62.3%

2位：「A.授業」55.1%

3位：「F.福利厚生施設・設備など」49.4%

8カテゴリーの中で最も満足度の高いカテゴリーは、「H.その他」（62.3%）で、以下「A.授業」（55.1%）、「F.福利厚生施設・設備など」（49.4%）と続く。

2013年と比べると、「G.教育施設・設備など」「H.その他」「A.授業」で満足度は5ポイント以上上昇しているが、「A.授業」は不満度\*も3.2ポイント上昇している。

一方、「B.学びの環境」の満足度は2.3ポイントではあるが、唯一低下している。

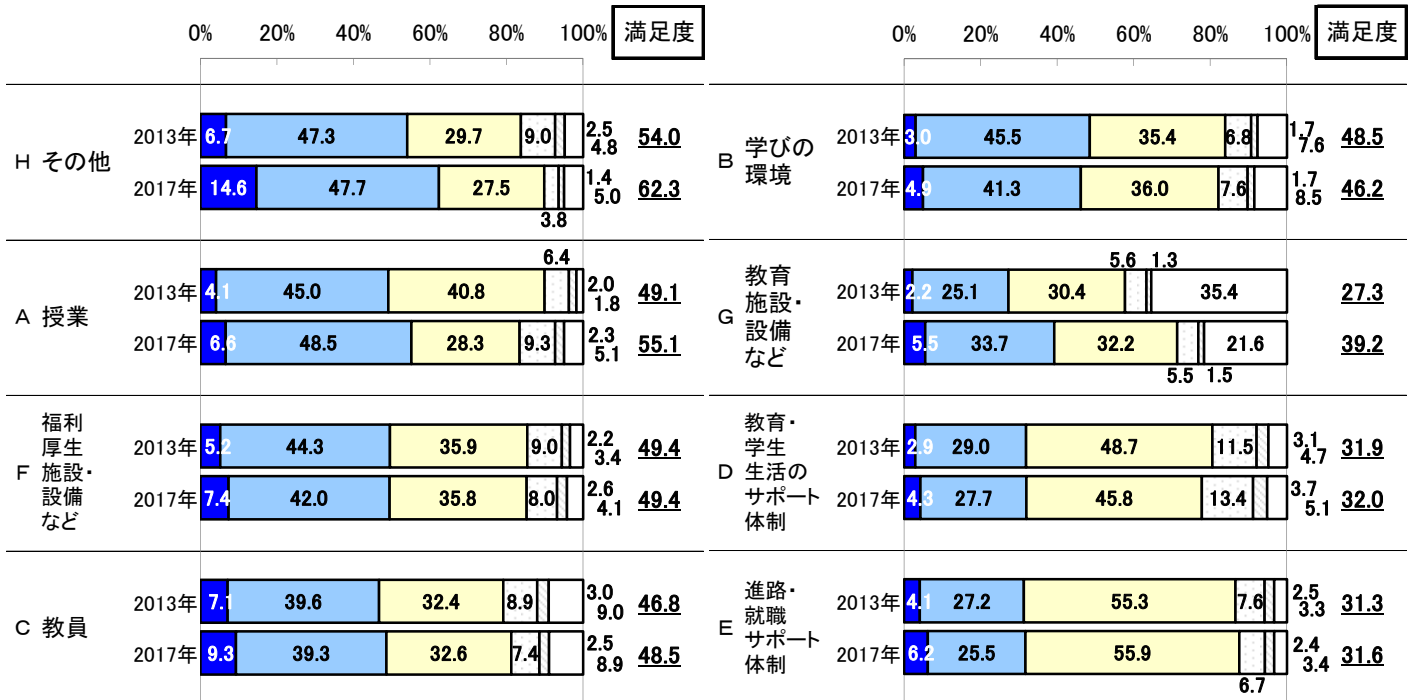
※ 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

※ 不満度＝「あまり満足していない」＋「まったく満足していない」

### ■全体



2013年(n=2,267)  
2017年(n=2,081)





## VI. 大谷大学に対する満足度について

### 1. 大谷大学への満足度

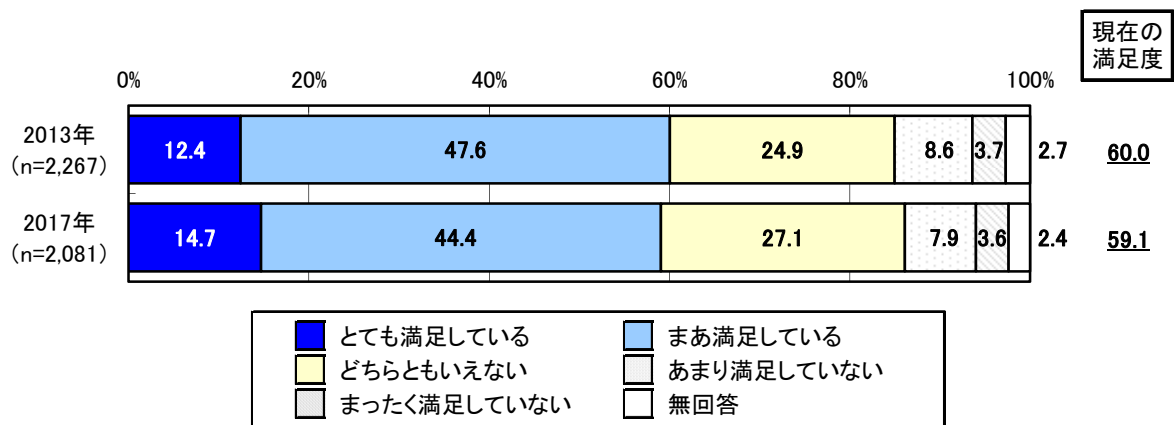
Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

大谷大学に対する現在の満足度※は59.1%、  
2013年と比べほぼ横ばい

大谷大学への現在の満足度は59.1%で、2013年（60.0%）とほとんど変わらないが、「とても満足している」（14.7%）は2.3ポイント上昇している。

※ 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

#### ■全体



## 2. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

### 入学時の満足度と比べると、現在の満足度は大きく上昇

入学時の満足度（41.8％）と比べると、現在の満足度（59.1％）は、17.3ポイント増加している。2013年と比べると、満足度の変化量は増加している。

#### 【学科別】

すべての学科で、入学時の満足度よりも現在の満足度の方が高い。特に国際文化学科では、満足度の変化量が28.7ポイントと大きい。また、人文情報学科では、満足度の変化量が2013年より20ポイント近く増加している。一方、社会学科では満足度の変化量が小さく7.2ポイント。

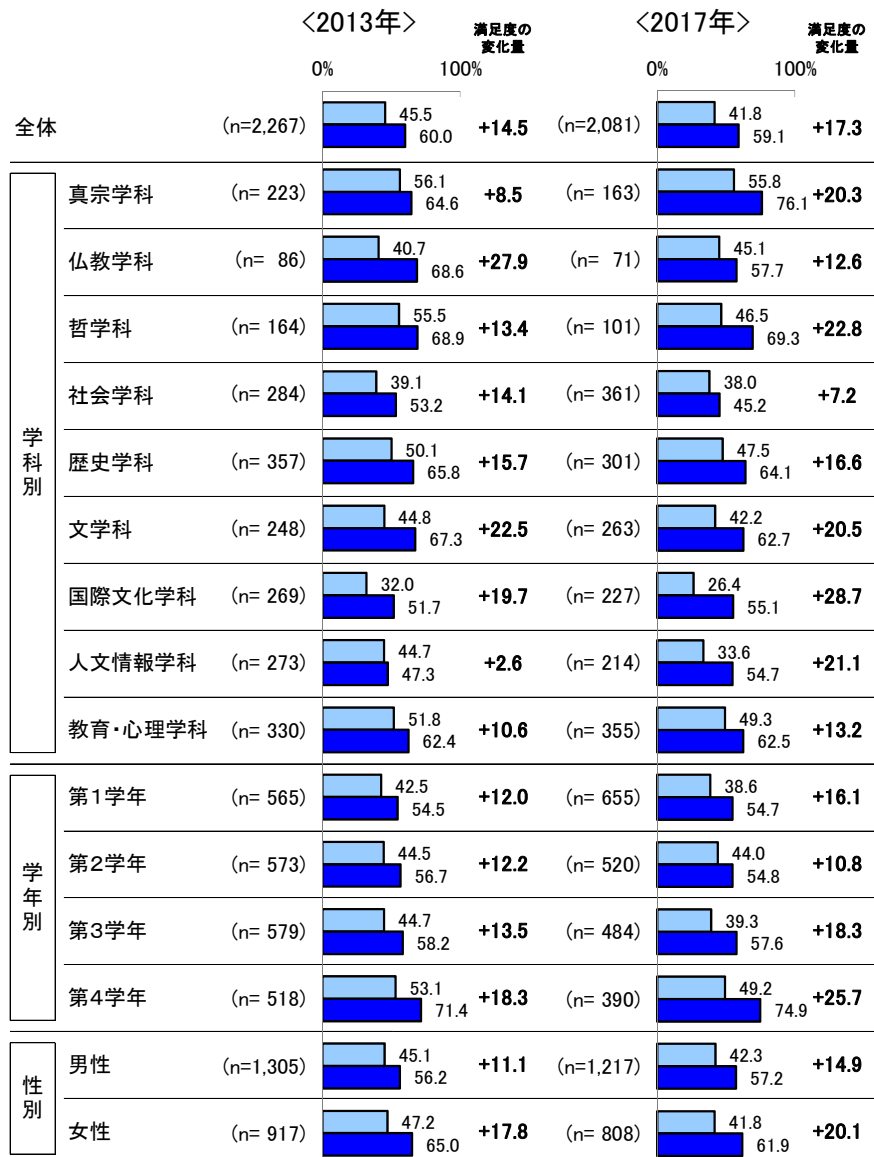
#### 【学年別】

満足度の変化量は、第4学年で25.7ポイントと最も大きく、第2学年で10.8ポイントと最も小さい。2013年と比べると、第2学年の満足度の変化量は減少している。

#### 【性別】

満足度の変化量は女性の方が大きい。

### ■全体／学科別／学年別／性別



□ 入学時の満足度 ■ 現在の満足度

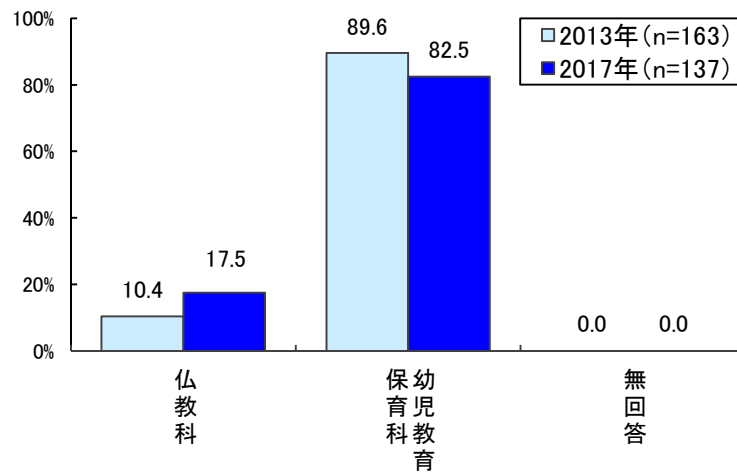
注) 入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」  
 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」  
 満足度の変化量＝「現在の満足度」－「入学時の満足度」

## **【短期大学部編】 調査結果**

# 回答者の属性

## ●学科

### ■全体



## ■学年別／性別

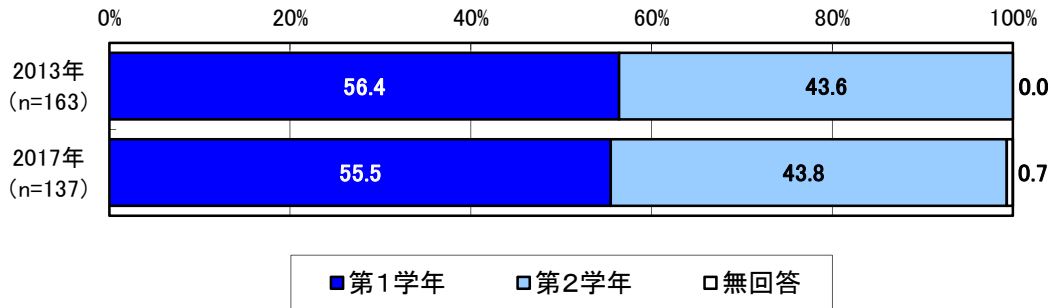
		回答者数 (n)		仏教科		保育幼児教育		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	10.4	17.5	89.6	82.5	0.0	0.0
学年別	第1学年	92	76	13.0	13.2	87.0	86.8	0.0	0.0
	第2学年	71	60	7.0	21.7	93.0	78.3	0.0	0.0
性別	男性	28	25	46.4	68.0	53.6	32.0	0.0	0.0
	女性	134	111	3.0	6.3	97.0	93.7	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

● 学年

■ 全体



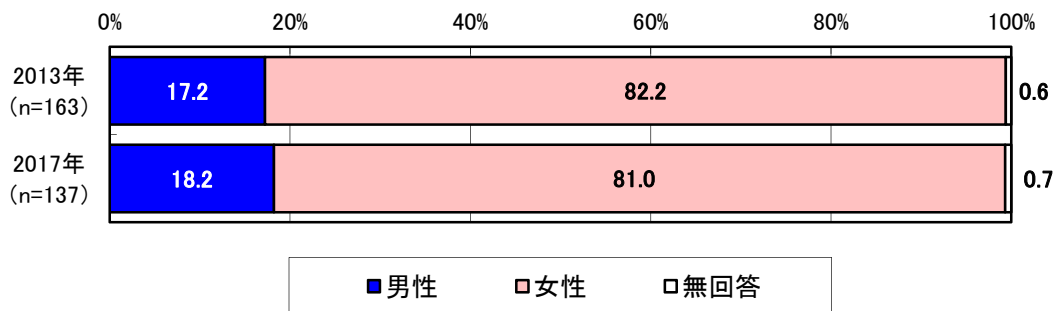
■ 学科別／性別

		回答者数 (n)		第1学年 (%)		第2学年 (%)		無回答 (%)	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	56.4	55.5	43.6	43.8	0.0	0.7
学科別	仏教科	17	24	70.6	41.7	29.4	54.2	0.0	4.2
	幼児教育保育科	146	113	54.8	58.4	45.2	41.6	0.0	0.0
性別	男性	28	25	57.1	52.0	42.9	48.0	0.0	0.0
	女性	134	111	56.0	55.9	44.0	43.2	0.0	0.9

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

● 性別

■ 全体

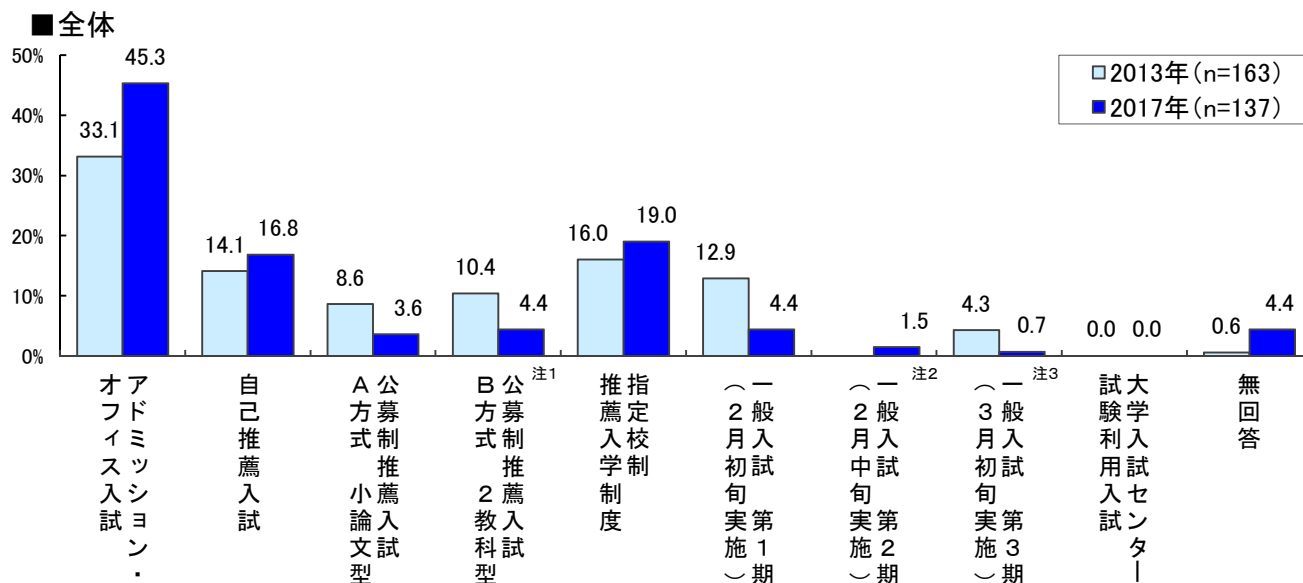


■ 学科別／学年別

		回答者数 (n)		男性 (%)		女性 (%)		無回答 (%)	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	17.2	18.2	82.2	81.0	0.6	0.7
学科別	仏教科	17	24	76.5	70.8	23.5	29.2	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	10.3	7.1	89.0	92.0	0.7	0.9
学年別	第1学年	92	76	17.4	17.1	81.5	81.6	1.1	1.3
	第2学年	71	60	16.9	20.0	83.1	80.0	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

## ●入学した入試方式



注1 2013年は「公募制推薦入試 B方式 教科型」

注2 2017年に新しく追加された項目

注3 2013年は「一般入試 第2期 教科型」として3月に実施したもの

## ■学科別／学年別／性別

		回答者数 (n)		オア フイ スミ ッ シ ョ ン ・ 入 試		自 己 推 薦 入 試		小 論 文 式 入 試 A 推 薦 制 式 入 試		2 方 式 入 試 B 推 薦 制 式 入 試		制 推 指 薦 入 校 制 度	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	33.1	45.3	14.1	16.8	8.6	3.6	10.4	4.4	16.0	19.0
学科別	仏教科	17	24	41.2	25.0	11.8	25.0	0.0	4.2	0.0	0.0	5.9	12.5
	幼児教育保育科	146	113	32.2	49.6	14.4	15.0	9.6	3.5	11.6	5.3	17.1	20.4
学年別	第1学年	92	76	43.5	43.4	14.1	18.4	6.5	5.3	8.7	6.6	12.0	14.5
	第2学年	71	60	19.7	48.3	14.1	15.0	11.3	1.7	12.7	1.7	21.1	25.0
性別	男性	28	25	21.4	32.0	21.4	24.0	7.1	12.0	3.6	0.0	17.9	16.0
	女性	134	111	35.1	47.7	12.7	15.3	9.0	1.8	11.9	5.4	15.7	19.8

		回答者数 (n)		(第 一 実 施 期 初 旬 入 試)		(第 一 実 施 期 中 旬 入 試)		(第 一 実 施 期 初 旬 入 試)		大 学 入 試 セ ン タ ー 利 用 入 試		無 回 答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	12.9	4.4	—	1.5	4.3	0.7	0.0	0.0	0.6	4.4
学科別	仏教科	17	24	35.3	8.3	—	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	幼児教育保育科	146	113	10.3	3.5	—	1.8	4.1	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0
学年別	第1学年	92	76	10.9	5.3	—	2.6	4.3	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6
	第2学年	71	60	15.5	3.3	—	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	1.4	5.0
性別	男性	28	25	21.4	4.0	—	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	12.0
	女性	134	111	11.2	4.5	—	1.8	4.5	0.9	0.0	0.0	0.0	2.7

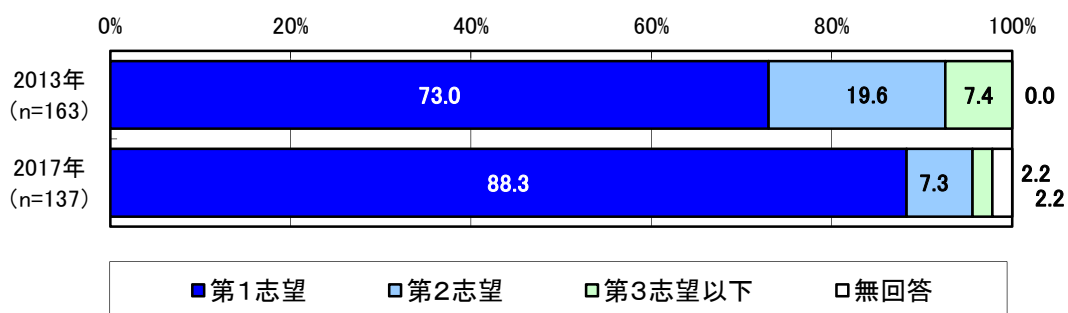
全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

● 受験時の志望順位

■ 全体



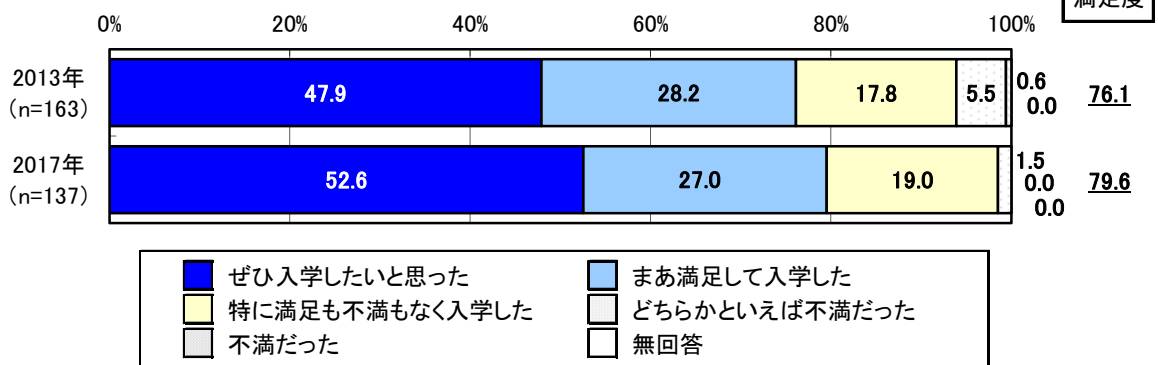
■ 学科別／学年別／性別／入試方式別

		回答者数 (n)		第1志望		第2志望		第3志望以下		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	73.0	88.3	19.6	7.3	7.4	2.2	0.0	2.2
学科別	仏教科	17	24	94.1	83.3	5.9	4.2	0.0	0.0	0.0	12.5
	幼児教育保育科	146	113	70.5	89.4	21.2	8.0	8.2	2.7	0.0	0.0
学年別	第1学年	92	76	77.2	82.9	17.4	10.5	5.4	3.9	0.0	2.6
	第2学年	71	60	67.6	96.7	22.5	3.3	9.9	0.0	0.0	0.0
性別	男性	28	25	89.3	92.0	10.7	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	女性	134	111	69.4	87.4	21.6	8.1	9.0	2.7	0.0	1.8
入試方式別	AO入試	54	62	100.0	96.8	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	23	23	82.6	91.3	13.0	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0
	公募制推薦	31	11	38.7	63.6	48.4	18.2	12.9	18.2	0.0	0.0
	指定校制推薦	26	26	88.5	96.2	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0
	一般入試	28	9	35.7	55.6	42.9	33.3	21.4	11.1	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い
  全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

## ●入学した時の気持ち

### ■全体



※入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」

### ■学科別／学年別／性別／入試方式別／受験時の志望順位別

	回答者数 (n)		入学時の満足度		ぜひ入学したいと思った		まあ満足して入学した		特に満足も不満もなく入学した		どちらかといえば不満だった		不満だった		無回答	
	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
年度	163	137	76.1	79.6	47.9	52.6	28.2	27.0	17.8	19.0	5.5	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0
全体	163	137	76.1	79.6	47.9	52.6	28.2	27.0	17.8	19.0	5.5	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0
学科別	仏教科	17	24	58.8	70.8	35.3	54.2	23.5	16.7	23.5	20.8	17.6	8.3	0.0	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	78.1	81.4	49.3	52.2	28.8	29.2	17.1	18.6	4.1	0.0	0.7	0.0	0.0
学年別	第1学年	92	76	75.0	78.9	46.7	50.0	28.3	28.9	18.5	18.4	5.4	2.6	1.1	0.0	0.0
	第2学年	71	60	77.5	81.7	49.3	56.7	28.2	25.0	16.9	18.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	28	25	75.0	76.0	35.7	60.0	39.3	16.0	14.3	20.0	10.7	4.0	0.0	0.0	0.0
	女性	134	111	76.1	80.2	50.0	50.5	26.1	29.7	18.7	18.9	4.5	0.9	0.7	0.0	0.0
入試方式別	AO入試	54	62	88.9	83.9	68.5	75.8	20.4	8.1	11.1	16.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自己推薦入試	23	23	87.0	82.6	60.9	52.2	26.1	30.4	8.7	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
	公募制推薦	31	11	67.7	72.7	29.0	36.4	38.7	36.4	22.6	27.3	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	指定校制推薦	26	26	76.9	80.8	61.5	19.2	15.4	61.5	19.2	15.4	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0
	一般入試	28	9	50.0	66.7	7.1	22.2	42.9	44.4	32.1	33.3	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0
順位の受験時	第1志望	119	121	85.7	83.5	62.2	58.7	23.5	24.8	11.8	15.7	1.7	0.8	0.8	0.0	0.0
	第2志望以下	44	13	50.0	53.8	9.1	7.7	40.9	46.2	34.1	38.5	15.9	7.7	0.0	0.0	0.0

全体に比べて5ポイント以上高い

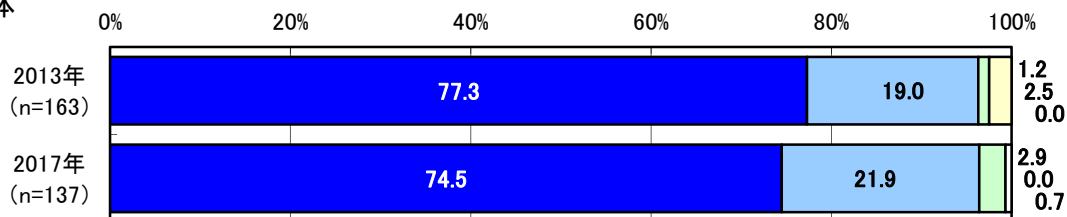
全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし



## ● 居住形態

### ■ 全体



- 自宅
- 下宿(アパート・マンション等での一人暮らし)
- 学生寮(本学学寮を含む)
- その他
- 無回答

### ■ 学科別／学年別／性別

		回答者数 (n)		自宅		下宿(アパート・マンション等での一人暮らし)		学生寮(本学学寮を含む)		その他		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	77.3	74.5	19.0	21.9	1.2	2.9	2.5	0.0	0.0	0.7
学科別	仏教科	17	24	47.1	37.5	52.9	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	80.8	82.3	15.1	15.9	1.4	0.9	2.7	0.0	0.0	0.9
学年別	第1学年	92	76	76.1	77.6	18.5	18.4	2.2	3.9	3.3	0.0	0.0	0.0
	第2学年	71	60	78.9	71.7	19.7	25.0	0.0	1.7	1.4	0.0	0.0	1.7
性別	男性	28	25	64.3	52.0	35.7	44.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	134	111	80.6	79.3	15.7	17.1	0.7	2.7	3.0	0.0	0.0	0.9

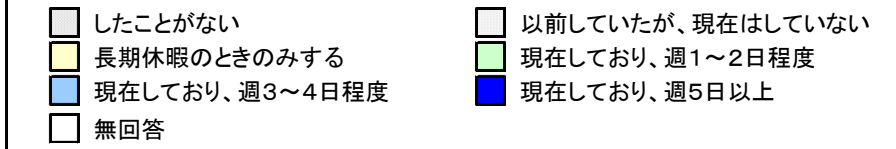
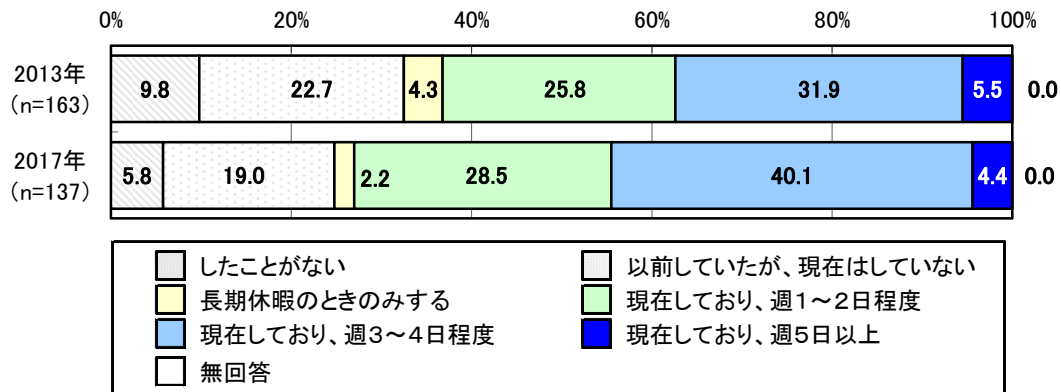
全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

## ●アルバイト経験

### ■全体



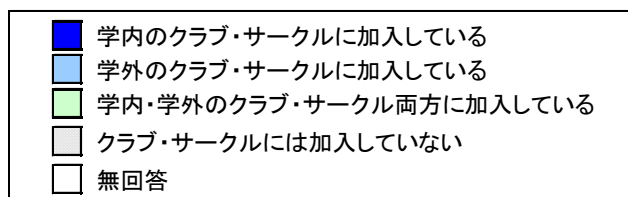
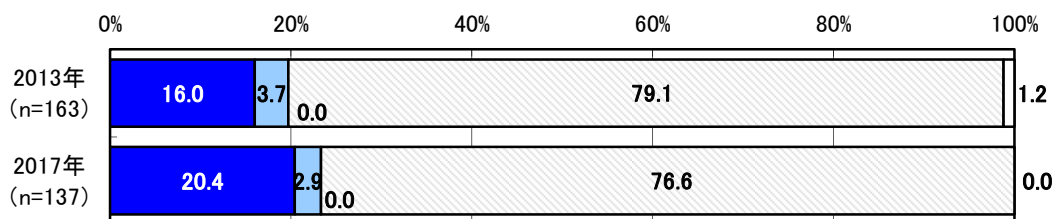
### ■学科別／学年別／性別／居住形態別

	回答者数 (n)		したことがない		以前はしていたが、		と長期休暇のときのみする		週現在1~2日程度		週現在3~4日程度		週現在5日以上		無回答		
	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	
年度	163	137	9.8	5.8	22.7	19.0	4.3	2.2	25.8	28.5	31.9	40.1	5.5	4.4	0.0	0.0	
全体	163	137	9.8	5.8	22.7	19.0	4.3	2.2	25.8	28.5	31.9	40.1	5.5	4.4	0.0	0.0	
学科別	仏教科	17	24	23.5	25.0	41.2	37.5	5.9	8.3	11.8	8.3	17.6	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	8.2	1.8	20.5	15.0	4.1	0.9	27.4	32.7	33.6	46.0	6.2	3.5	0.0	0.0
学年別	第1学年	92	76	10.9	6.6	19.6	14.5	4.3	1.3	21.7	31.6	35.9	40.8	7.6	5.3	0.0	0.0
	第2学年	71	60	8.5	5.0	26.8	25.0	4.2	3.3	31.0	25.0	26.8	38.3	2.8	3.3	0.0	0.0
性別	男性	28	25	14.3	16.0	32.1	32.0	7.1	0.0	14.3	16.0	28.6	24.0	3.6	12.0	0.0	0.0
	女性	134	111	9.0	3.6	20.9	16.2	3.0	2.7	28.4	30.6	32.8	44.1	6.0	2.7	0.0	0.0
居住形態別	自宅	126	102	5.6	2.0	19.0	14.7	3.2	2.0	27.8	29.4	38.1	46.1	6.3	5.9	0.0	0.0
	自宅以外	37	34	24.3	17.6	35.1	32.4	8.1	2.9	18.9	26.5	10.8	20.6	2.7	0.0	0.0	0.0

■ 全体に比べて5ポイント以上高い      ■ 全体に比べて5ポイント以上低い  
 nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

## ●クラブ・サークル活動参加

### ■全体



### ■学科別／学年別／性別

		回答者数 (n)		加サ学入   内   クの   いる   プ		加サ学入   外   クの   いる   プ		し両ク学内   て方   いる   入   プ   加   サ   外   の   ク   ル		加サク   入   ラ   し   ク   プ   て   ル   ・   いる   に   は   ない		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	16.0	20.4	3.7	2.9	0.0	0.0	79.1	76.6	1.2	0.0
学科別	仏教科	17	24	23.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.5	75.0	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	15.1	19.5	4.1	3.5	0.0	0.0	79.5	77.0	1.4	0.0
学年別	第1学年	92	76	23.9	30.3	4.3	1.3	0.0	0.0	70.7	68.4	1.1	0.0
	第2学年	71	60	5.6	8.3	2.8	5.0	0.0	0.0	90.1	86.7	1.4	0.0
性別	男性	28	25	17.9	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	82.1	80.0	0.0	0.0
	女性	134	111	15.7	21.6	4.5	2.7	0.0	0.0	78.4	75.7	1.5	0.0

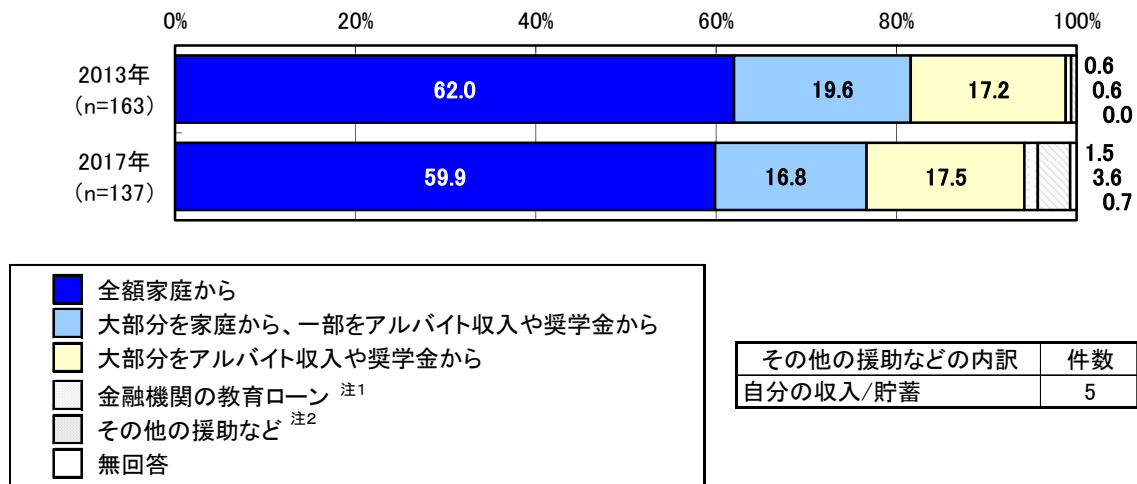
■ 全体に比べて5ポイント以上高い

■ 全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

## ●学費の負担者

### ■全体



注1 2013年は「他からの援助・借入れから」

注2 2013年は「その他」

### ■学科別／学年別／性別／居住形態別／アルバイト経験別

		回答者数 (n)		全額家庭から		奨学金から大部分を家庭収入や		奨学金から大部分をアルバイト収入や		金融機関の教育ローンの		その他の援助など		無回答	
年度		13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年	13年	17年
全体		163	137	62.0	59.9	19.6	16.8	17.2	17.5	0.6	1.5	0.6	3.6	0.0	0.7
学科別	仏教科	17	24	94.1	66.7	0.0	8.3	5.9	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8	0.0	0.0
	幼児教育保育科	146	113	58.2	58.4	21.9	18.6	18.5	20.4	0.7	1.8	0.7	0.0	0.0	0.9
学年別	第1学年	92	76	59.8	59.2	21.7	18.4	17.4	18.4	1.1	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0
	第2学年	71	60	64.8	61.7	16.9	15.0	16.9	16.7	0.0	0.0	1.4	5.0	0.0	1.7
性別	男性	28	25	64.3	60.0	7.1	16.0	28.6	8.0	0.0	4.0	0.0	12.0	0.0	0.0
	女性	134	111	61.2	60.4	22.4	17.1	14.9	18.9	0.7	0.9	0.7	1.8	0.0	0.9
居住形態別	自宅	126	102	55.6	55.9	23.8	19.6	19.8	22.5	0.0	1.0	0.8	0.0	0.0	1.0
	自宅以外	37	34	83.8	70.6	5.4	8.8	8.1	2.9	2.7	2.9	0.0	14.7	0.0	0.0
アルバイト経験別	していない	60	37	68.3	70.3	16.7	13.5	13.3	5.4	1.7	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0
	週1～2日	42	39	69.0	69.2	19.0	15.4	11.9	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	週3日以上	61	61	50.8	47.5	23.0	19.7	24.6	26.2	0.0	3.3	1.6	1.6	0.0	1.6

全体に比べて5ポイント以上高い

全体に比べて5ポイント以上低い

nが30未満の場合は参考値のため網掛けなし

# I. 大谷大学短期大学部への進学について

## 1. 大谷大学短期大学部進学を選んだ理由（複数回答）

Q1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

**大学進学を選んだ理由**

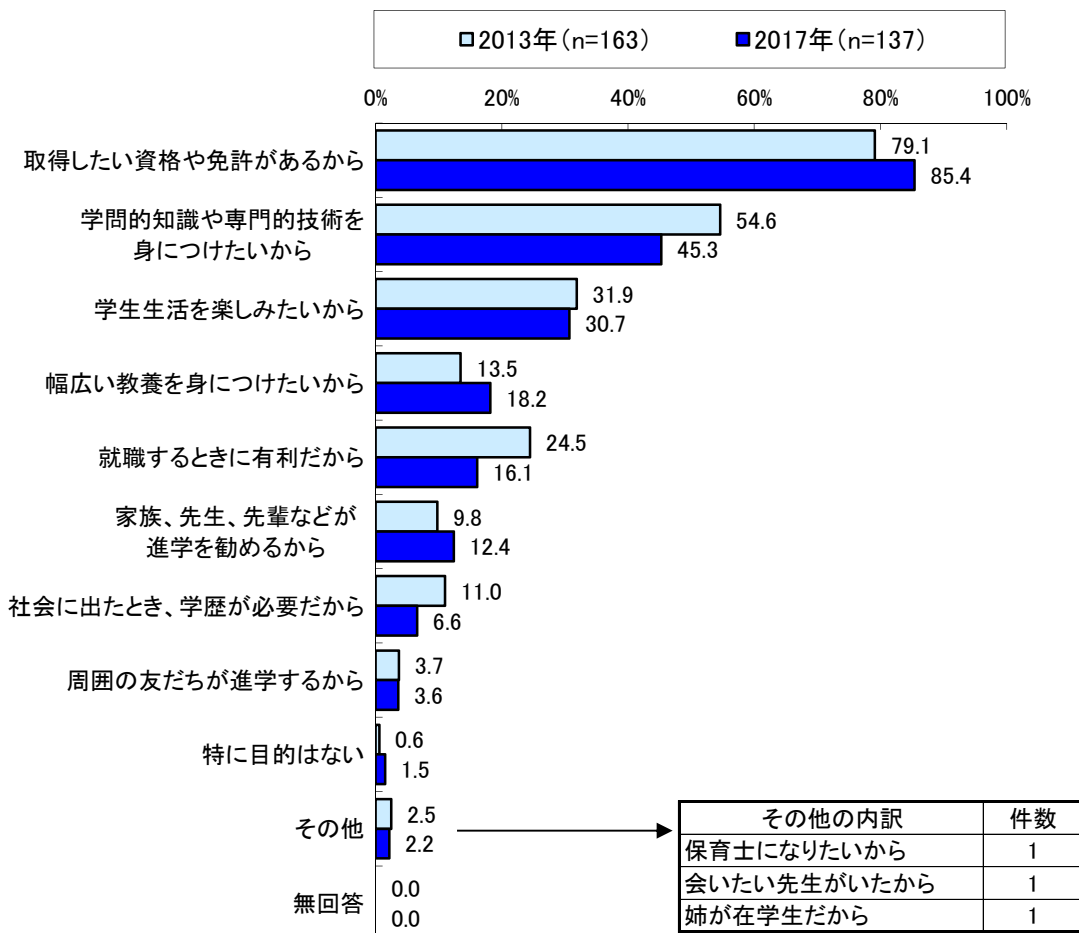
**1位は「取得したい資格や免許があるから」85.4%**

大学進学を選んだ理由としては、「取得したい資格や免許があるから」が85.4%と突出して高く、短期大学部学生の資格取得に対する関心の高さがうかがえる。次いで、「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」（45.3%）、「学生生活を楽しみたいから」（30.7%）と続く。

2013年と比べると、「取得したい資格や免許があるから」「幅広い教養を身につけたいから」は、それぞれ約5ポイント上昇している。

一方、「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」「就職するときに有利だから」は5ポイント以上低下している。

### ■全体



## 2. 大谷大学短期大学部への入学決定理由（3回答まで）

Q2 あなたが大谷大学に入学を決めた際の理由は何ですか。あてはまる番号3つに○をつけてください。

※ 2013年は「あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。」

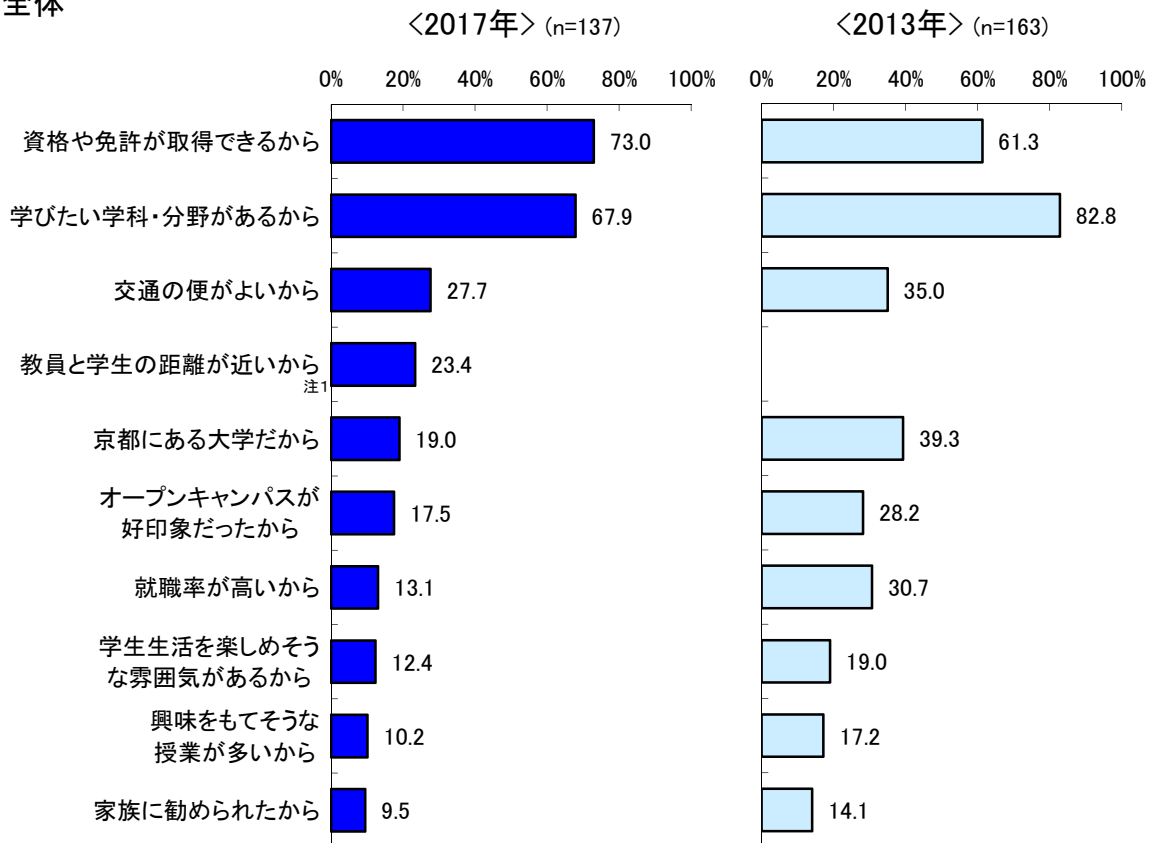
### 大谷大学への入学決定理由

1位は「資格や免許が取得できるから」73.0%

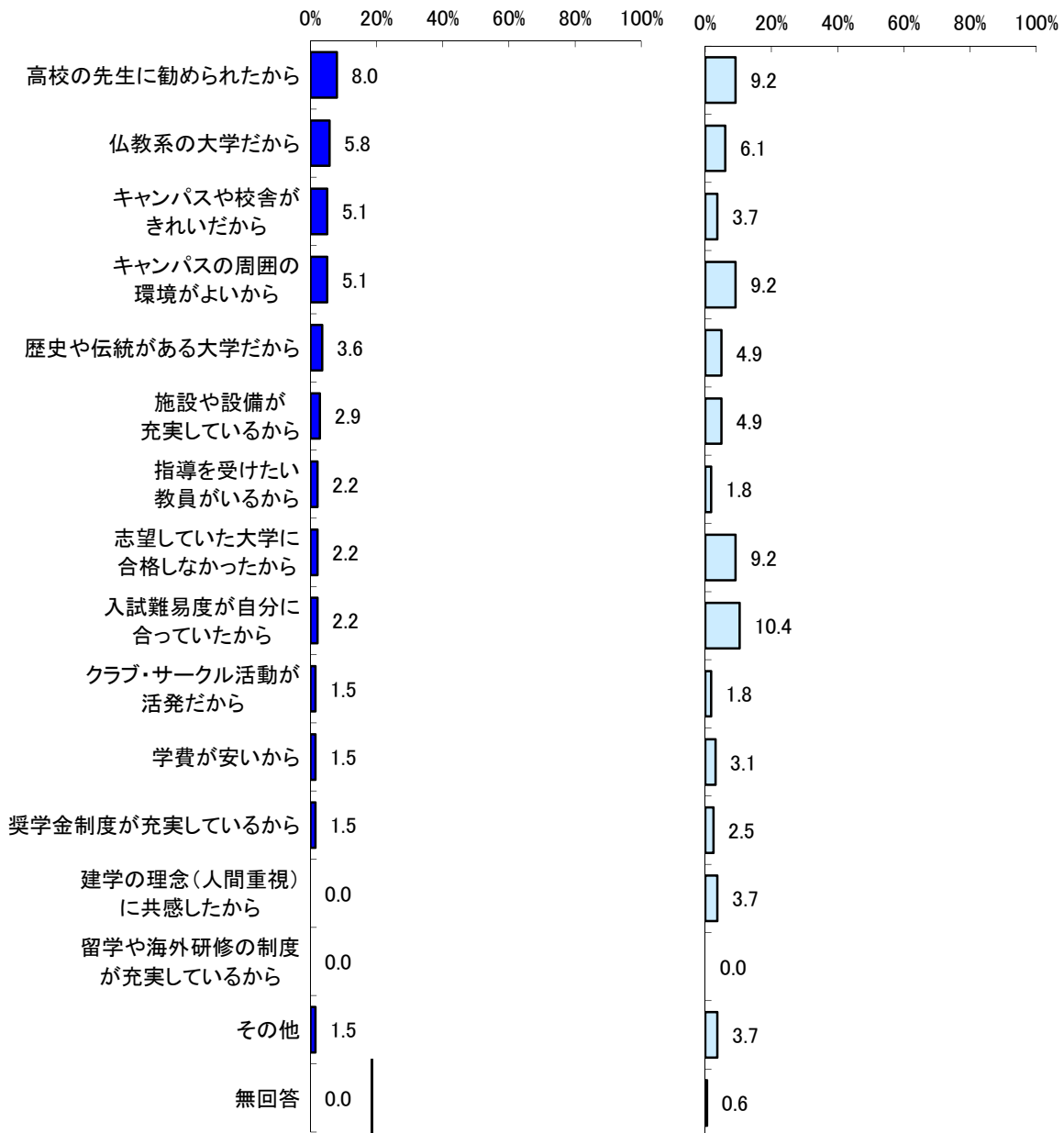
大谷大学への入学決定理由としては、「資格や免許が取得できるから」が73.0%、次いで「学びたい学科・分野があるから」が67.9%で上位を占める。

※ 2013年より質問形式が変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体



注1 2017年に新しく追加された項目



その他の内訳		件数
自宅から近いから		1
男女共学だから		1

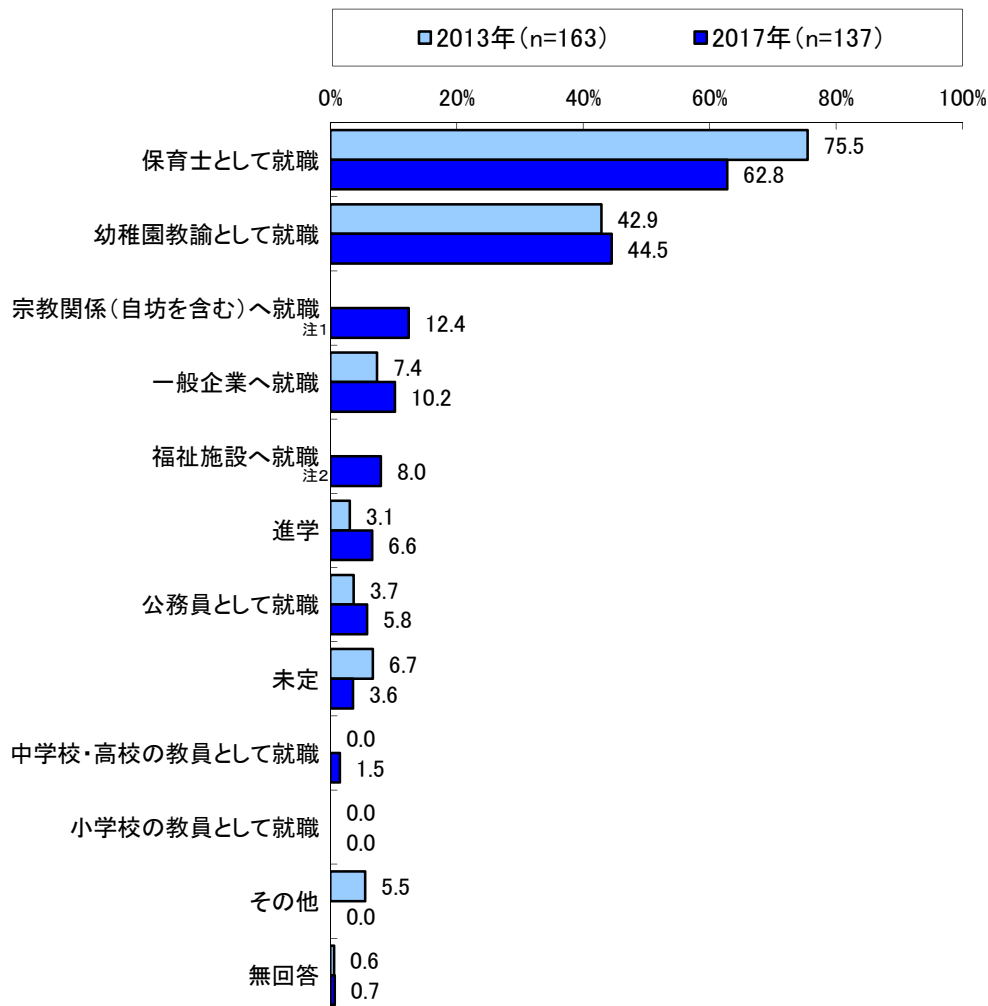
### 3. 卒業後の希望進路（複数回答）

Q3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

**卒業後の希望進路**  
**「保育士として就職」は62.8%**

大学卒業後の希望する進路は、「保育士として就職」が62.8%で突出して高く、次いで「幼稚園教諭として就職」が44.5%と、保育関係の職種の数値が高い。「宗教関係（自坊を含む）へ就職」（12.4%）、「一般企業へ就職」（10.2%）、「福祉施設へ就職」（8.0%）がこれに続く。2013年と比べると、「保育士として就職」は10ポイント以上低下している。

#### ■全体



注1、注2 2017年に新しく追加された項目



## Ⅱ. 大谷大学の建学の理念・目的について

### 1. 建学の理念の認知度

大谷大学には、「仏教精神にもとづいた人間教育を行い、真実を求め、現実から目をそらさず、あるべき社会や人間のあり方を探究する人物を育成し、人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。この理念は【人間が大好きです。】や【Be Real 寄りそう知性】というメッセージとして象徴的に表されています。

これについて、以下の設問に答えてください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

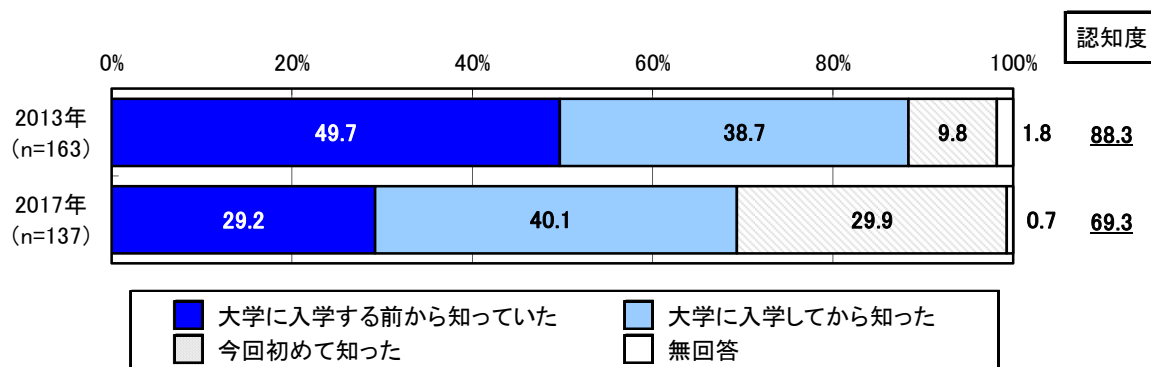
### 建学の理念認知度※は69.3%

建学の理念認知度は約7割。「今回初めて知った」が約3割を占める。

※ 認知度＝「大学に入学する前から知っていた」＋「大学に入学してから知った」

※ 2013年より質問文前文が変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体



※ 2013年における質問文前文は、

『大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係（自分との関係、他者との関係）を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。』

## 2. 建学の理念を感じる機会（複数回答）

Q11-2 あなたは、上記のような建学の理念、目的として表明されている学びの内容や姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 2013年は「あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか」

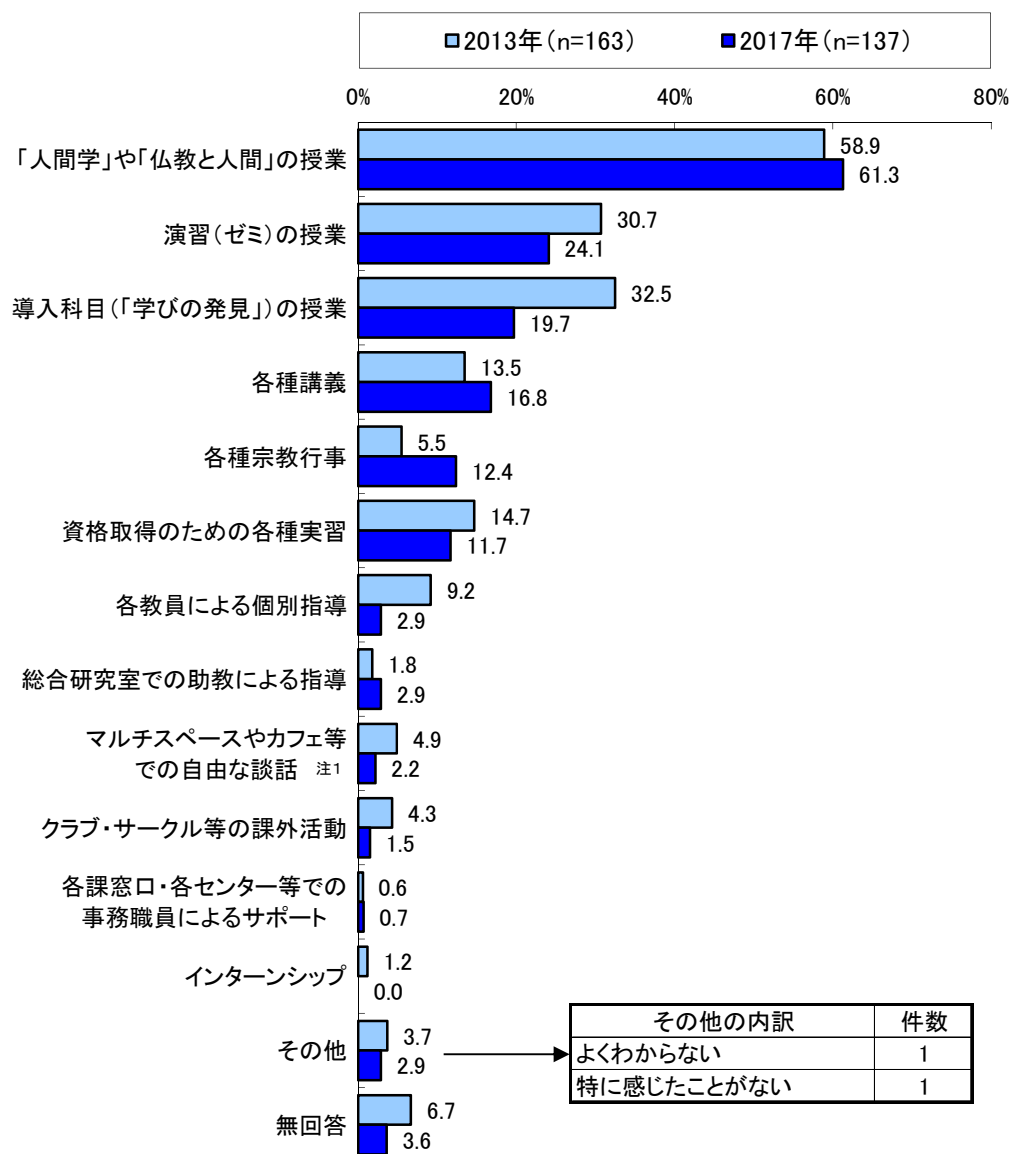
### 建学の理念を感じる機会

1位は「『人間学』や『仏教と人間』の授業」61.3%

大谷大学の建学の理念を感じる機会としては、「『人間学』や『仏教と人間』の授業」が61.3%で最も高く、突出している。次いで「演習（ゼミ）の授業」（24.1%）、「導入科目（『学びの発見』）」の授業」（19.7%）と続くが、2013年と比べると、いずれも5ポイント以上低下している。

一方、「各種宗教行事」は6.9ポイント上昇している。

#### ■全体



注1 2013年は「ビッグバレーなどでの自由な談話」

### Ⅲ. 大谷大学短期大学部での取り組みについて

#### 1. 身についた能力や知識・技能

Q4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身についてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 入学後に身についた\*能力や知識・技能

1位は「幅広い視野や考え方」83.9%

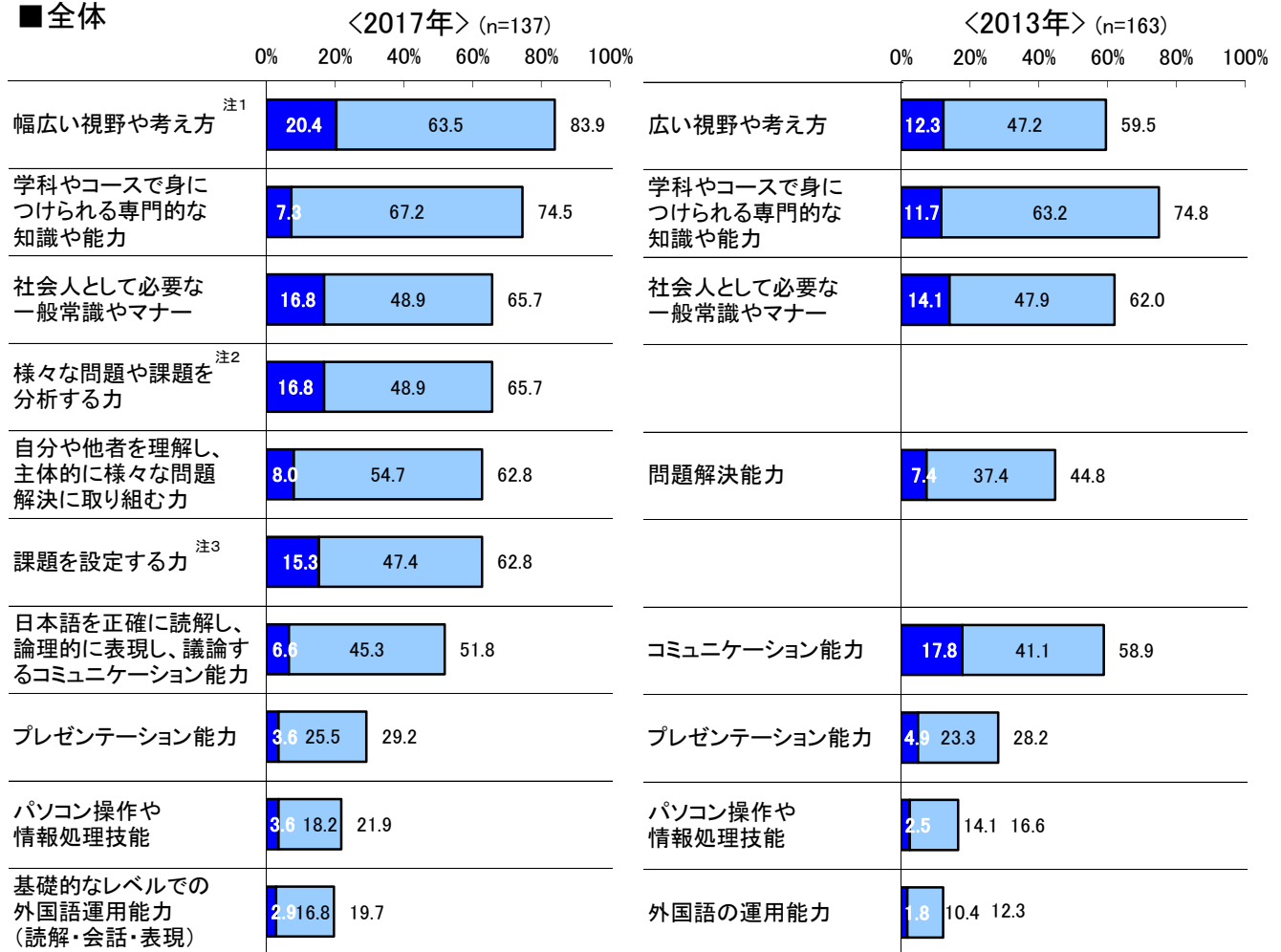
入学後に身についた能力や知識・技能としては、「幅広い視野や考え方」（83.9%）が最も高く、次いで「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」（74.5%）が続く。

一方、「パソコン操作や情報処理技能」「基礎的なレベルでの外国語運用能力（読解・会話・表現）」は2割前後と低い。

※ 身についた＝「十分身についてきた」＋「ある程度身についてきた」

※2013年より設問文が一部変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体



■十分身についてきた □ある程度身についてきた

注1 仏教科は「人間・社会についての幅広い視野や考え方」、幼児教育保育科は「教育・保育についての幅広い視野や考え方」

注2 仏教科は「人間・社会の様々な問題や課題を分析する力」、幼児教育保育科は「教育・保育の様々な問題や課題を分析する力」

注3 仏教科は「人間・社会に関する課題を設定する力」、幼児教育保育科は「教育・保育に関する課題を設定する力」

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対して「身についた」を示す  
 身についた＝「十分身についてきた」＋「ある程度身についてきた」

## 2. 入学後の自己認識・評価

Q5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

### 入学後の自己認識・評価※

#### 1位は「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」85.4%

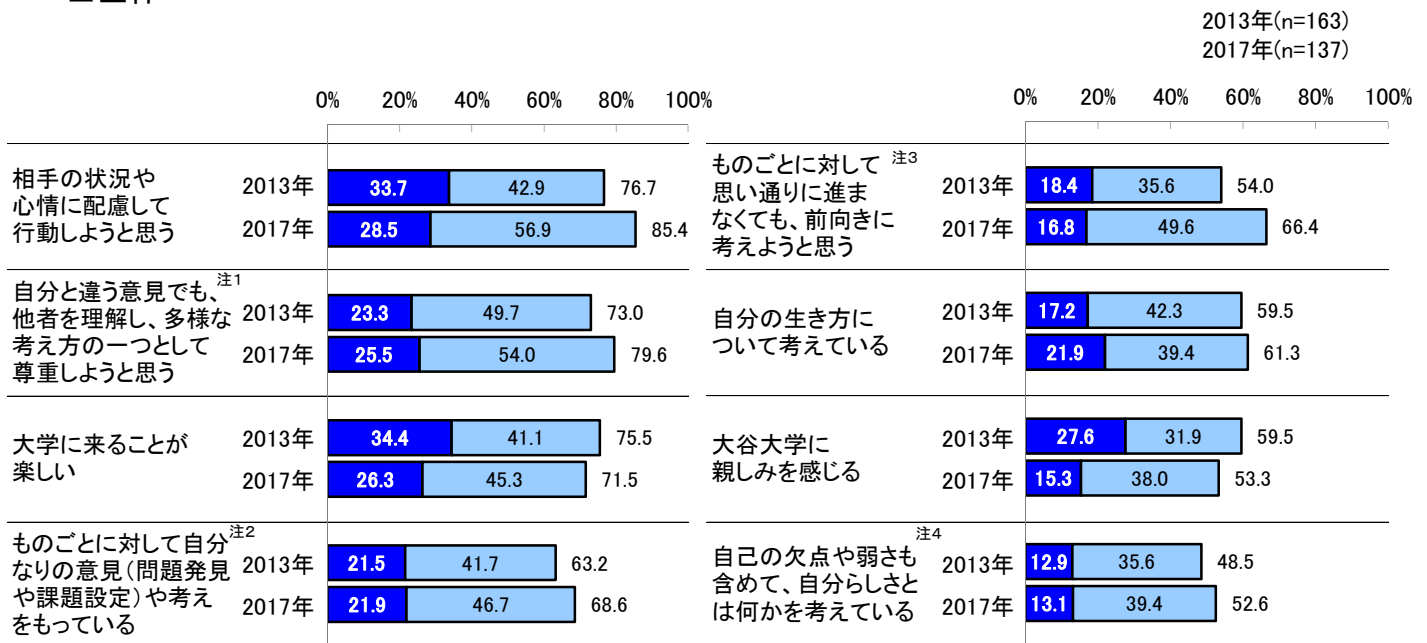
入学後の自己認識・評価としては、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」（85.4%）が最も高く、以下「自分と違う意見でも、他者を理解し、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う」（79.6%）、「大学に来ることが楽しい」（71.5%）と続く。

2013年と比べると、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「ものごとに対して思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う」は、評価が10ポイント前後上昇している。

一方、「大学に来ることが楽しい」「大谷大学に親しみを感じる」はやや評価が低下している。

※ 評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」

注2 2013年は「ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている」

注3 2013年は「ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う」

注4 2013年は「欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている」

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対して「評価」を示す  
評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

## IV. 大谷大学短期大学部での学業について

### 1. 授業出席率

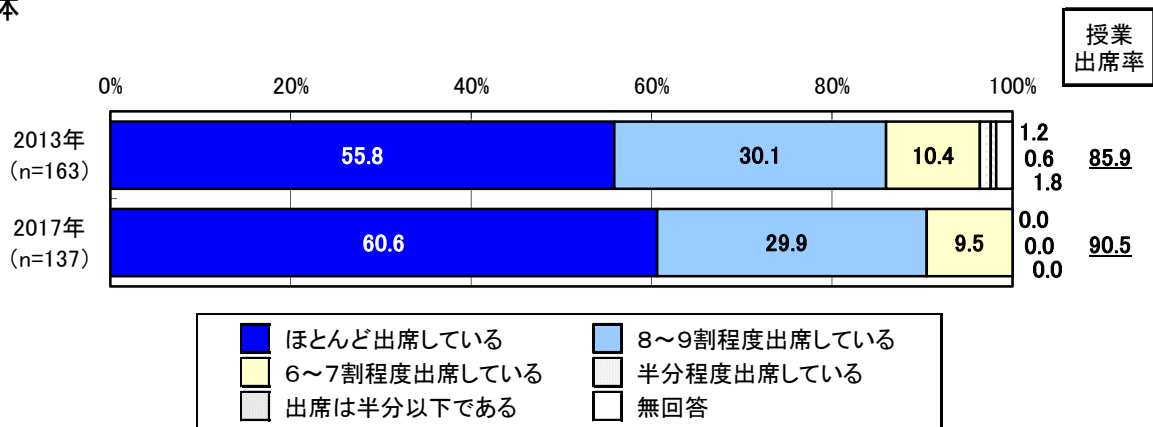
Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率ほどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 授業出席率\*は90.5%と高く、2013年よりさらに上昇

授業出席率（「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」）は90.5%で、2013年（85.9%）より4.6ポイント上昇。「ほとんど出席している」が60.6%を占め、2013年（55.8%）より4.8ポイント上昇している。

※ 授業出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

#### ■全体



## 2. 授業欠席理由（複数回答）

Q7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

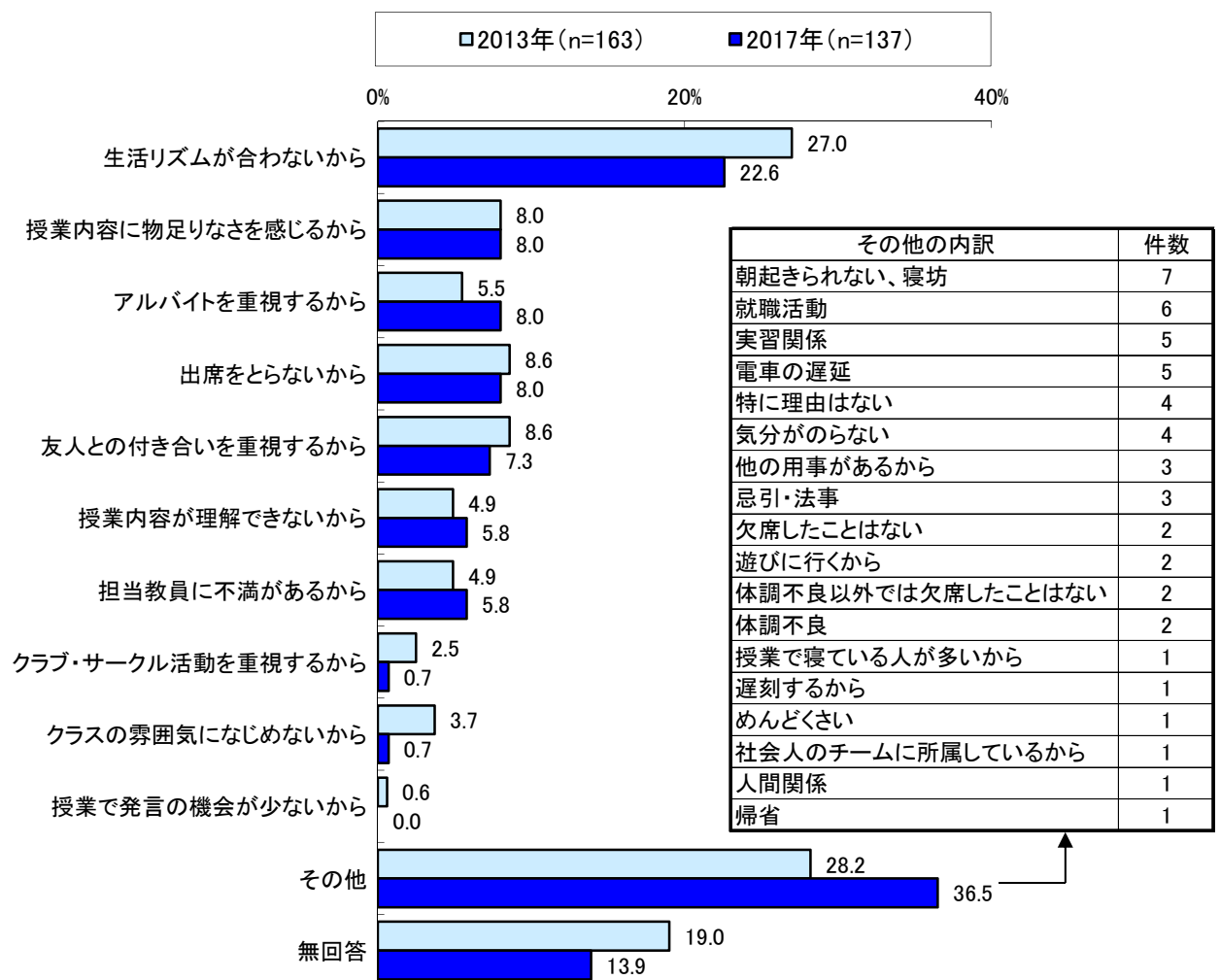
### 授業を欠席する理由

#### 1位は「生活リズムが合わないから」22.6%

授業を欠席する理由は、「生活リズムが合わないから」が22.6%で最も高く、他の項目は1割未満と低い。

2013年と比べると、「生活リズムが合わないから」が低下し、「その他」（36.5%）が上昇している。その他の理由をみると、「朝起きられない、寝坊」「就職活動」「実習関係」「電車の遅延」などの理由があげられている。

### ■全体



### 3. 授業理解度

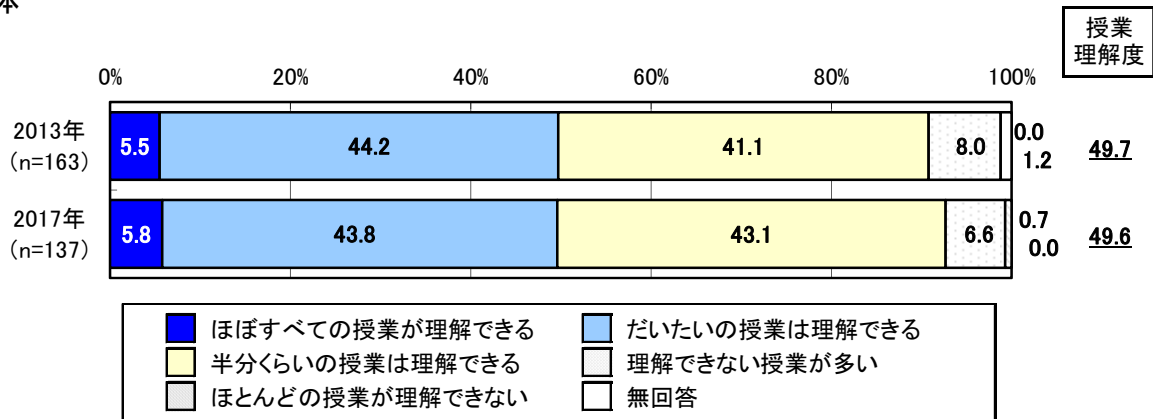
Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 授業理解度\*は49.6%で、2013年よりほぼ変化なし

授業理解度（「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたいの授業は理解できる」）は約5割で、2013年（49.7%）からほぼ横ばいである。

※授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたいの授業は理解できる」

#### ■全体



#### 4. 授業を理解できない理由（複数回答）

Q9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

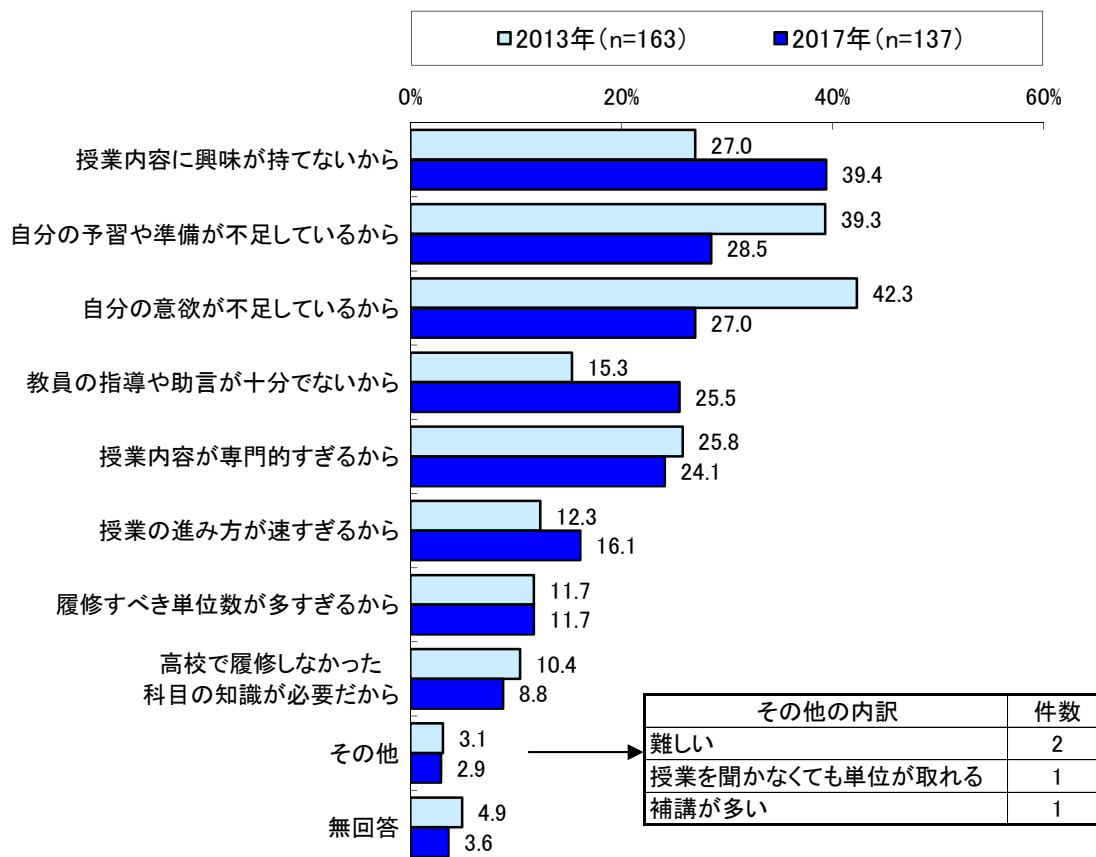
### 授業を理解できない理由

1位は「授業内容に興味がないから」39.4%

授業を理解できない理由は、「授業内容に興味がないから」（39.4%）が最も高く、次いで「自分の予習や準備が不足しているから」（28.5%）、「自分の意欲が不足しているから」（27.0%）と続く。2013年と比べると、「授業内容に興味がないから」が12.4ポイント、「教員の指導や助言が十分でないから」が10.2ポイント上昇している。

一方で、「自分の意欲が不足しているから」「自分の予習や準備が不足しているから」は10ポイント以上低下しており、授業が理解できない理由を『自己』ではなく、『授業内容』や『教員』にあると捉えている傾向がみられる。

#### ■全体





## V. 大谷大学短期大学部に対する評価や満足度について

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

### 1. 「A.授業」の評価

#### 授業に対する評価\*

1位は「資格取得に役立ちそうな授業が多い」89.8%

授業に関する項目では、「資格取得に役立ちそうな授業が多い」が89.8%で最も評価が高い。また「専門的な知識・技能が身につく授業が多い」「将来の進路に役立ちそうな授業が多い」の評価も8割を超えており、授業に対する評価は全体的に高い。

2013年と比べると、「現代的な課題について学べる授業が多い」は11.4ポイント、「資格取得に役立ちそうな授業が多い」は6.4ポイント上昇している。

一方、「興味もてる授業が多い」は「とてもあてはまる」の回答率が14.6ポイント低下し、評価も2013年より約10ポイント低下している。他の項目においても、「とてもあてはまる」の割合が低下している項目が多い。

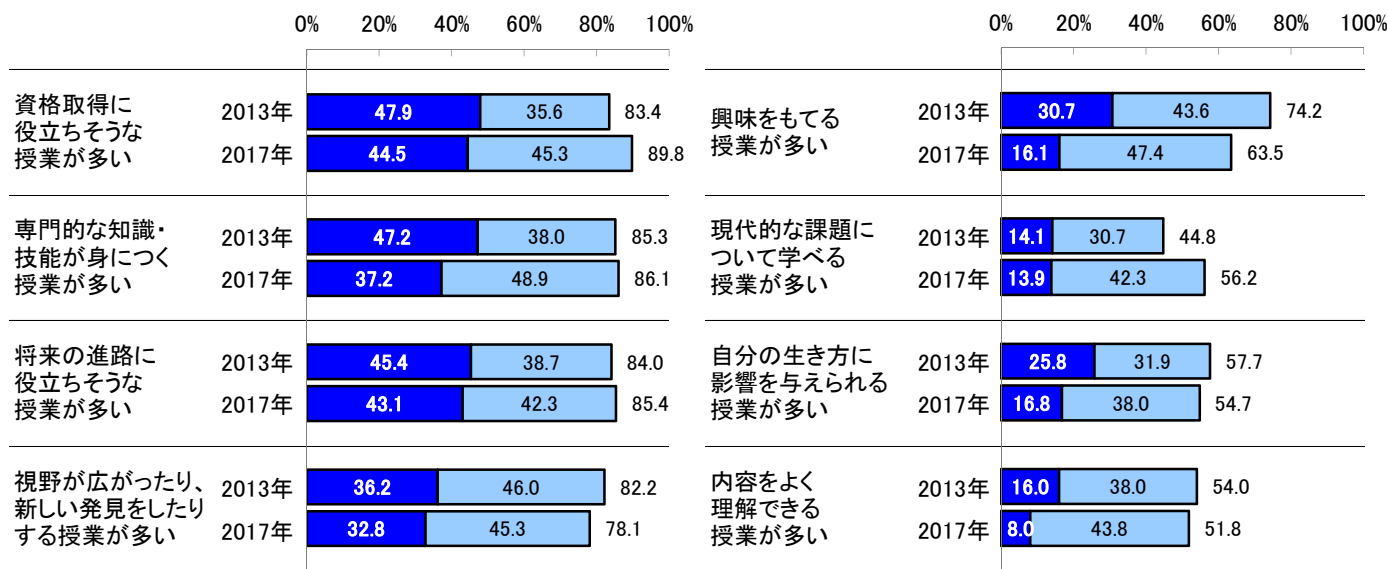
※ 評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」 Q10は以下同様

#### 【A 大谷大学での授業について】

##### ■全体

2013年(n=163)

2017年(n=137)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す  
 評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」  
 Q10は以下同様

## 2. 「B.学びの環境」の評価

### 学びの環境に対する評価

#### 1位は「演習（ゼミ）での教育が充実している」56.9%

学びの環境に関する項目では、「演習（ゼミ）での教育が充実している」の評価が56.9%で最も高く、以下「Webシラバス（授業計画）は、時間割作成等に役立っている」（54.7%）「高校と大学の学びをつなぐ教育（『学びの発見』など）が充実している」（52.6%）が5割台で続く。

ただし、これらの上位3項目を除くと、他の6項目の評価は、3割台かそれ以下にとどまっている。

2013年と比べると、「Webシラバス（授業計画）は、時間割作成等に役立っている」は7.5ポイント上昇している。

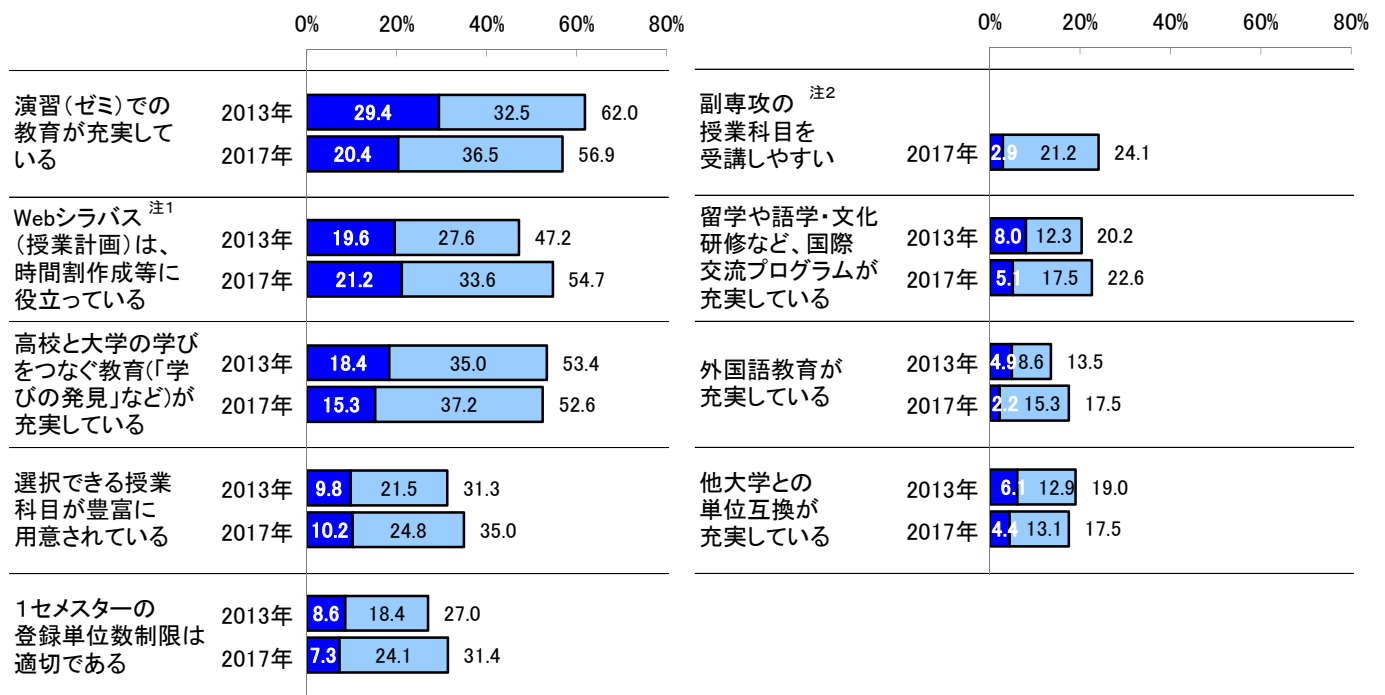
一方、「演習（ゼミ）での教育が充実している」は、「とてもあてはまる」の割合が9ポイント低下している。

### 【B 大谷大学での学びの環境について】

#### ■全体

2013年(n=163)

2017年(n=137)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「シラバス（授業概要）は、時間割作成等に役立っている」

注2 2017年に新しく追加された項目

### 3. 「C.教員」の評価

#### 教員に対する評価

1位は「指導教員は、学生のことを親身になって考えてくれる」80.3%

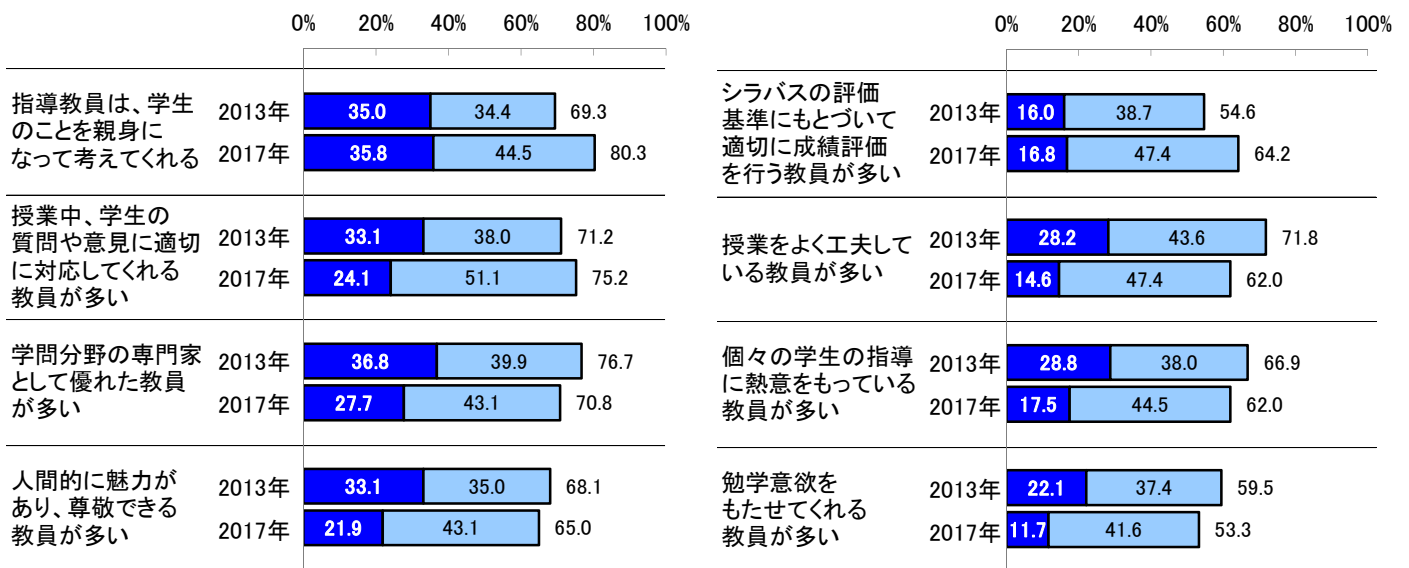
教員に関する項目では、「指導教員は、学生のことを親身になって考えてくれる」が80.3%で最も評価が高い。すべての項目で評価は5割を超えており、教員に対する評価は全体的に高い。

2013年と比べると、「指導教員は、学生のことを親身になって考えてくれる」「シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い」の評価は約10ポイント上昇しているが、「授業をよく工夫している教員が多い」は、約10ポイント低下している。また、「とてもあてはまる」の割合が低下した項目が多い。

#### 【C 大谷大学の教員について】

2013年(n=163)  
2017年(n=137)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

#### 4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価

### 教育に関するサポート体制の評価

1位は「入学時のオリエンテーションが充実している」54.0%

教育に関するサポート体制については、「入学時のオリエンテーションが充実している」（54.0%）の評価が最も高く、以下「教務課の窓口に行きやすい」（50.4%）、「履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている」（48.9%）、「OUNETや『学生向け情報提供システム』が充実している」（48.2%）と続く。

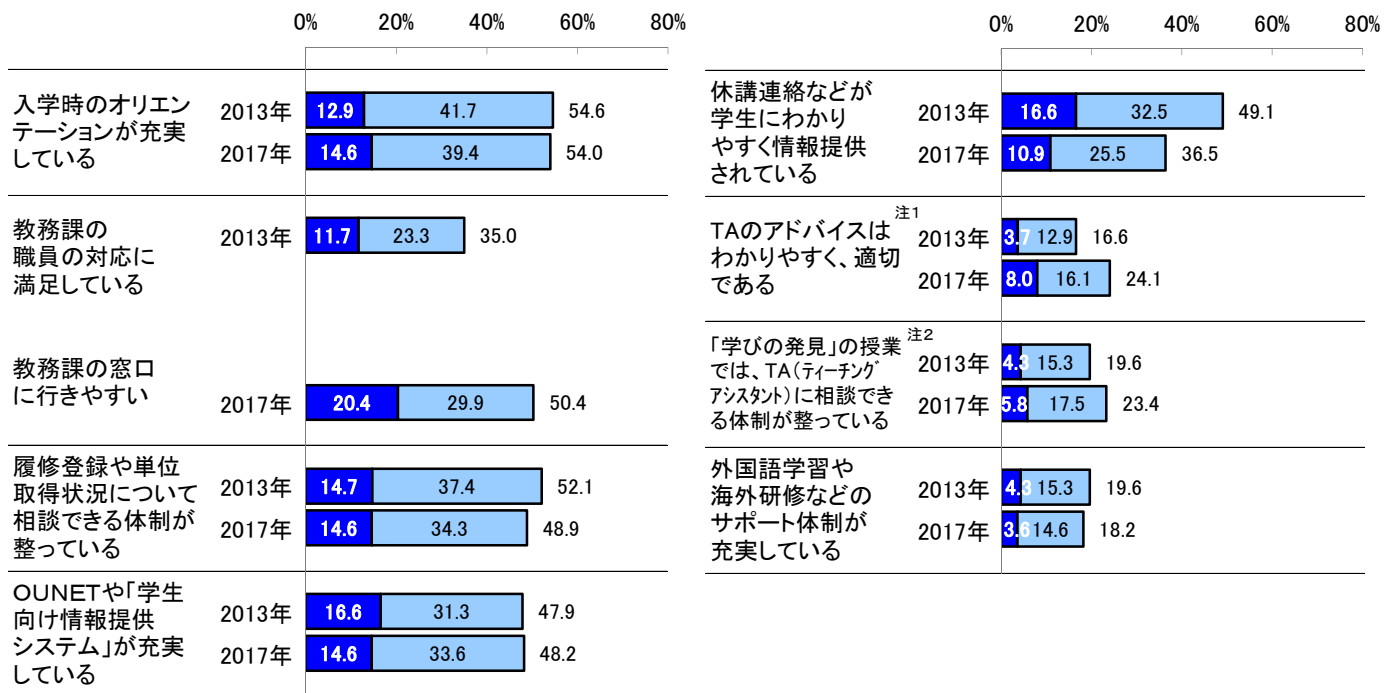
2013年と比べると、「休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている」の評価が10ポイント以上低下している。

#### 【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

##### <教育に関するサポート>

##### ■全体

2013年(n=163)  
2017年(n=137)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注2 2013年は「導入科目の授業では、TA(ティーチングアシスタント)に相談できる体制が整っている」  
注1、注2 短期大学部ではTA制度は実施されていないため参考として記載

## 学生生活に関するサポート体制の評価

### 1位は「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」48.9%

学生生活に関するサポート体制については「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」（48.9%）の評価が最も高く、以下「学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている」（48.2%）、「学生支援課の窓口に行きやすい」（41.6%）と続く。

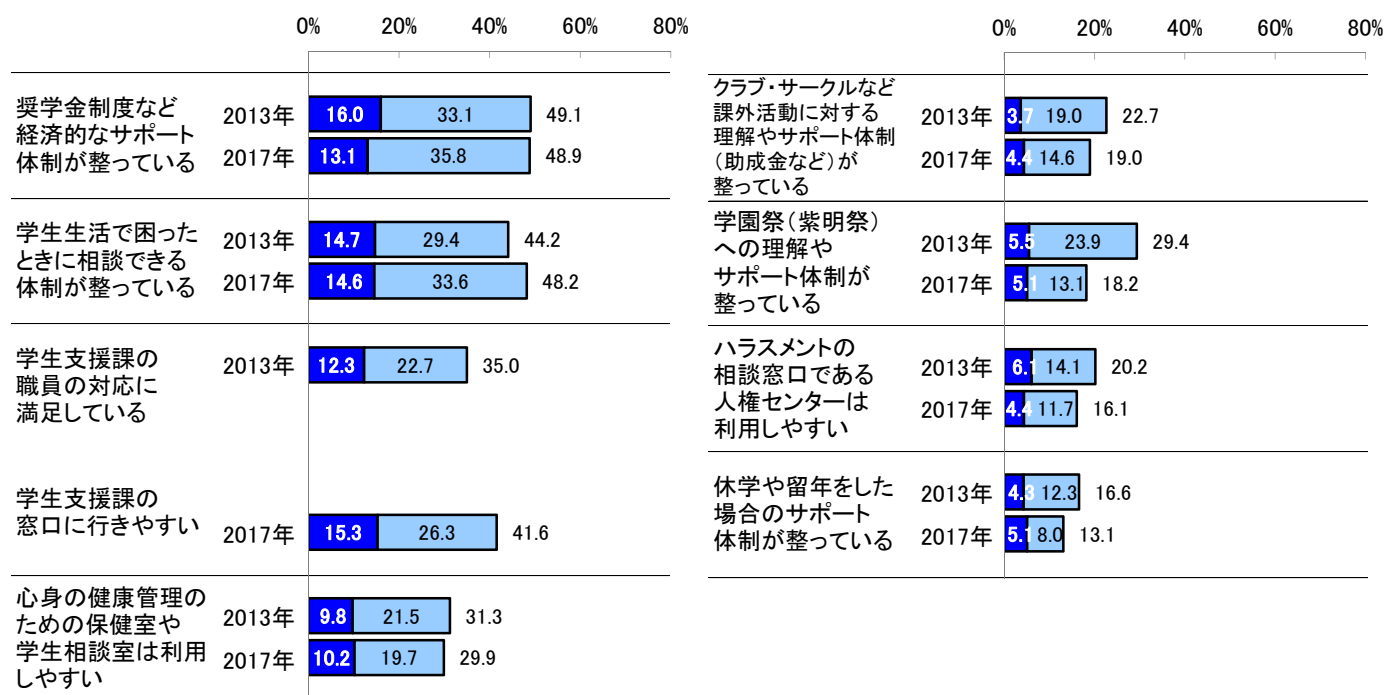
2013年と比べると、「学園祭（紫明祭）への理解やサポート体制が整っている」に対する評価は10ポイント以上低下している。

### <学生生活に関するサポート>

#### ■全体

2013年(n=163)

2017年(n=137)



■とともあてはまる □まああてはまる

## 5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価

問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**キャリアセンターの利用率\*は39.4%**

**利用しない理由の1位は**

**「現段階で進路・就職サポートは不要だから」50.6%**

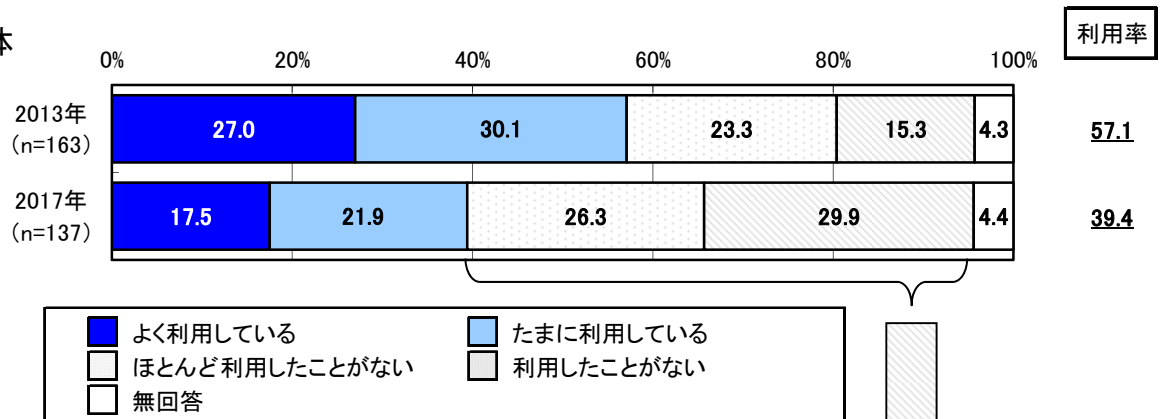
キャリアセンターの利用率は39.4%で、2013年と比べて10ポイント以上低下している。

利用しない理由は、「現段階で進路・就職サポートは不要だから」（50.6%）が5割を超え、2013年と比べて17.3ポイント上昇している。次いで「利用の仕方がわからないから」（40.3%）が続く。

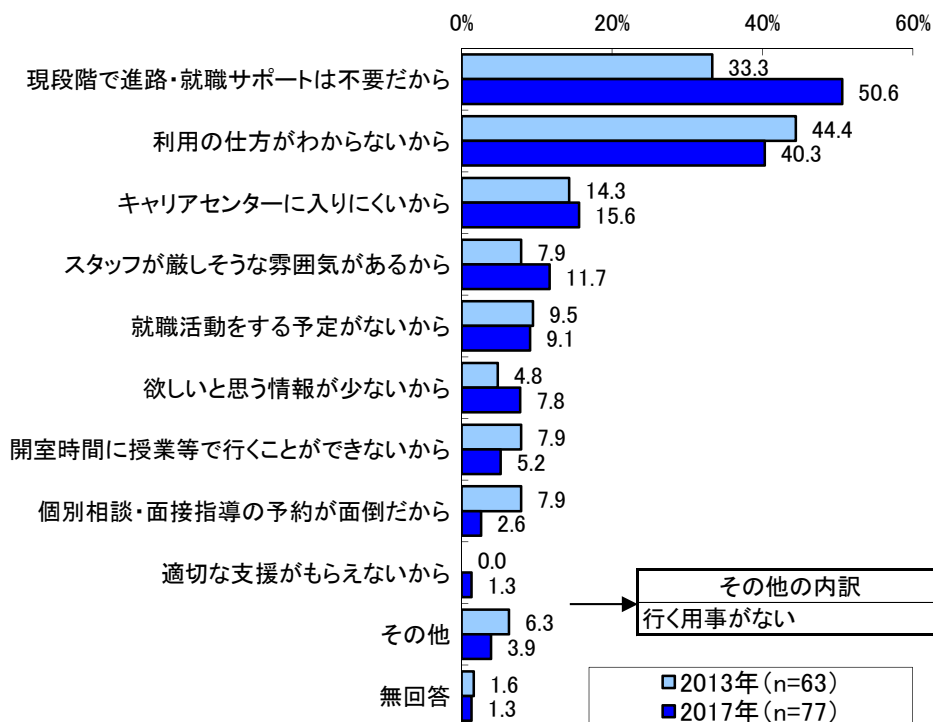
※利用率＝「よく利用している」＋「たまに利用している」

### 【E-1 キャリアセンターの利用状況について】

#### ■全体



#### <利用しない理由>



その他の内訳	件数
行く用事がない	1

## 進路・就職サポート体制の評価 1位は

「1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である」70.1%

進路・就職サポート体制について、最も評価の高い項目は「1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である」（70.1%）で、以下「進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細かである」（63.5%）、「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」（62.8%）と続き、これらの評価は6割を超えて高い。

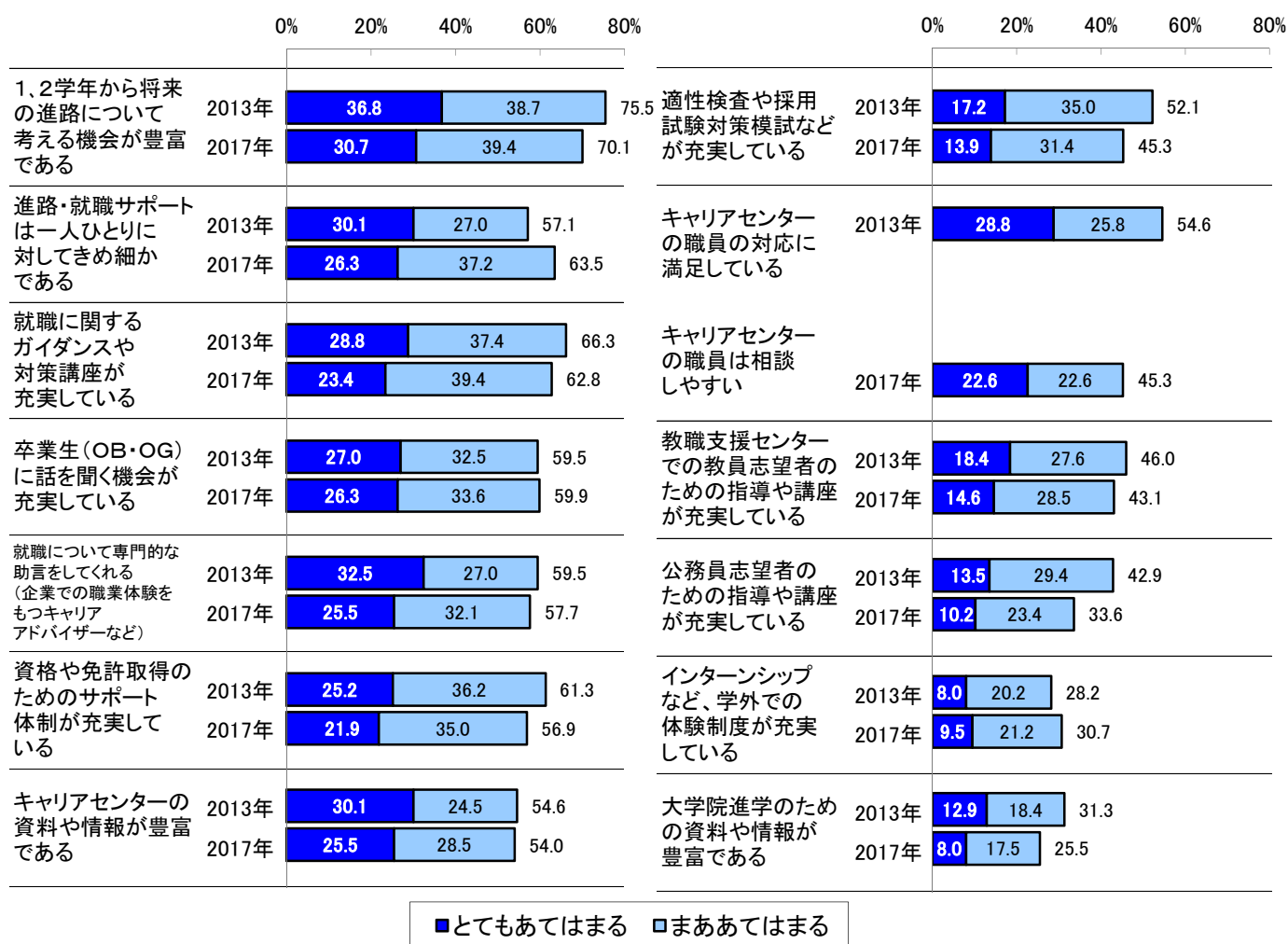
2013年と比べると、ほとんどの項目で評価は低下傾向。特に「公務員志望者のための指導や講座が充実している」は9.3ポイント低下している。

一方、「進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細かである」の評価は6.4ポイント上昇している。

### 【E-2 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

2013年(n=163)  
2017年(n=137)

#### ■全体



## 6. 「F.福利厚生施設・設備など」の評価

**各施設の評価として高い項目は、  
《慶聞館》は「トイレは利用しやすい」  
《学内食堂》《学内コンビニエンスストア》は  
「利用しやすい営業時間である」**

福利厚生施設・設備について、各項目の評価を施設ごとにみると、《慶聞館》は、「トイレは利用しやすい」（94.2%）の評価が突出して高いものの、カフェや学生ロビーの利用者は半数に満たない。

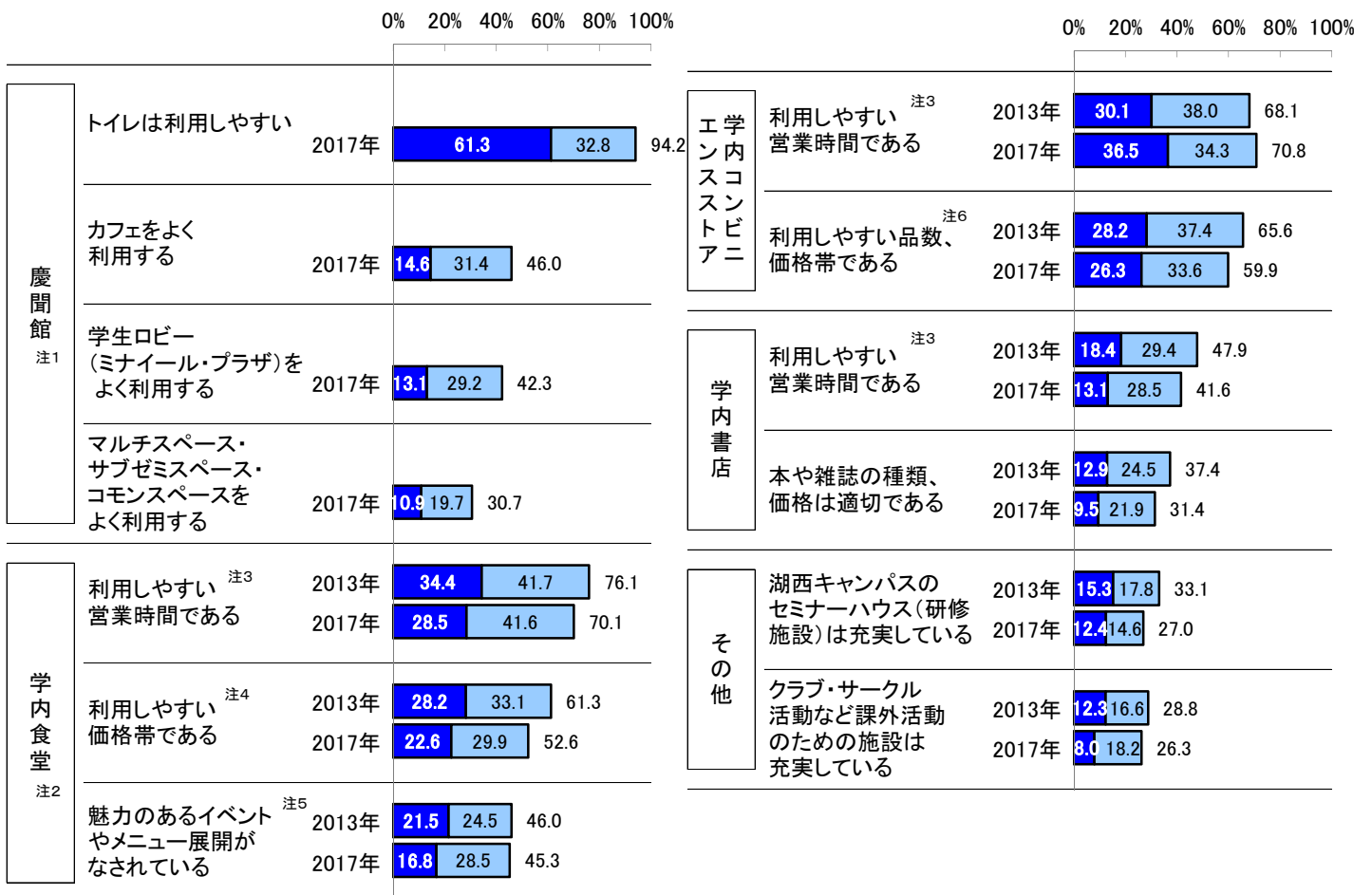
《学内食堂》《学内コンビニエンスストア》は、「利用しやすい営業時間である」の評価がそれぞれ約7割と高いが、《学内書店》の「利用しやすい営業時間である」の評価は4割にとどまっている。

### 【F 大谷大学の福利厚生施設・設備などについて】

#### ■全体

2013年(n=163)

2017年(n=137)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2017年に新しく追加された項目

注2 2013年は「食堂」

注3 2013年は「営業時間は適切である」

注4 2013年は「価格は適切である」

注5 2013年は「メニューが充実している」

注6 2013年は「品数、価格は適切である」



## 7. 「G.教育施設・設備など」の評価

### 教育施設・設備の中では《講義室など》の評価が高い

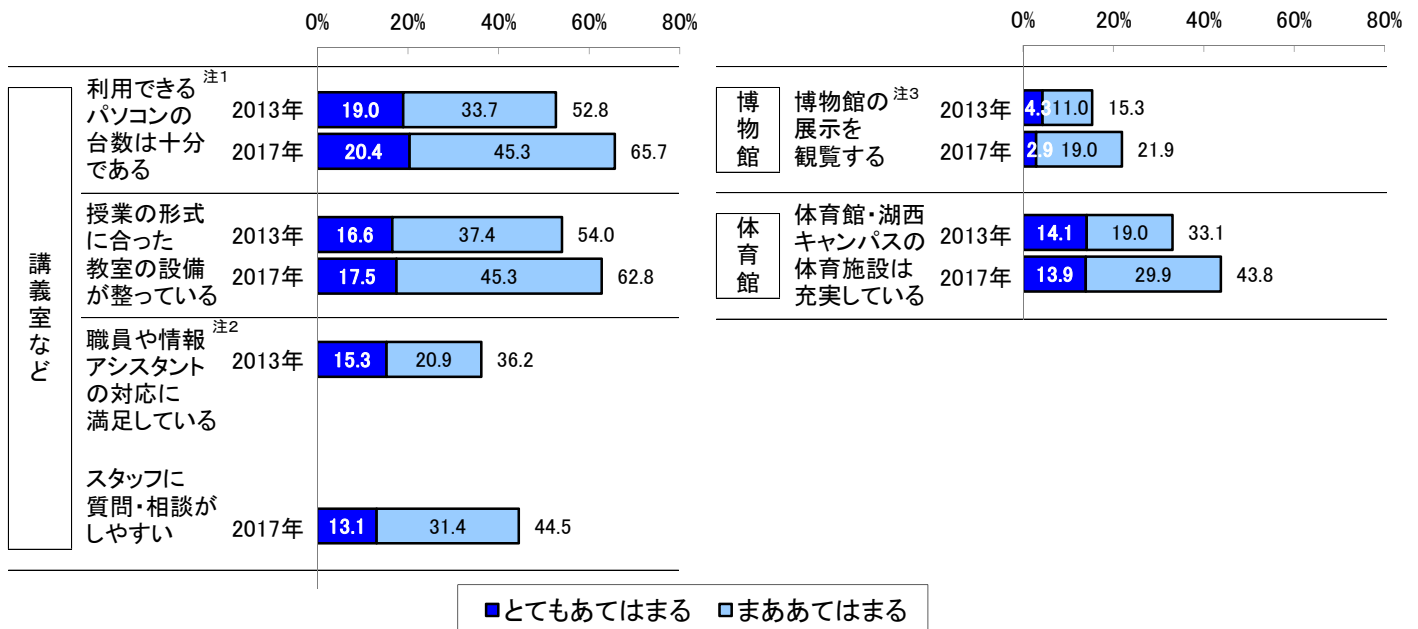
教育施設・設備の中では、《講義室など》の「利用できるパソコンの台数は十分である」「授業の形式に合った教室の設備が整っている」の評価が6割を超えて高い。一方、《博物館》の評価は21.9%と低く、利用者が限定されている可能性がある。

2013年と比べると、すべての項目で評価が上昇している。特に《講義室など》の「利用できるパソコンの台数は十分である」は12.9ポイント、「授業の形式に合った教室の設備が整っている」は8.8ポイント上昇しており、2013年よりも施設・設備が充実していることがうかがえる。

#### 【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

##### ■全体

2013年(n=163)  
2017年(n=137)



注1 2013年は「情報処理教室」において「利用できるパソコンの台数は十分である」

注2 2013年は「情報処理教室」において「職員や情報アシスタントの対応に満足している」

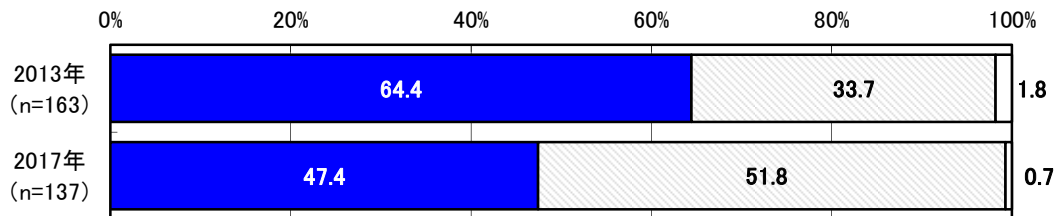
注3 2013年は「博物館の展示をよく見学する」

問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

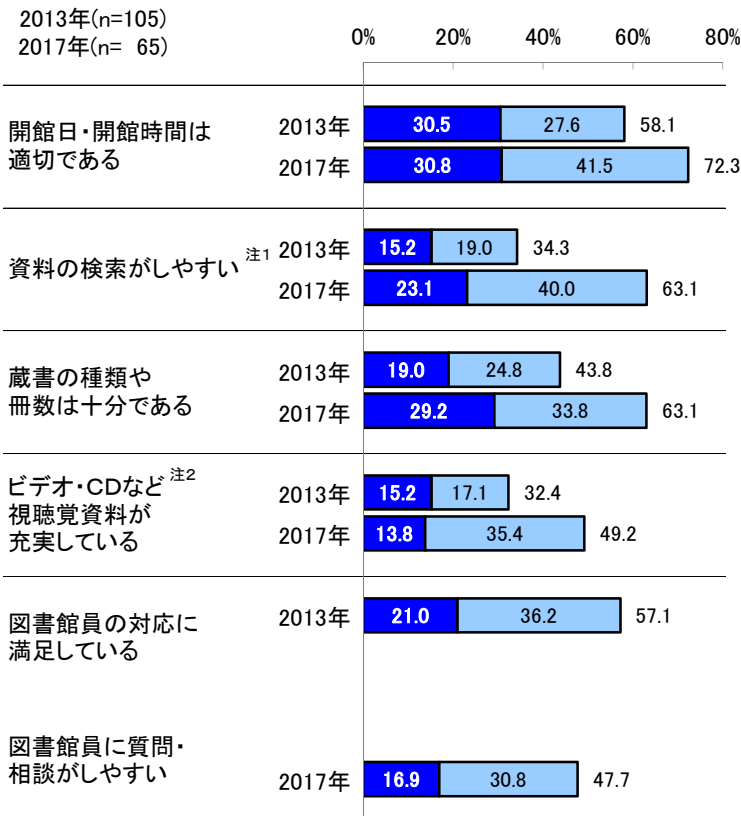
## 《図書館》の利用率は47.4%、2013年に比べ大きく低下 ただし、利用者の評価は上昇

《図書館》の利用率は47.4%。2013年（64.4%）に比べ17.0ポイント低下。  
ただし、利用者の評価をみると、ほとんどの項目で2013年よりも評価が上昇。特に「資料の検索がしやすい」は28.8ポイント、「蔵書の種類や冊数は十分である」は19.3ポイント上昇している。  
図書館を利用しない理由は、「行く用事・理由がないから」「本を読まない・興味がない」「行く機会がない」などの理由が多くあげられている。

### ■全体



### <利用者の評価>



図書館を利用しない理由	件数
行く用事・理由がないから	15
本を読まない・興味がない	13
行く機会がない	12
読みたい本がない	4
行く必要がない	4
行く時間がない	2
利用の仕方がわからない	2
一般研究室を利用するから	2

(2件以上のものを掲載)

■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「探している本を検索しやすい」

注2 2013年は「ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している」

問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

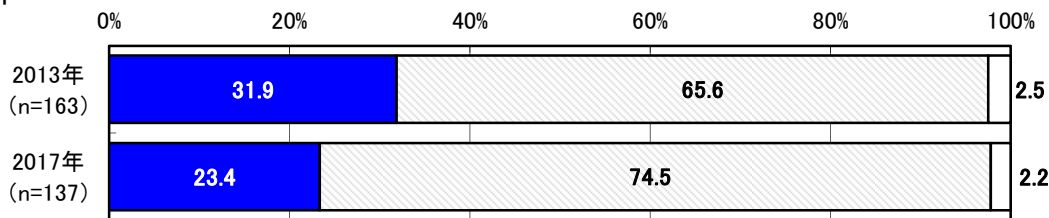
## 《総合研究室》の利用率は23.4%、2013年より低下

《総合研究室》の利用率は23.4%で、2013年と比べると8.5ポイント低下している。

《総合研究室》の利用者の項目別評価はいずれも上昇し5割を超えている。特に「開室日・開室時間は適切である」(71.9%)は7割を超える評価。

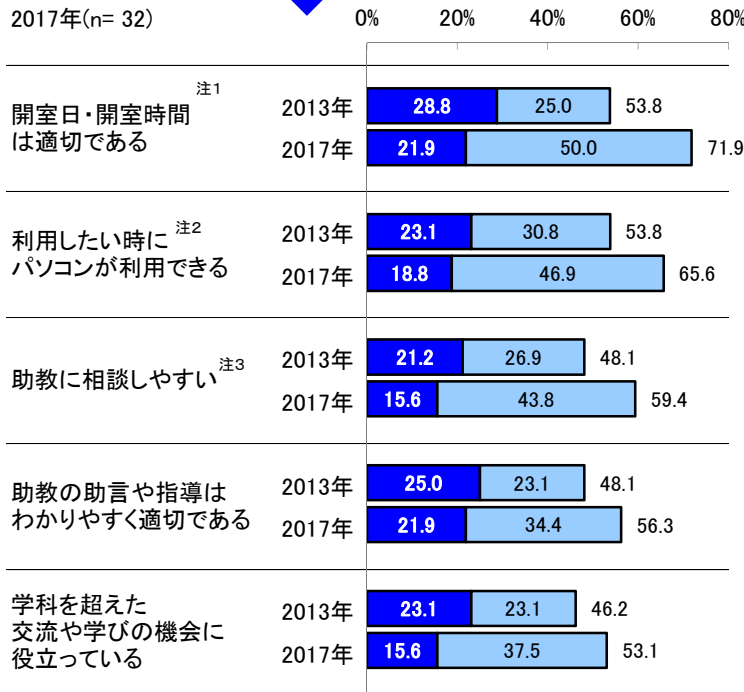
《総合研究室》を利用しない理由は、「用事や目的がない」「行く機会がないから」という理由のほか、「何をする場所か・利用の仕方がわからない」「場所を知らないから」との回答もみられ、《総合研究室》の目的や利用方法などを知らない学生が多いことがうかがえる。

### ■全体

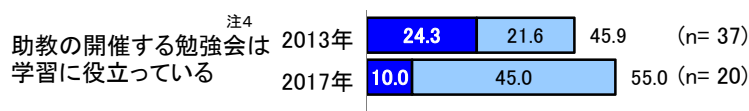


### <利用者の評価>

2013年(n= 52)  
2017年(n= 32)



※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。



総合研究室を利用しない理由	件数
用事や目的がない	15
行く機会がないから	14
何をする場所か・利用の仕方がわからない	12
場所を知らないから	11
一般研究室を利用するから	6
存在自体を知らない	6
利用しない	5
必要がないから	4
行く理由がないから	3
入りづらい・利用しにくい	2
時間がないから	2

(2件以上のものを掲載)

■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「開室時間は適切である」  
注2 2013年は「利用できるパソコンの台数は十分である」  
注3 2013年は「常駐している助教に相談しやすい」  
注4 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については回答者ベースで評価を算出

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

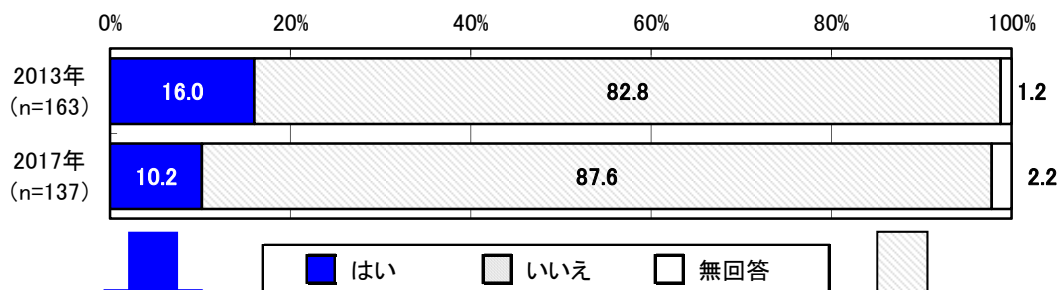
## 《GLOBAL SQUARE》の利用率は10.2%

《GLOBAL SQUARE》の利用率は10.2%と低く、2013年と比べると5.8ポイント低下している。

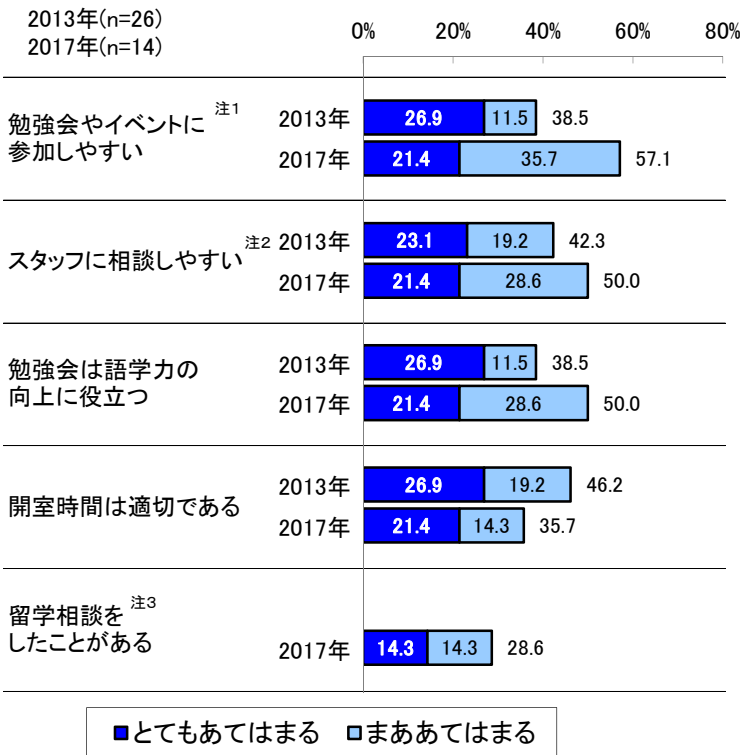
《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由は、「何をする場所か・利用の仕方がわからない」「利用する機会がないから」「利用する用事や目的がない」などと、《GLOBAL SQUARE》自体の認知度の低さや利用する必要のなさなどがあげられている。

※利用者数が少ない(n=14)ため、利用者の項目別評価についてのコメントは割愛

### ■全体



### <利用者の評価>



GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
何をする場所か・利用の仕方がわからない	17
利用する機会がないから	14
利用する用事や目的がない	11
存在自体知らない・聞いたことがない	9
行く必要がないから	8
興味・関心がない	7
利用したことがない・行かないから	6
場所を知らないから	5
利用する時間がない・時間が合わない	4
自分の学問の範囲ではないから	4
利用する理由がないから	4
留学や国際交流に関心がない	3
行きにくい・入りづらい	2

(2件以上のものを掲載)

注1 2013年は「勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある」  
 注2 2013年は「常駐しているスタッフに相談しやすい」  
 注3 2017年に新しく追加された項目

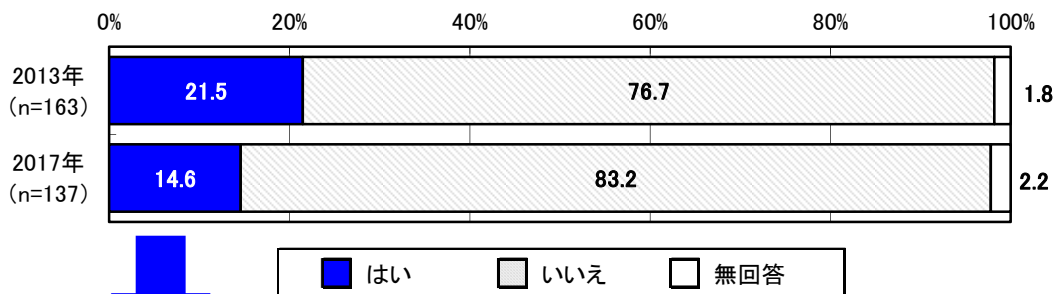
問. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《教職支援センター》の利用率は14.6%

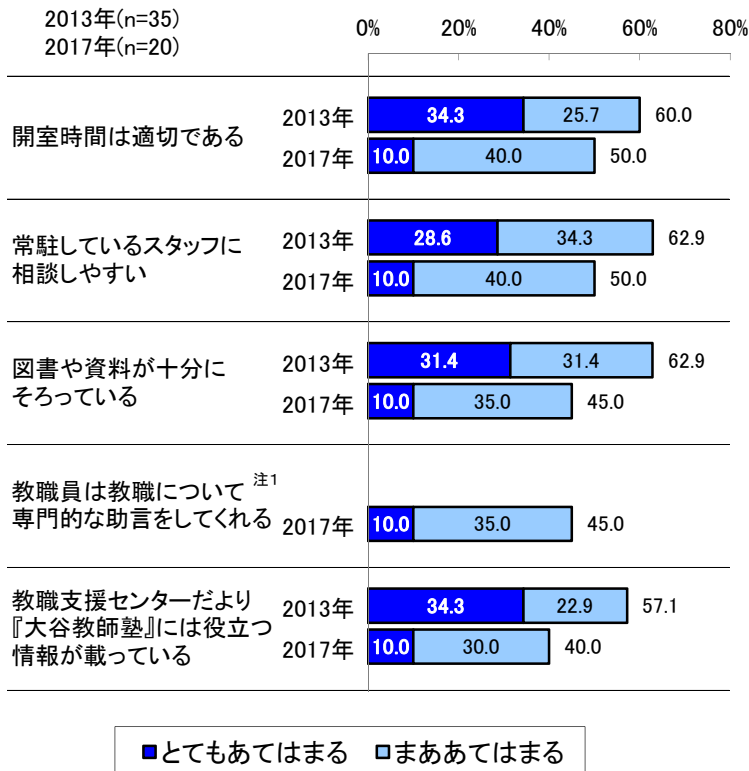
《教職支援センター》の利用率は14.6%。2013年と比べると6.9ポイント低下している。

《教職支援センター》の利用者の評価は、各項目とも4割から5割で、2013年と比べるとすべての項目で低下している。

### ■全体



### <利用者の評価>



注1 2017年に新しく追加された項目

問. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きします。  
 あなたは《実習支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

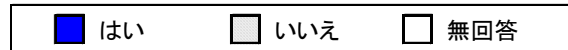
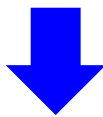
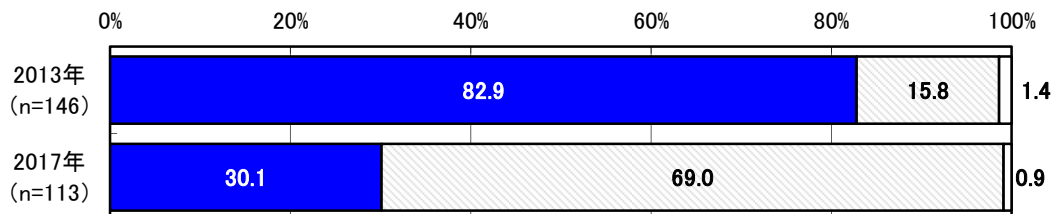
## 《実習支援センター》の利用率は30.1%

幼児教育保育科の学生の《実習支援センター》の利用率は30.1%で、2013年より52.8ポイントと大幅に低下している。利用者の評価はすべての項目で2013年と比べて低下傾向。特に「図書や資料が十分にそろっている」の評価は11.3ポイント低下している。

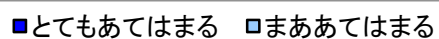
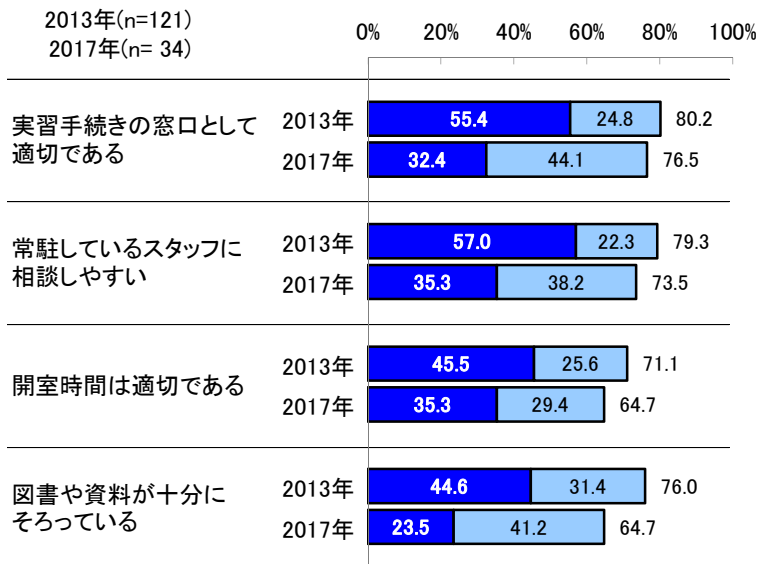
実習支援センター移設のため、センターを利用しているという認識が学生になかった可能性がある。

2013年、2017年ともに幼児教育保育科の学生に限定して聴取したため、  
 幼児教育保育科の学生を母数として集計している。

### ■全体



### <利用者の評価>



問. 短期大学部の方にお聞きます。

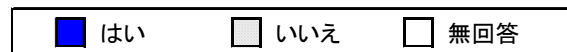
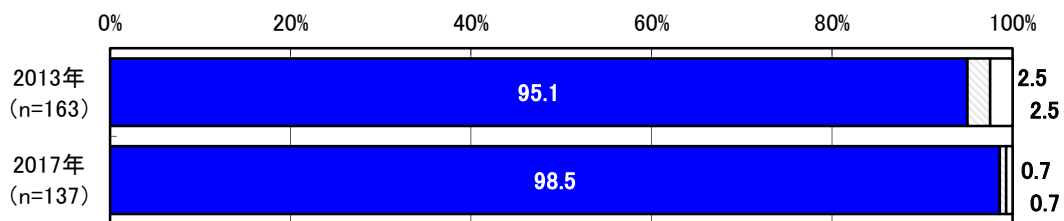
あなたは、短期大学部の《一般研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《一般研究室》の利用率は98.5%で、ほとんどの学生が利用

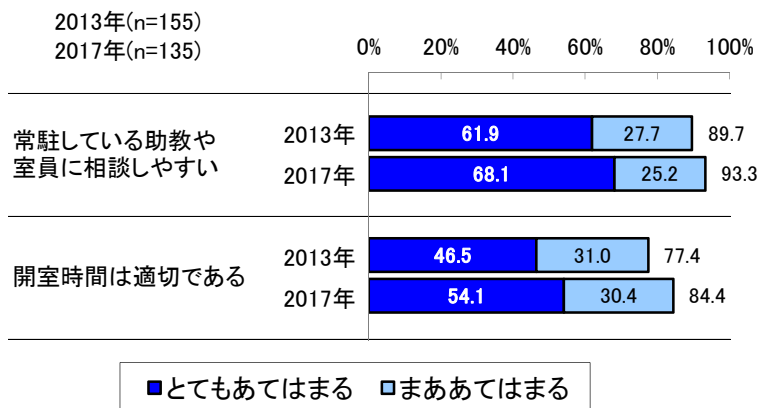
《一般研究室》の利用率は98.5%で、他施設と比べると非常に高い。また、2013年と比べると3.4ポイント上昇している。

利用者の評価は、「常駐している助教や室員に相談しやすい」が9割台、「開室時間は適切である」が8割台とそれぞれ高く、2013年より2項目とも上昇している。

### ■全体



### <利用者の評価>



## 8. 「H.その他」の評価

### 「その他」の項目に対する評価

1位は「通学のための交通の便がよい」78.1%

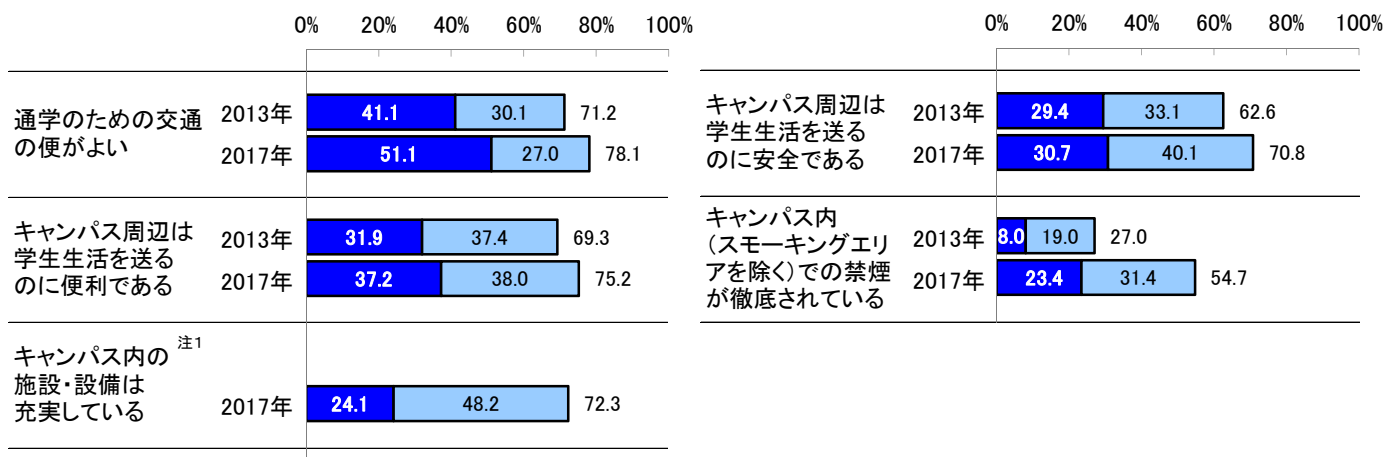
その他の項目について、最も評価の高い項目は「通学のための交通の便がよい」（78.1%）で、次いで「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」（75.2%）が続き、『大学の立地』に関連する項目の評価が高い。

2013年と比べると、すべての項目で評価は上昇している。特に「キャンパス内（スモーカーエリアを除く）での禁煙が徹底されている」の評価は、2013年より27.7ポイント上昇している。

#### 【H その他】

##### ■全体

2013年(n=163)  
2017年(n=137)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2017年に新しく追加された項目



## 9. 各カテゴリーの満足度

### 満足度\*上位3カテゴリー

1位：「G.教育施設・設備など」83.9%

2位：「H.その他」78.1%

3位：「C.教員」77.4%

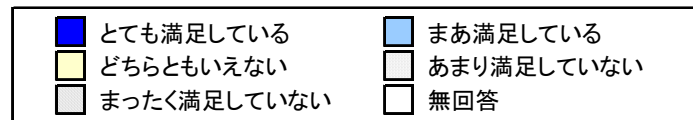
8カテゴリーの中で最も満足度の高いカテゴリーは、「G.教育施設・設備など」83.9%で、以下「H.その他」（78.1%）、「C.教員」（77.4%）が7割台で続き、ほとんどのカテゴリーで満足度は5割を上回る。

2013年と比べると、「G.教育施設・設備など」の満足度は12.7ポイント、「H.その他」の満足度は7.5ポイント上昇している。

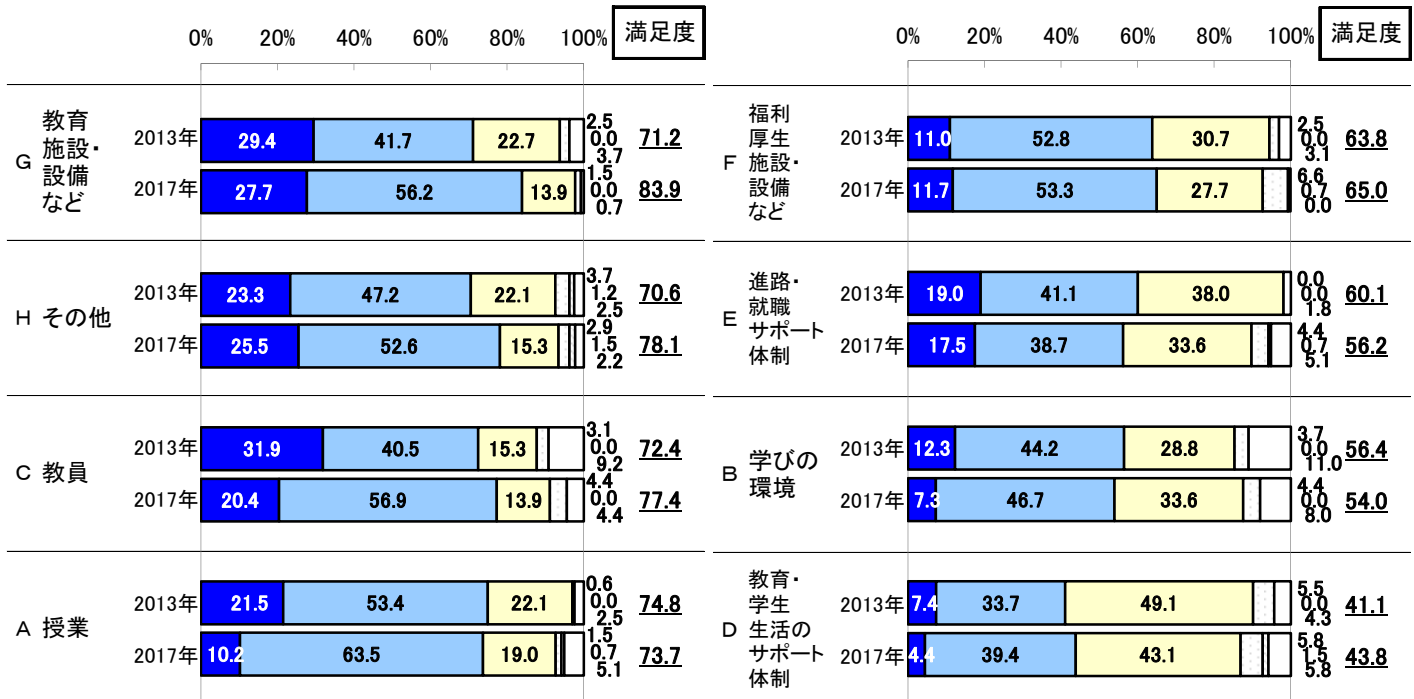
一方で、「C.教員」「A.授業」については、「とても満足している」の割合がそれぞれ10ポイント以上大きく低下している。

※ 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

### ■全体



2013年(n=163)  
2017年(n=137)



## VI. 大谷大学短期大学部に対する満足度について

### 1. 大谷大学短期大学部への満足度

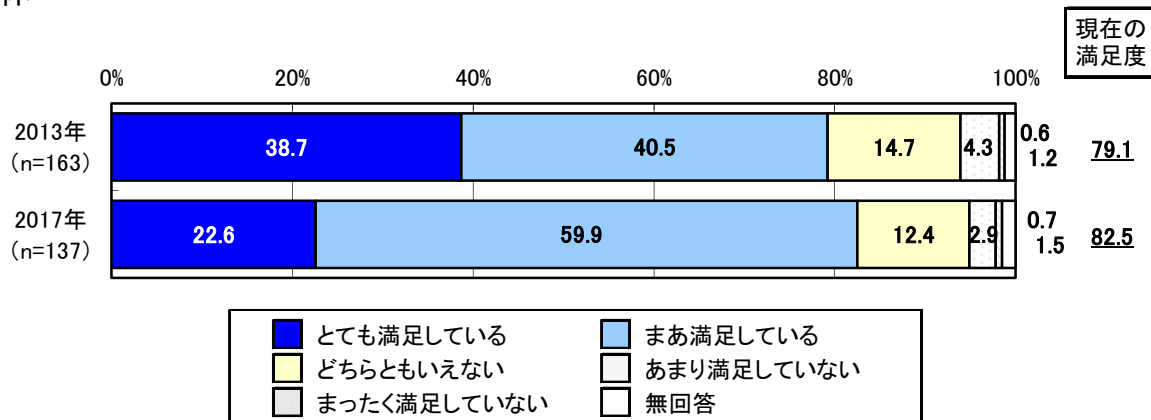
Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

#### 大谷大学に対する現在の満足度\*は82.5%

大谷大学への現在の満足度は82.5%で、2013年（79.1%）からやや上昇している。一方、「とても満足している」の割合は、2013年から16.1ポイント低下している。

※ 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

#### ■全体



## 2. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

入学時の満足度と現在の満足度はほとんど差はみられない。

### 【学科別】

仏教科では満足度の変化量が8.4ポイントと全体よりは大きいですが、2013年と比べて9.3ポイント減少している。

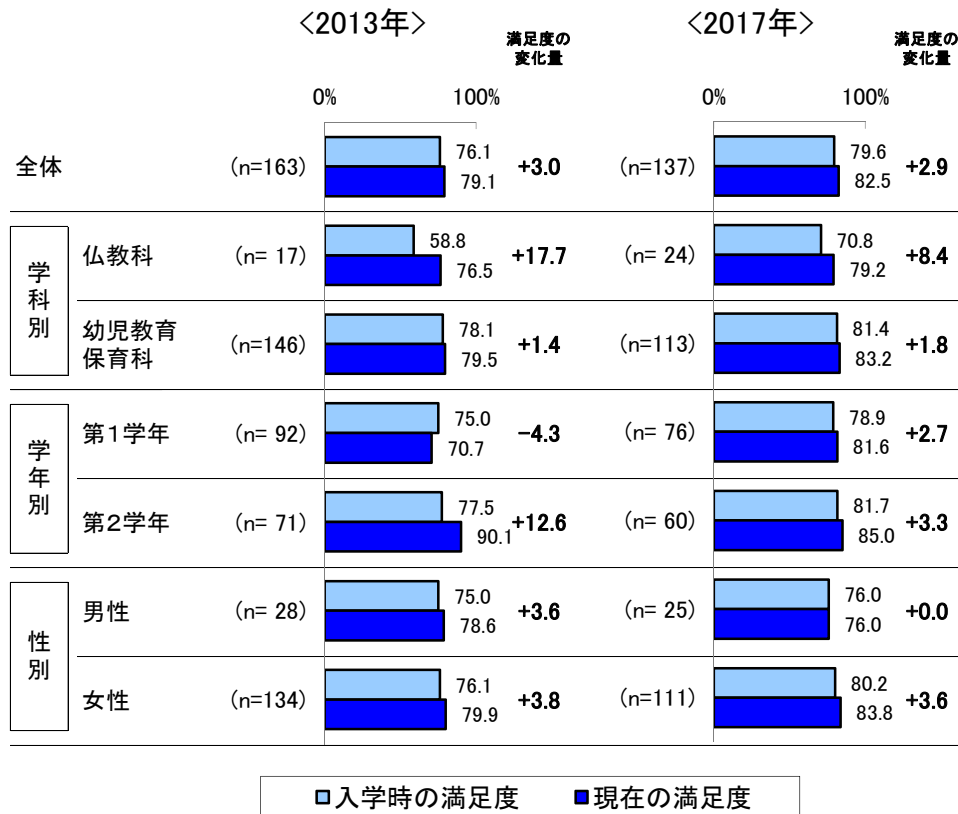
幼児教育保育科では入学時の満足度と現在の満足度はほとんど差がみられない。

### 【学年別】

第1学年では満足度の変化量は2.7ポイントで、2013年と比べると7.0ポイント増加している。

第2学年では満足度の変化量は3.3ポイントで、2013年と比べると9.3ポイント減少している。

### ■全体／学科別／学年別／性別

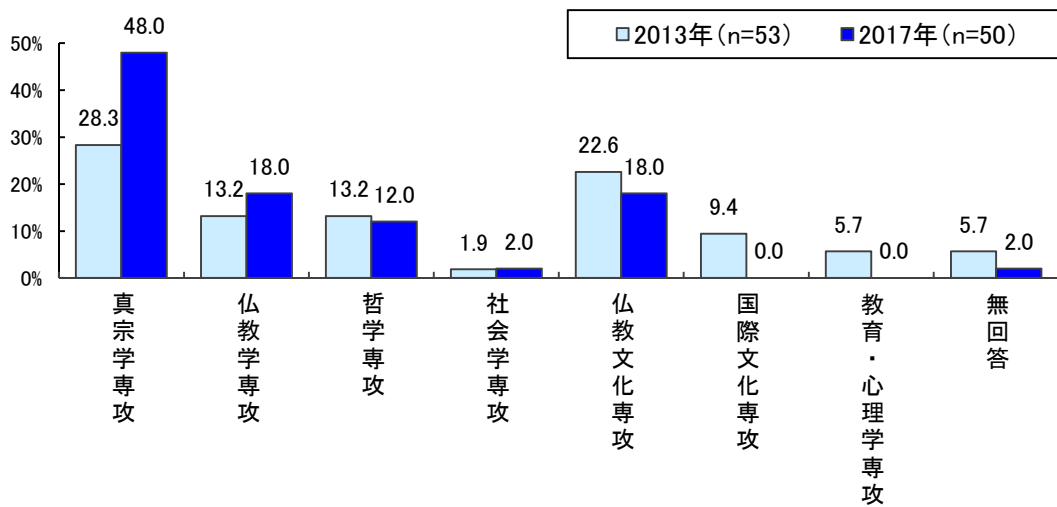


注) 入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」  
 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」  
 満足度の変化量＝「現在の満足度」－「入学時の満足度」

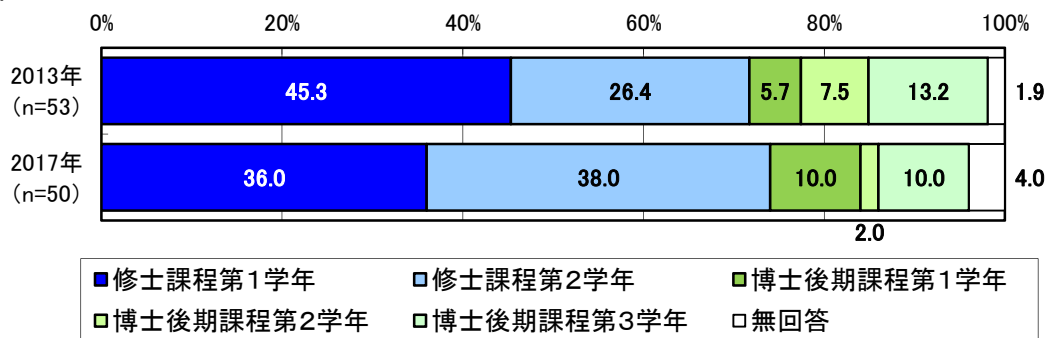
## **【大学院編】 調査結果**

# 回答者の属性

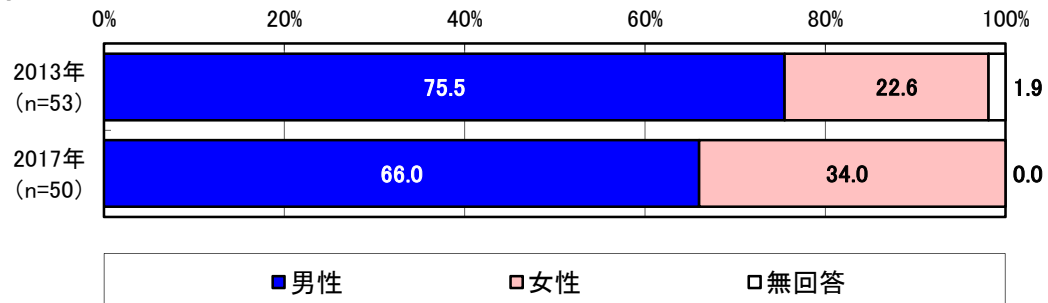
## ●所属研究科・専攻



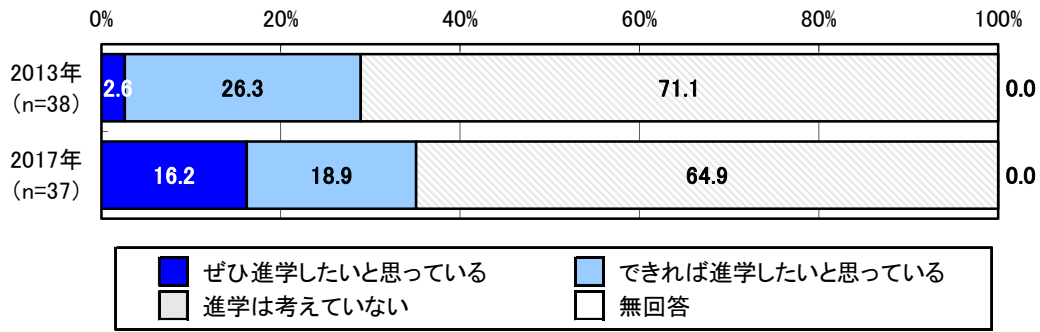
## ●学年



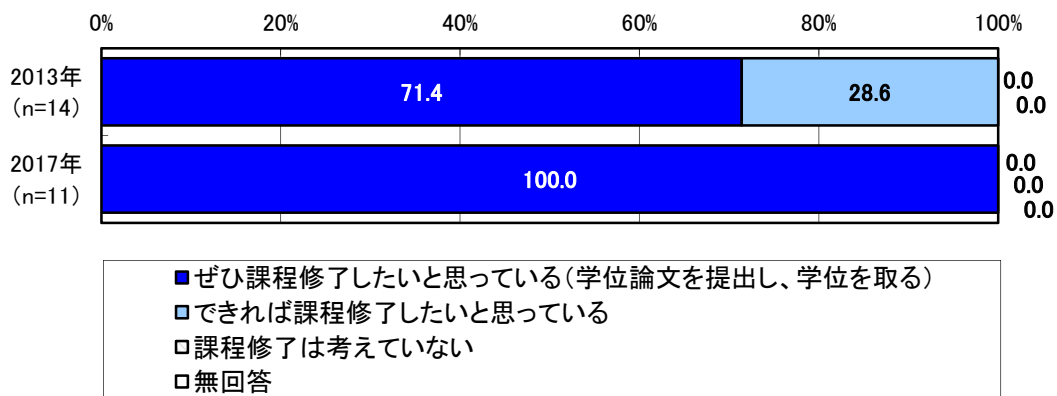
## ●性別



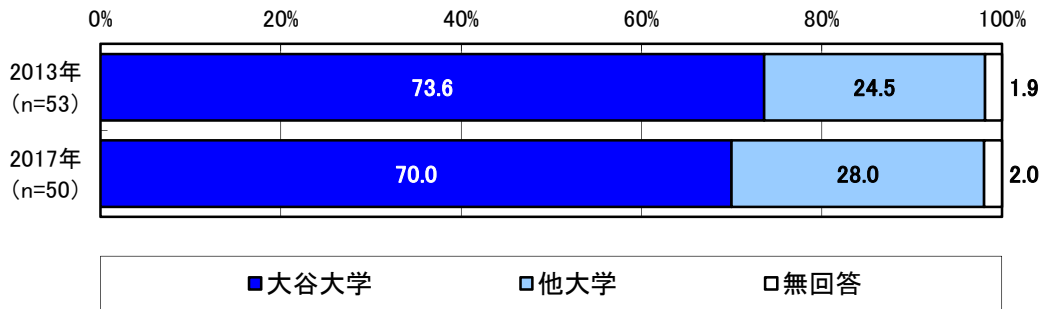
●博士後期課程進学について（修士課程の方のみ回答）



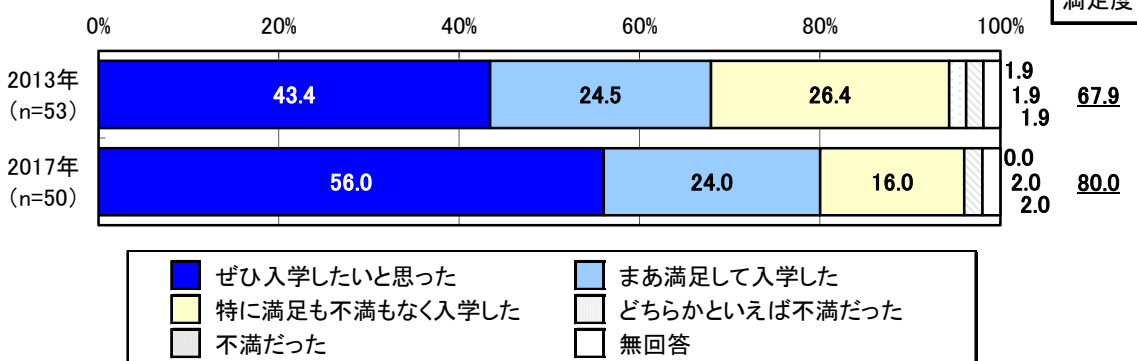
●課程修了について（博士後期課程の方のみ回答）



●出身大学



●入学した時の気持ち



※入学時の満足度  
=「ぜひ入学したいと思った」  
+「まあ満足して入学した」

# I. 大谷大学大学院での学業・取り組みについて

※経年比較については、原則として2013年との差が10ポイント以上ある項目についてのみコメントしている

## 1. 大谷大学大学院への進学理由（複数回答）

Q1 あなたが大谷大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 大谷大学大学院への進学理由

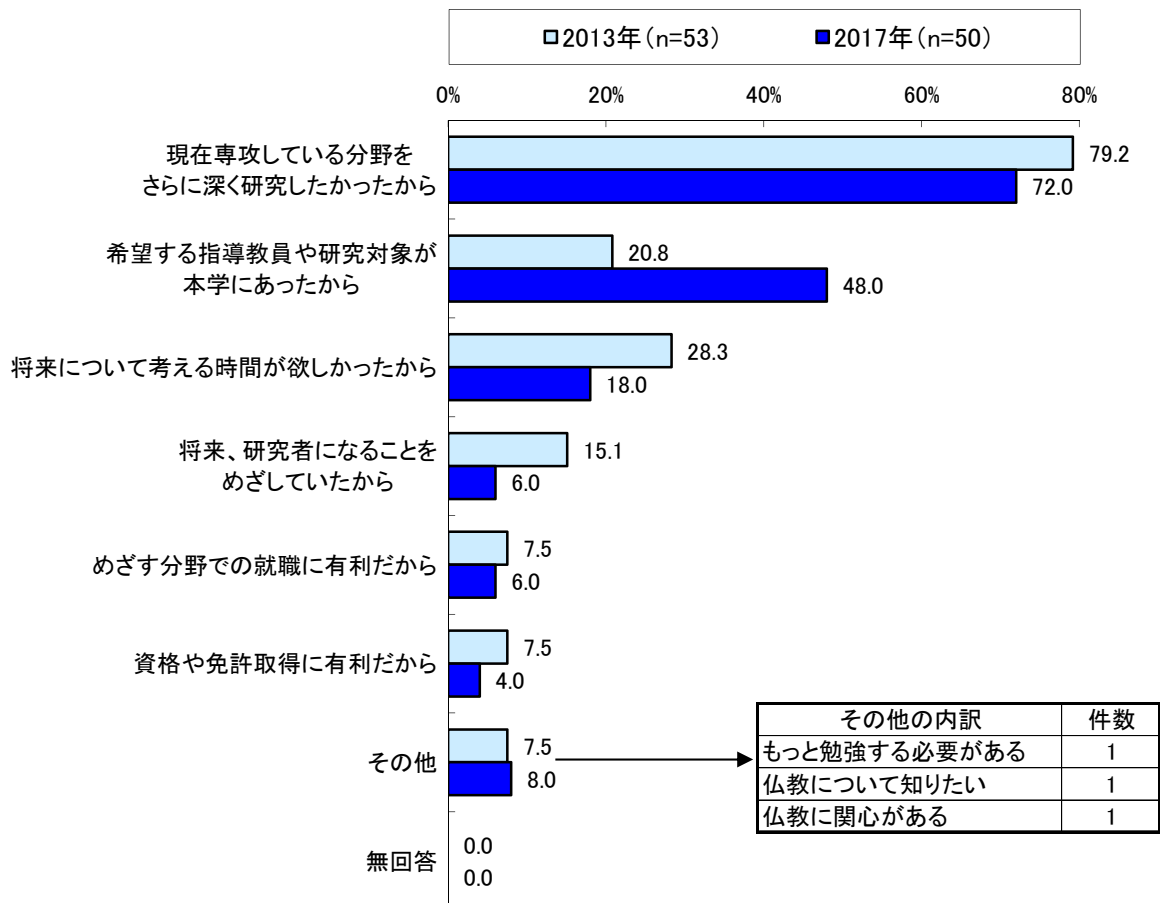
「現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから」72.0%

「希望する指導教員や研究対象が本学にあったから」48.0%

大学院進学理由は「現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから」が72.0%と高く、次いで、「希望する指導教員や研究対象が本学にあったから」が48.0%となっている。

2013年と比較すると、「希望する指導教員や研究対象が本学にあったから」が27.2ポイント上昇している。

### ■全体



## 2. 大谷大学大学院で意欲的に取り組んでいること（複数回答）

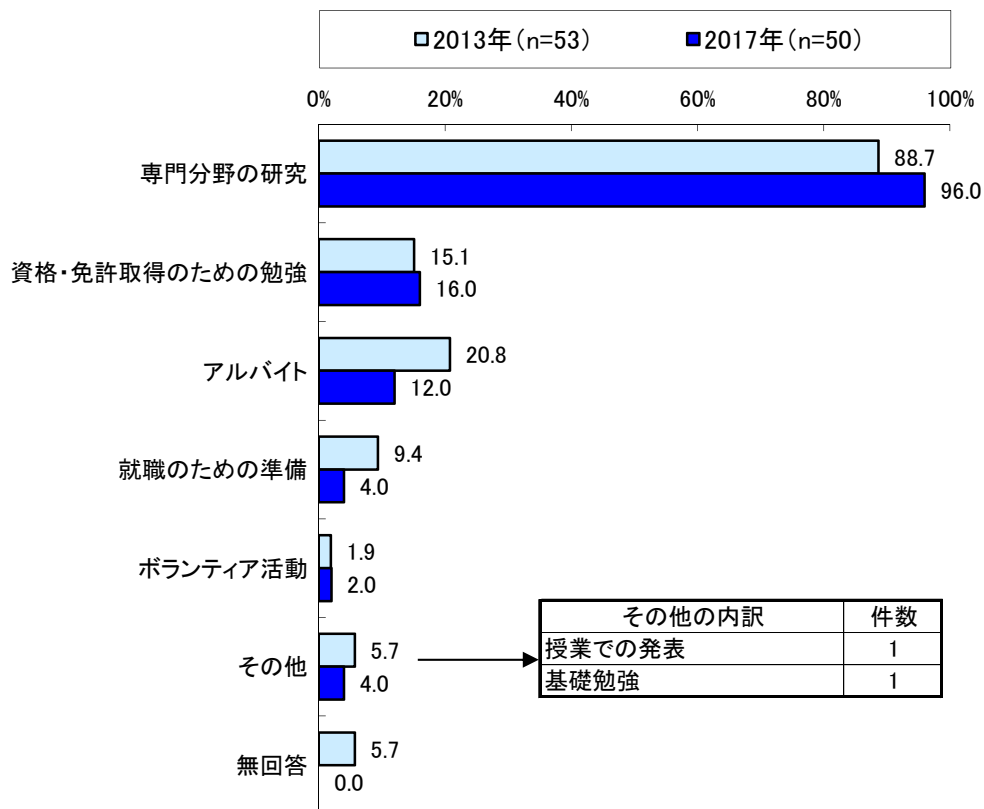
Q2 あなたが、大谷大学大学院で意欲的に取り組んでいることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 大学院で意欲的に取り組んでいることは「専門分野の研究」96.0%

大学院で意欲的に取り組んでいることとしては、回答者のほぼ全員が「専門分野の研究」（96.0%）と回答している。

2013年と比較すると、「専門分野の研究」は一層割合が高くなる一方、「アルバイト」は8.8ポイント低下しており、専門的な研究に打ち込もうとする意識がさらに強まっていると推測される。

#### ■全体





### 3. 専門研究の進行状況

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 専門研究の進行状況が『順調』\*と考える大学院生は32.0%にとどまる

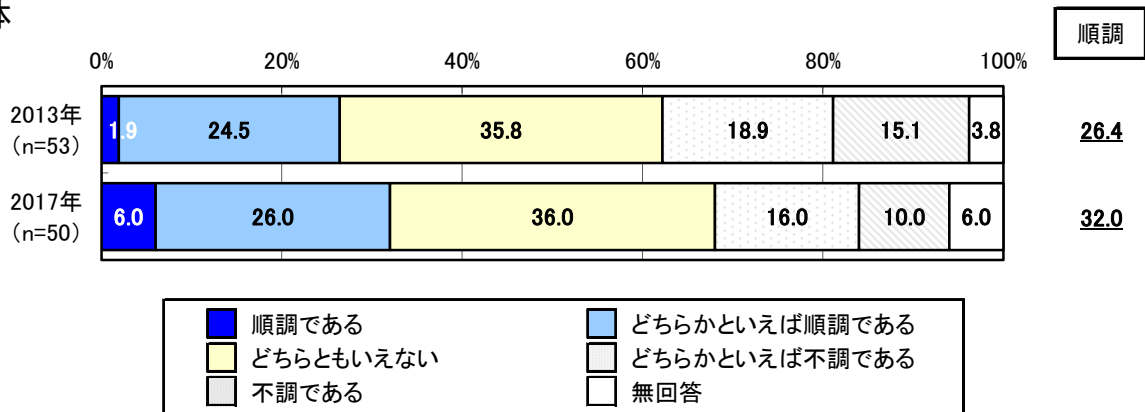
専門研究の進行状況については、『順調』と考える大学院生が32.0%と、2013年より増加しているものの、『不調』と答える大学院生も26.0%おり、大学院生の自己評価は決して高いとはいえない。

専門分野の研究に対する意欲の高まりを考えると、大学院生の研究進行についてよりきめ細かく手厚い支援の必要性がうかがわれる。

※順調＝「順調である」＋「どちらかといえば順調である」

不調＝「不調である」＋「どちらかといえば不調である」

#### ■全体



## 4. 入学後の自己認識・評価

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。  
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

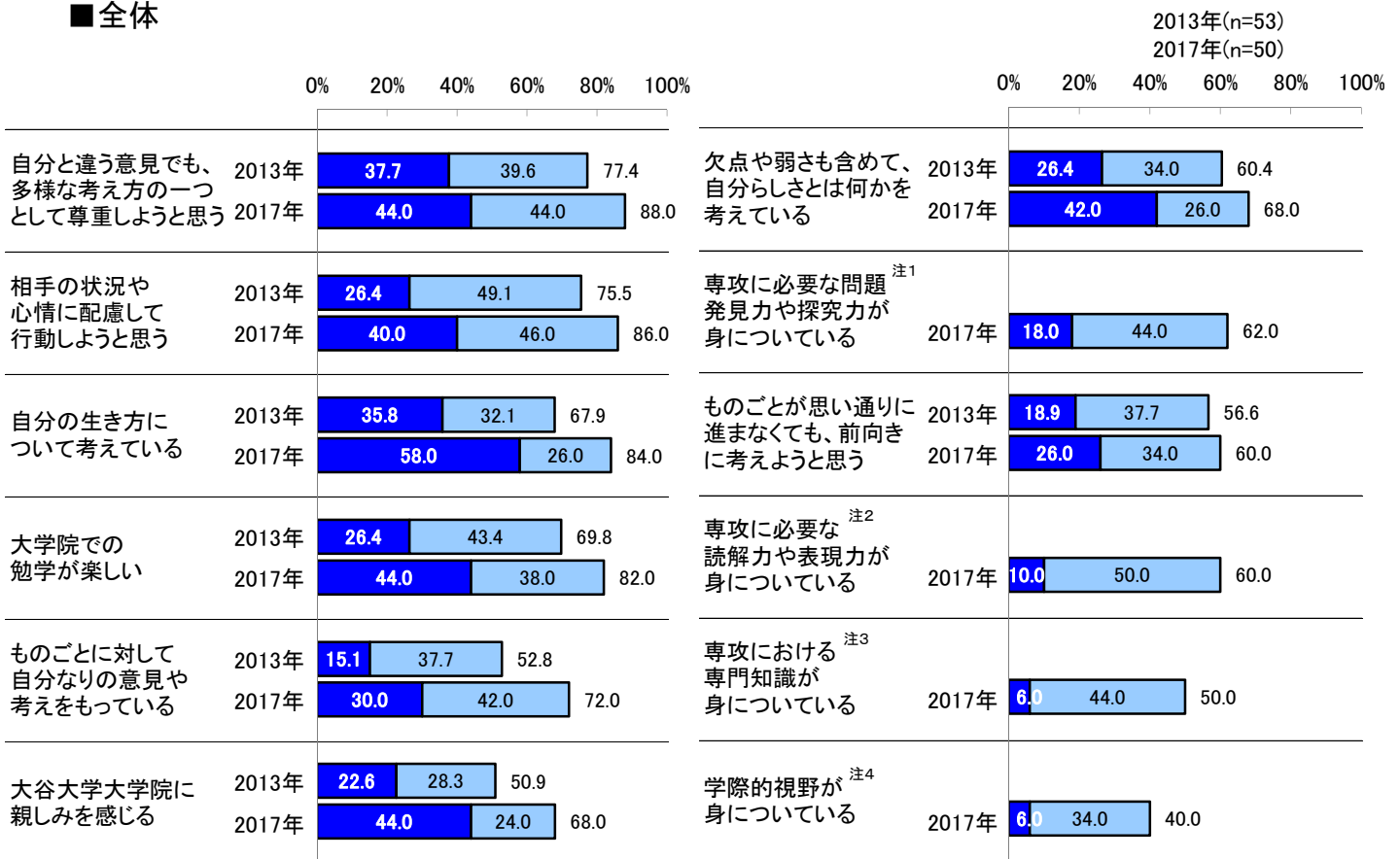
**大学院生としての自己認識・評価※、上位項目は**  
**「自分と違う意見でも、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う」88.0%**  
**「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」86.0%**  
**「自分の生き方について考えている」84.0%**  
**「大学院での勉学が楽しい」82.0%**

上記の上位4項目で肯定的な評価※が8割を超えているほか、ほとんどの項目で評価は6割以上と高い。一方、専攻での学びや研究に関連する力に対しては評価が比較的低く、「学際的視野が身についている」は40.0%、「専攻における専門知識が身についている」は50.0%にとどまっている。

2013年と比較すると、すべての項目で評価は上昇しており、特に「ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている」「大谷大学大学院に親しみを感じる」では約20ポイントの上昇となっており、専門研究の進行に困難はあるものの、大学院での学びを肯定的に捉え、自身の考えを深めている様子がうかがえる。

※評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1、注2、注3、注4 2017年に新しく追加された項目

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す  
評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

## Ⅱ. 大谷大学の建学の理念・目的について

### 1. 建学の理念の認知度

大谷大学には、「仏教精神にもとづいた人間教育を行い、真実を求め、現実から目をそらさず、あるべき社会や人間のあり方を探究する人物を育成し、人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。この理念は【人間が大好きです。】や【Be Real 寄りそう知性】というメッセージとして象徴的に表されています。これについて、以下の設問に教えてください。

Q6-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

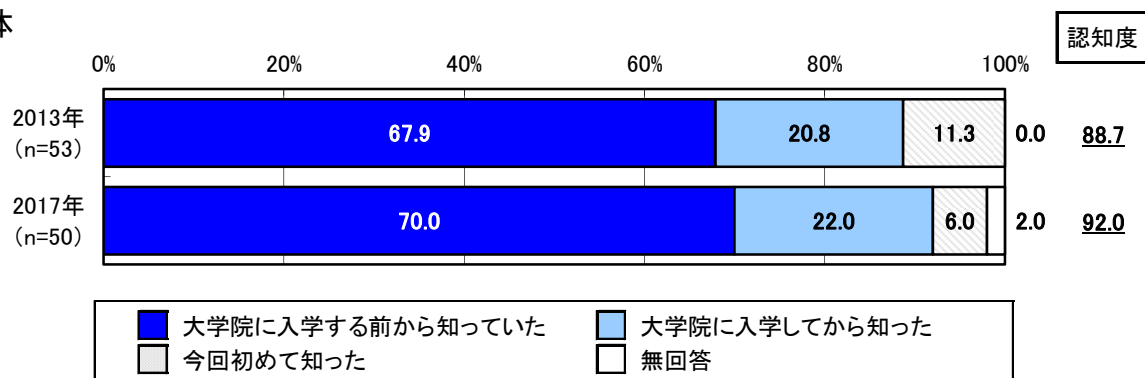
#### 建学の理念認知度\*は92.0%と高い

建学の理念の認知度は約9割と、回答者のほとんどは建学の理念を認知している。

※認知度＝「大学院に入学する前から知っていた」＋「大学院に入学してから知った」

※ 2013年より質問文前文が変更されているため、経年比較コメントは差し控える

#### ■全体



※ 2013年における質問文前文は、

『大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間に人間の関係（自分との関係、他者との関係）を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。』

## 2. 建学の理念を感じる機会（複数回答）

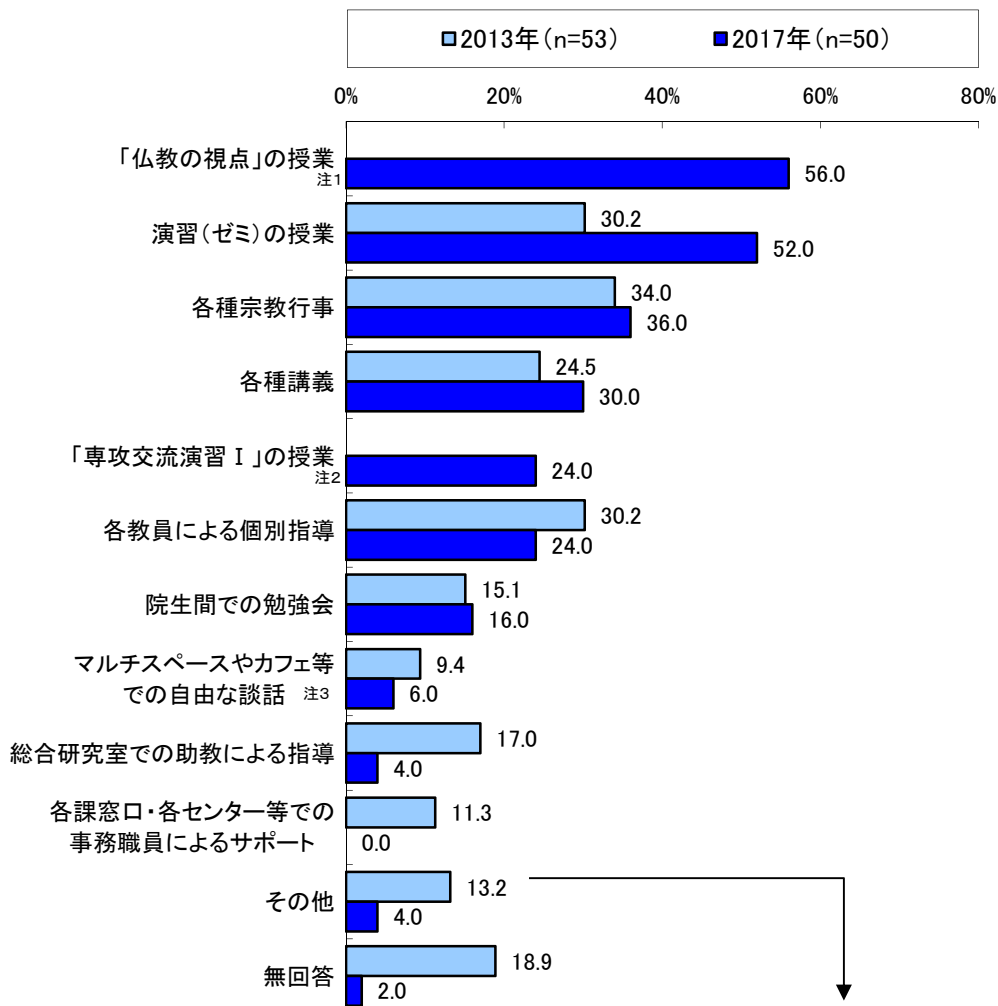
Q6-2 あなたは、上記のような建学の理念、目的として表明されている学びの内容や姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 建学の理念を感じる機会は、 「『仏教の視点』の授業」を通してが最も高い

建学の理念を感じる機会は「『仏教の視点』の授業」「演習（ゼミ）の授業」がともに5割台、「各種宗教行事」「各種講義」がともに3割台となっており、それぞれの授業を通して建学の理念に触れる機会を得ている様子が見える。

2013年と比べると、「演習（ゼミ）の授業」では21.8ポイント高くなっているが、「総合研究室での助教による指導」「各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート」では10ポイント以上低下している。

#### ■全体



その他の内訳		件数
大学の広報		1
特に感じない		1
Be Realというスローガンが好きでない		1

注1、注2 2017年に新しく追加された項目

注3 2013年は「ビッグバレーなどでの自由な談話」

### Ⅲ. 大谷大学大学院に対する評価や満足度について

Q5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

#### 1. 「A.授業」の評価

**授業に対する評価※、上位項目は**

**「専門的な知識・技能が身につく授業が多い」80.0%**

**「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」74.0%**

授業に関する評価は「専門的な知識・技能が身につく授業が多い」が80.0%と高い。また、「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」「興味をもてる授業が多い」「自分の生き方に影響を与えられる授業が多い」の評価も7割を超えている。一方、「将来の進路に役立ちそうな授業が多い」「資格取得に役立ちそうな授業が多い」については評価が低く2割台にとどまる。

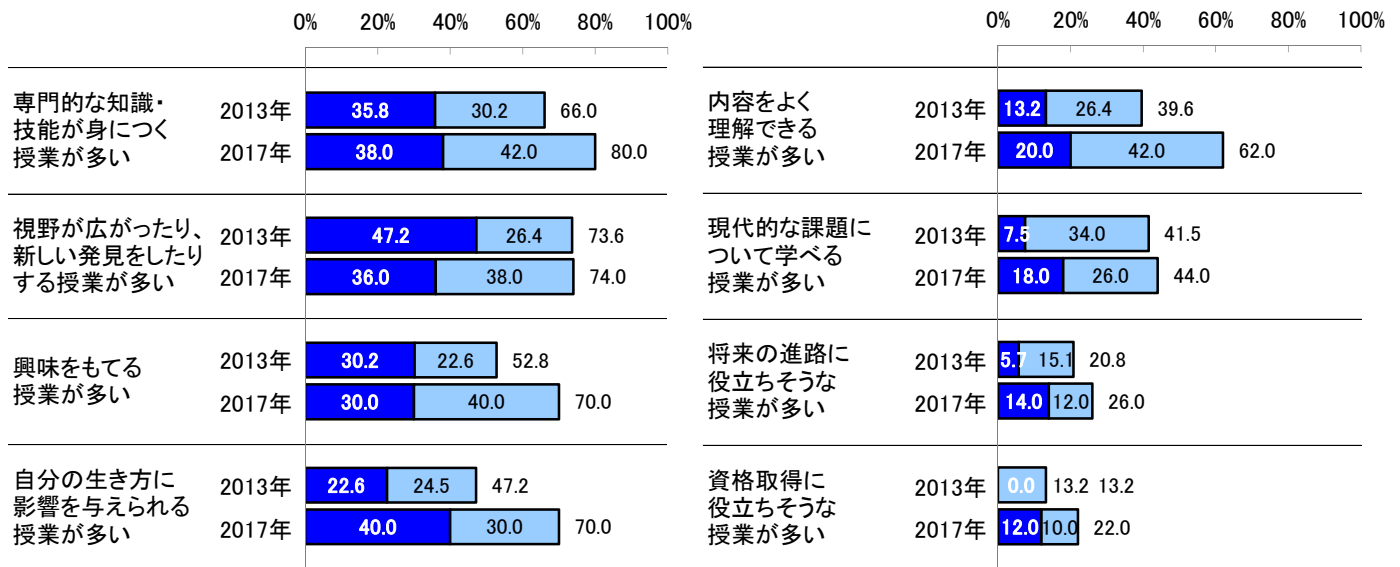
2013年と比較すると、すべての項目で評価は上昇しており、「興味をもてる授業が多い」「自分の生き方に影響を与えられる授業が多い」「内容をよく理解できる授業が多い」の評価はいずれも約20ポイント上昇している。

※評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」 Q5は以下同様

#### 【A 授業について】

##### ■全体

2013年(n=53)  
2017年(n=50)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す  
評価＝「とてもあてはまる」+「まああてはまる」  
Q5は以下同様

## 2. 「B.学びの環境」の評価

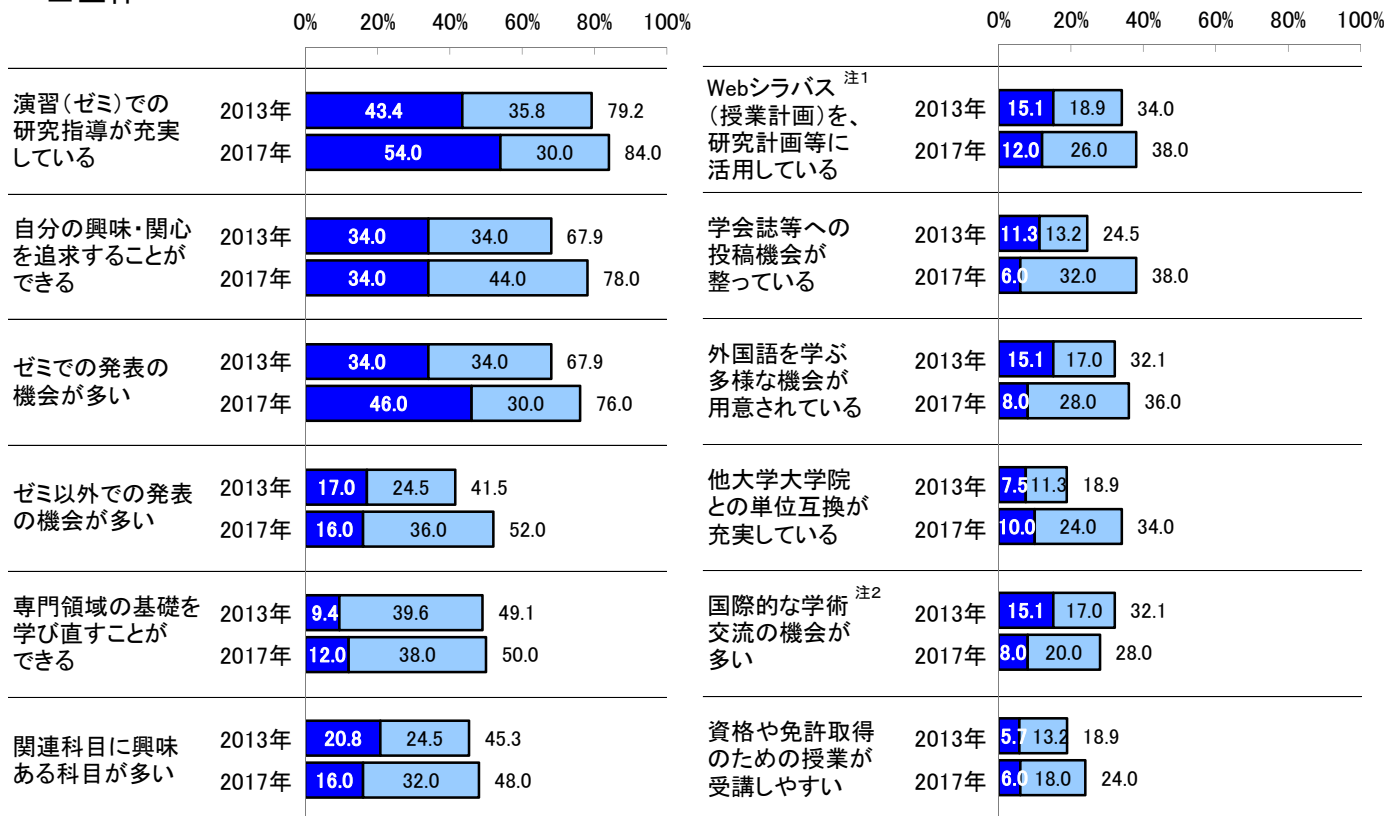
**学びの環境に対する評価、上位項目は**  
**「演習（ゼミ）での研究指導が充実している」84.0%**  
**「自分の興味・関心を追求することができる」78.0%**  
**「ゼミでの発表の機会が多い」76.0%**

学びの環境に関しては、上記3項目の評価が8割前後と高く、突出している。  
 一方、12項目中6項目で満足度が4割を切っており、項目間で評価に差があるのが特徴的である。  
 2013年と比較するとほとんどの項目で評価が上昇している。「学会誌等への投稿機会が整っている」は13.5ポイント、「他大学大学院との単位互換が充実している」は15.1ポイント上昇している。

### 【B 学びの環境について】

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2013年は「シラバス（授業概要）を、研究計画等に活用している」

注2 2013年は「大学院特別セミナーの開講など、国際的な学術交流の機会が多い」

問. 教えることを体験する機会としてのTA、情報アシスタント等に参加することについて、あなたはどのように思いますか。自由にお書きください。

### TA・情報アシスタントに対する評価

TA・情報アシスタントについては、好意的に受け止める意見が多く、他者に教えるという経験が自らの学び方を問い直す機会となり、自分自身の力にもなっているなどと高く評価されている。一方、批判的な意見・要望としては、自分自身の研究時間が減るとの意見や人に教えることへの抵抗的な意見が見受けられる。

項目	総件数	修士	博士	代表的な意見
TA・情報アシスタント等に参加することに好意的な意見	25	18	7	人に教える機会が日常的にあることで自分自身の力にもなっていくと思う。(修士)
				「自身が研究と向き合う姿勢」を問い直す機会となりうるので、有用だと考える。(修士)
				自分の未熟さを思い知らされる良い機会だと思う。(修士)
				大谷大学のTAの制度はとても画期的だと思う。(博士)
				良い経験を積むことができると思われる。(博士)
TA・情報アシスタント等に参加することに批判的な意見・要望	6	6	0	情報アシスタントが教えることを体験する機会となっているかについては疑問。参加は個人の自由でやりたい人がやればよいと思います。(修士)
				人に何かを教えることにまだ抵抗があり、TAを試してみたいと思わない。(修士)
				研究の時間が減るため、あまり推奨できない。(修士)
				アルバイト料が少ない(他大学と比較して)。(修士)
その他	3	1	2	TAアシスタントの人がうらやましい。(修士)
				やりたい人はやれば良いと思う。(博士)

### 3. 「C.教員」の評価

**教員に対する評価、上位項目は**  
**「学問分野の専門家として優れている」 96.0%**  
**「授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる」 96.0%**

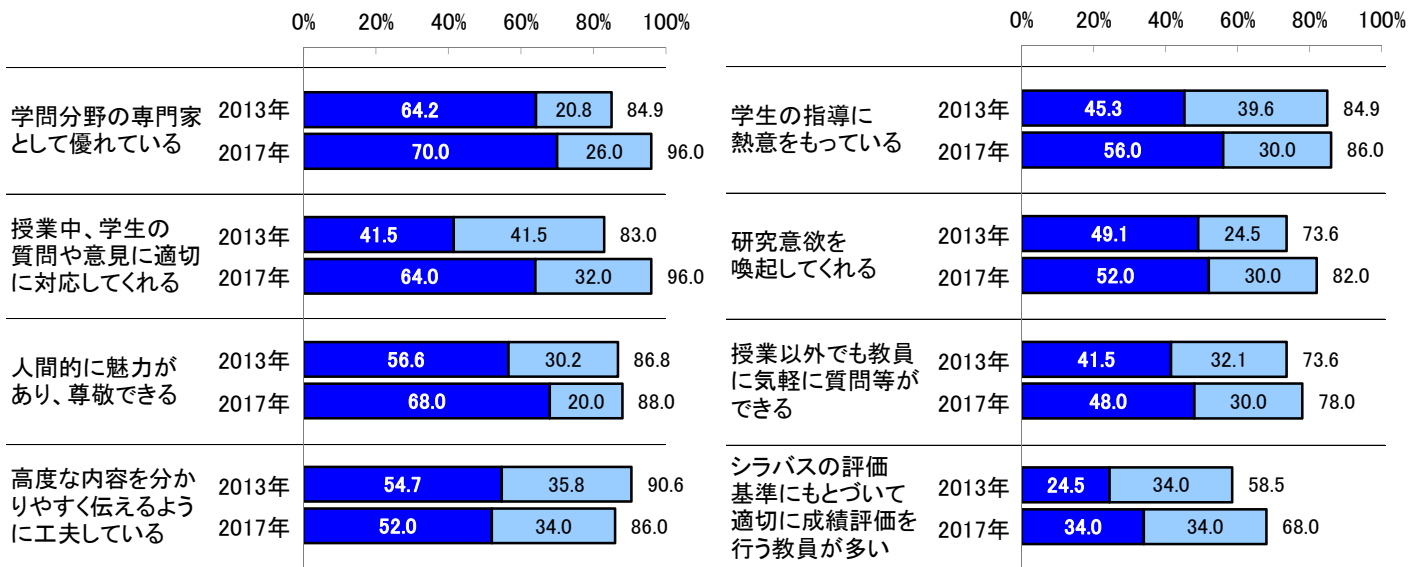
教員に関する8項目中6項目の評価が8割を超えており、全体的に教員に対する評価は非常に高い。特に、1位に並んだ「学問分野の専門家として優れている」「授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる」はともに96.0%と、回答者のほぼ全員が肯定的な評価をしている。

2013年と比較すると、ほとんどの項目で評価が上昇しており、「学問分野の専門家として優れている」「授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる」「研究意欲を喚起してくれる」「シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い」では約10ポイント上昇している。

#### 【C 教員について】

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

#### ■全体



■とともあてはまる □まああてはまる



#### 4. 「D.教育・学生生活のサポート体制」の評価

**教育に関するサポート体制で最も評価の高い項目は、**  
**「休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている」56.0%**  
**「OUNETや『学生向け情報提供システム』が充実している」56.0%**

教育に関するサポート体制については、「休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている」「OUNETや『学生向け情報提供システム』が充実している」「履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている」の上位3項目で評価が5割を超えている。

2013年と比較すると、上位2項目はほぼ横ばいで推移しているが、「履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている」「資格取得に関する履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている」は10ポイント以上上昇している。

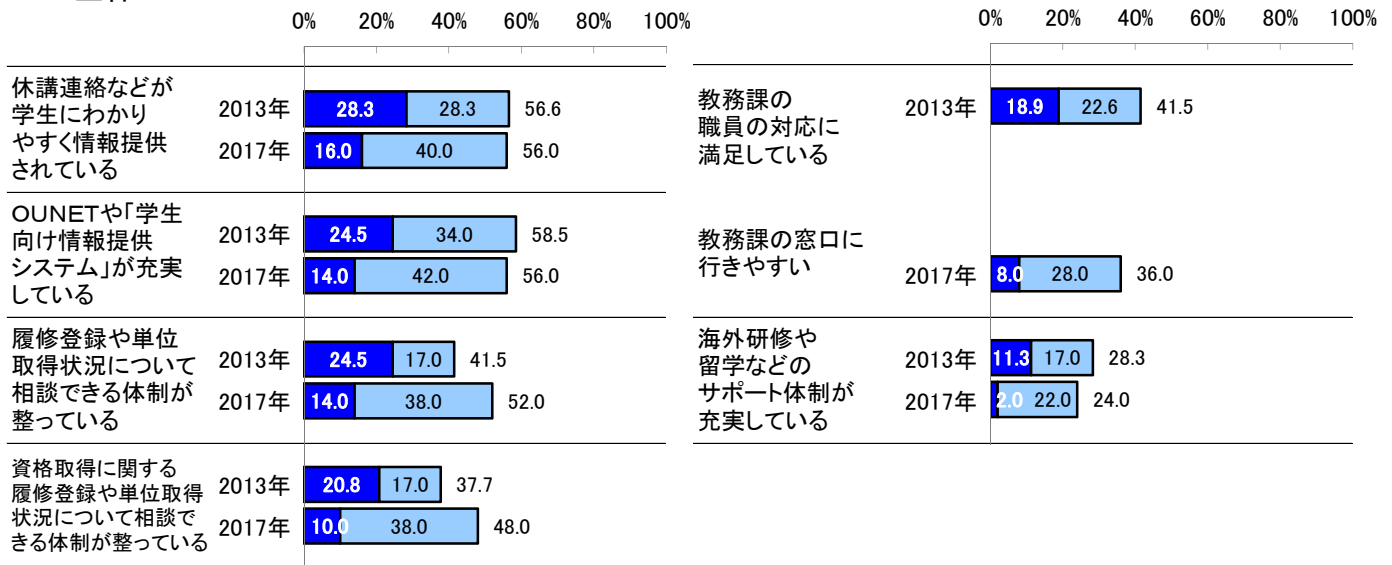
一方で、「とてもあてはまる」の割合はどの項目でも低下している。

#### 【D 教育・学生生活のサポート体制について】

##### <教育に関するサポート>

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

##### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

## 学生生活に関するサポート体制で最も評価の高い項目は、 「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」40.0%

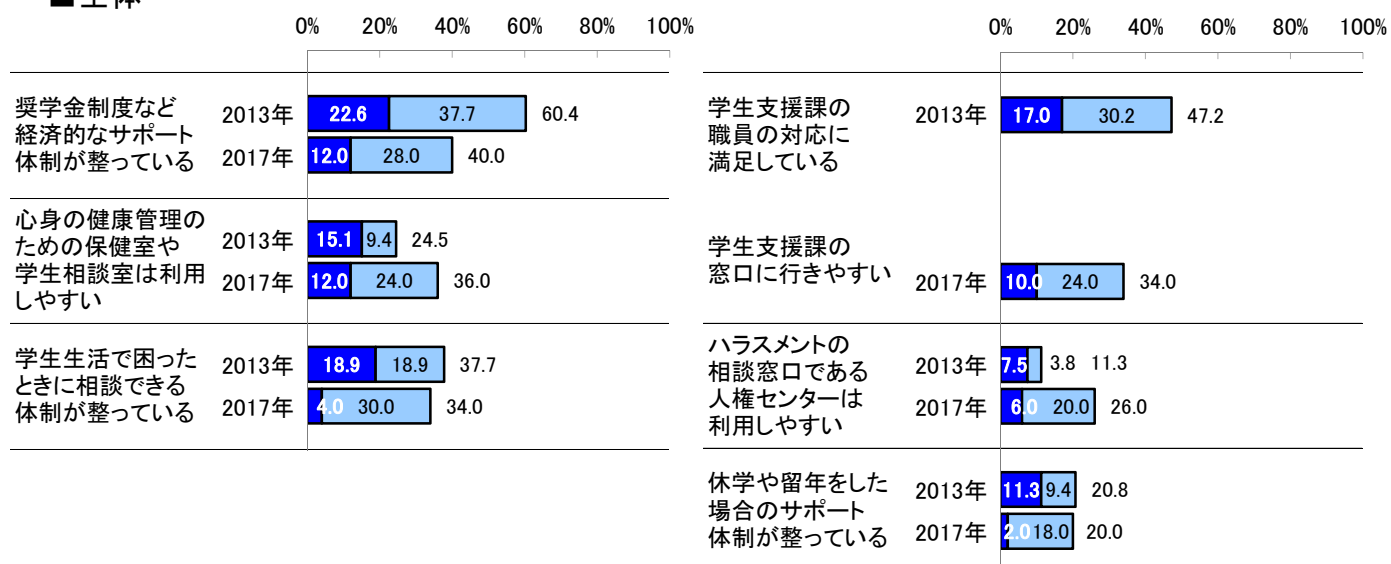
学生生活に関するサポート体制についてはいずれの項目も評価が低く、最も評価の高い「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」でも40.0%にとどまる。特に「ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい」「休学や留年をした場合のサポート体制が整っている」は2割台と低く、これらのサポートの存在自体が認知されていない可能性も考えられる。

2013年と比較すると、「心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい」「ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい」は10ポイント以上上昇しているものの、「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」は20.4ポイントの大幅な低下がみられる。

### <学生生活に関するサポート>

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

## 5. 「E.進路・就職サポート体制」の評価

問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

**キャリアセンターの利用率※は20.0%**

**利用しない理由は「就職活動をする予定がないから」**

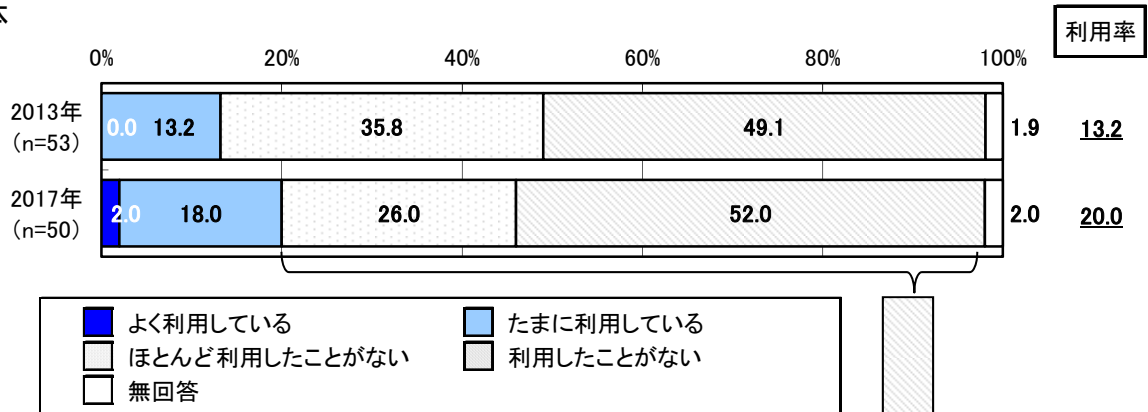
キャリアセンターの利用率は20.0%と、2013年よりも利用率は上昇しているものの、回答者の多くはキャリアセンターを利用していない。

利用しない理由は、「就職活動をする予定がないから」（43.6%）、「現段階で進路・就職サポートは不要だから」（38.5%）の2項目の割合が高く、2013年では比較的上位であった「利用の仕方がわからないから」「キャリアセンターに入りにくいから」は15ポイント以上低下している。

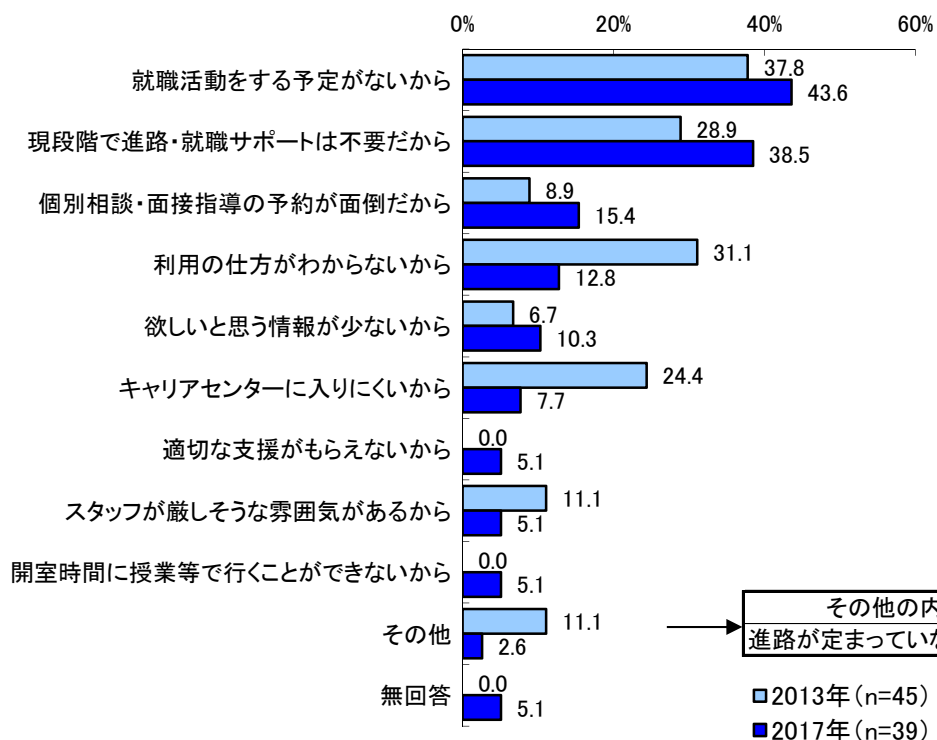
※利用率＝「よく利用している」＋「たまに利用している」

### 【E 進路・就職サポート体制について】

#### ■全体



#### <利用しない理由>



その他の内訳	件数
進路が定まっていないから	1

■ 2013年 (n=45)  
■ 2017年 (n=39)

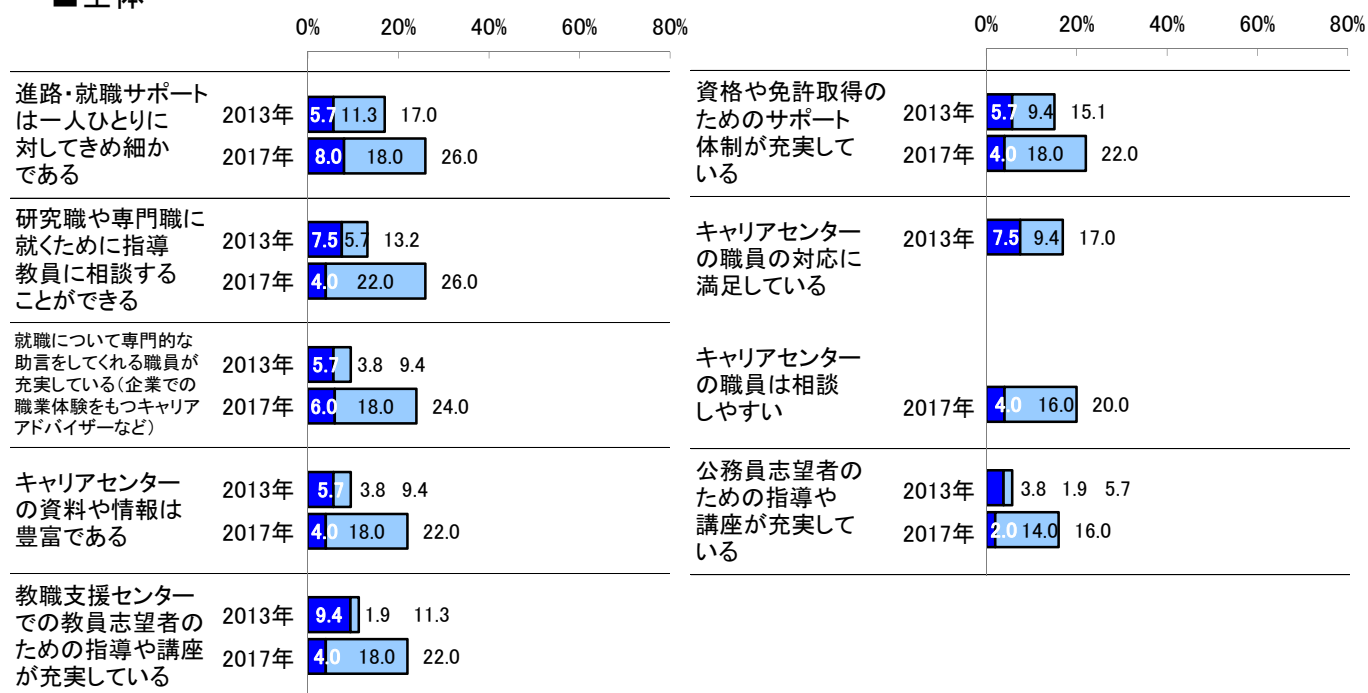
## 進路・就職サポート体制に対する評価は すべての項目で3割未満と低い

進路・就職サポート体制については評価が3割を超える項目はなく、全体的に評価は低い。  
ただ、2013年はすべての項目の評価が2割に満たなかったが、2017年には多くの項目で10ポイント以上評価が上昇している。

### 【E 進路・就職サポート体制について】

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

## 6. 「F.教育施設・設備など」の評価

教育施設・設備に関する項目で最も評価の高い項目は、  
《講義室など》「授業の形式に合った教室の設備が整っている」66.0%

教育施設・設備に関する項目は、いずれも6割台の評価。

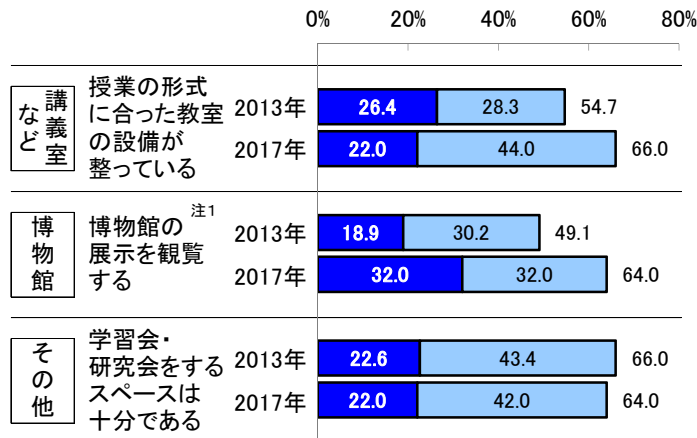
2013年と比較すると、「授業の形式に合った教室の設備が整っている」「博物館の展示を観覧する」は10ポイント以上評価が上昇している。

### 【F 教育施設・設備などについて】

2013年(n=53)

2017年(n=50)

#### ■全体



■とてもあてはまる □まああてはまる

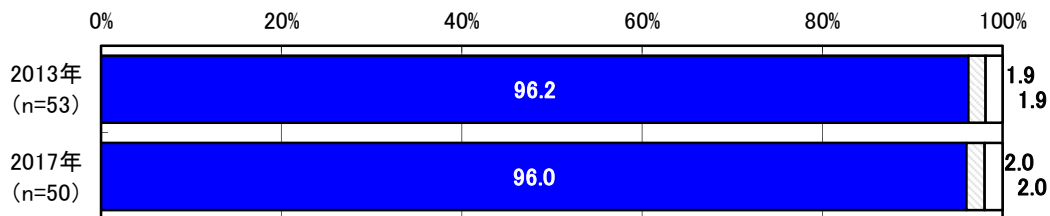
注1 2013年は「博物館の展示をよく見学する」

問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《図書館》の利用率は96.0% 2013年と変わらず、高い

《図書館》の利用率は96.0%で、2013年の96.2%と同様に高い利用率となっている。  
利用者の評価をみると、「資料の検索がしやすい」が72.9%で最も高く、次いで「蔵書の種類や冊数は十分である」68.8%、「開館日・開館時間は適切である」(60.4%)の順番となっており、上位3項目の評価に大きな変化はみられない。

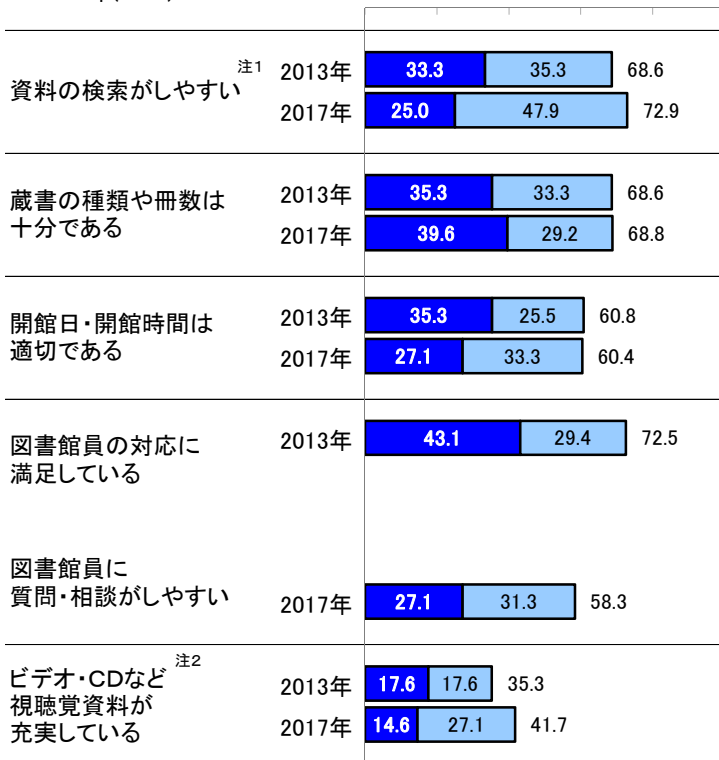
### ■全体



■ はい    □ いいえ    □ 無回答

2013年(n=51)  
2017年(n=48)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



図書館を利用しない理由  
本が足りている(修士)

■とてもあてはまる    □まああてはまる

注1 2013年は「探している本を検索しやすい」

注2 2013年は「ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している」

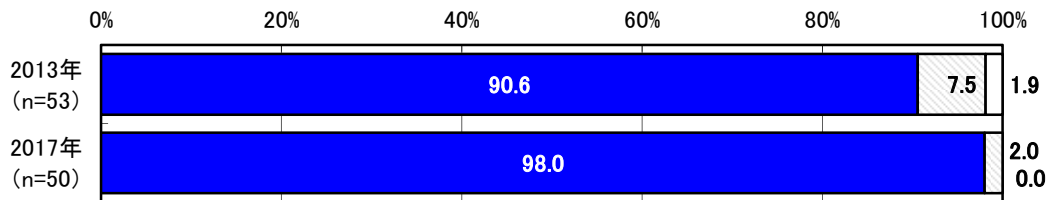
問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

## 《総合研究室》の利用率は98.0%、2013年より上昇

2013年に比べると利用率は7.4ポイント上昇し、回答者のほぼ全員が《総合研究室》を利用している。利用者の評価をみると、「参考書・基本文献・辞書など、研究に必要な基本的な資料がそろっている」と「利用したい時にパソコンが利用できる」の2項目で評価が7割を超えており、2013年より評価が上昇している。

『助教』に関連する項目では、3項目とも5割以上が肯定的な評価をしているものの、いずれも2013年より評価は低下している。

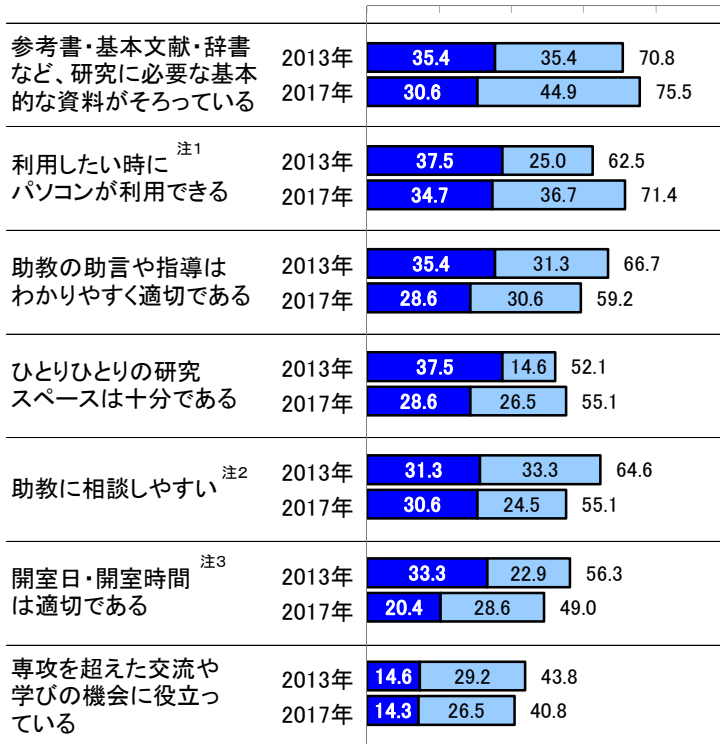
### ■全体



■ はい □ いいえ □ 無回答

2013年(n=48)  
2017年(n=49)

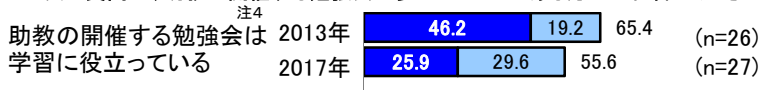
0% 20% 40% 60% 80% 100%



総合研究室を利用しない理由  
教員に相談できるから(修士)

■ とてもあてはまる □ まああてはまる

※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。



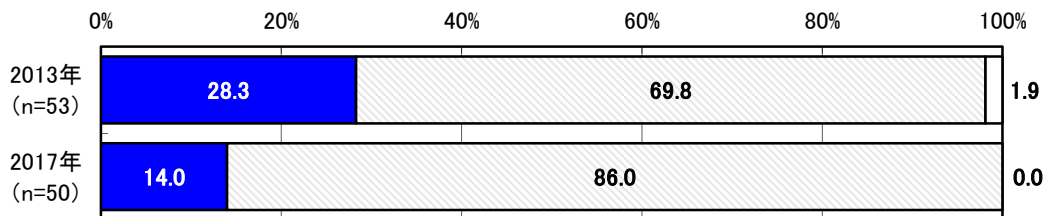
注1 2013年は「利用できるパソコンの台数は十分である」  
注2 2013年は「常駐している助教に相談しやすい」  
注3 2013年は「開室時間は適切である」  
注4 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」  
については回答者ベースで満足度を算出

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

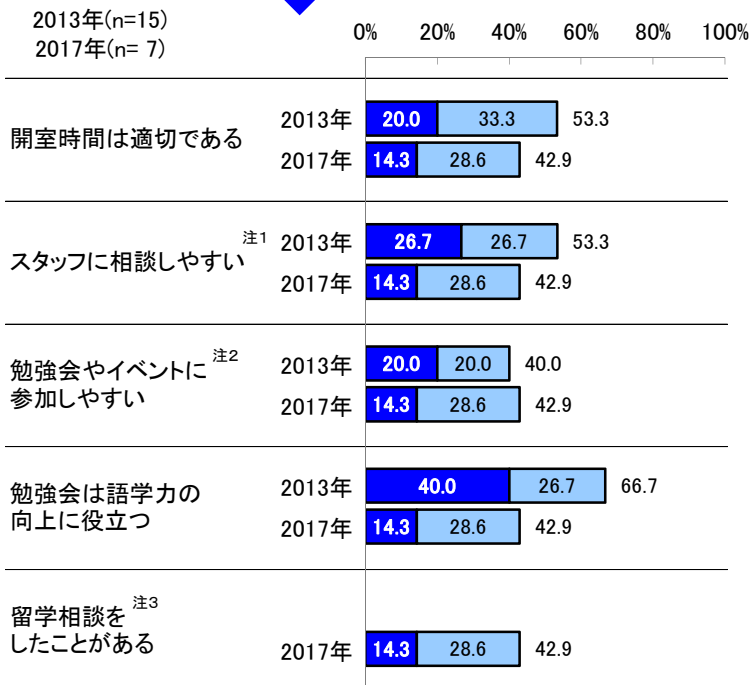
## 《GLOBAL SQUARE》の利用率は14.0%、2013年より低下

《GLOBAL SQUARE》の利用率は、2013年の28.3%から14.3ポイント低下し、14.0%。  
利用者（7名）の評価をみると、いずれの項目も42.9%。

### ■全体



■ はい □ いいえ □ 無回答



■ とてもあてはまる □ まああてはまる

GLOBAL SQUAREを利用しない理由	
利用する用事・機会がない	(修士7名、博士5名、不明1名)
留学・海外に興味がない	(修士7名、博士1名)
サービスの内容が不明瞭	(修士2名、博士1名)
外国や語学に関わりがない	(修士2名)
利用の仕方がわからない	(修士2名)
存在自体を知らない	(修士1名、不明1名)
入りにくい雰囲気がある	(修士)
利用のメリットを感じない	(修士)
利用する時間がない	(修士)
特になし	(修士)

注1 2013年は「常駐しているスタッフに相談しやすい」  
注2 2013年は「勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある」  
注3 2017年に新しく追加された項目



## 7. 「G.福利厚生施設・設備など」の評価

### 評価の高い福利厚生施設・設備は、《学内コンビニエンスストア》

《慶間館》については、「トイレは利用しやすい」が88.0%と突出して高く、「カフェをよく利用する」は50.0%、「学生ロビー（ミナイル・プラザ）をよく利用する」は42.0%。

《学内食堂》については、イベントやメニュー展開への評価が5割弱、他2項目は3割台の評価。

《学内コンビニエンスストア》については、品数・価格帯、営業時間とも評価は5割台。

《学内書店》については、種類・価格帯への評価が5割弱、営業時間への評価が4割弱。

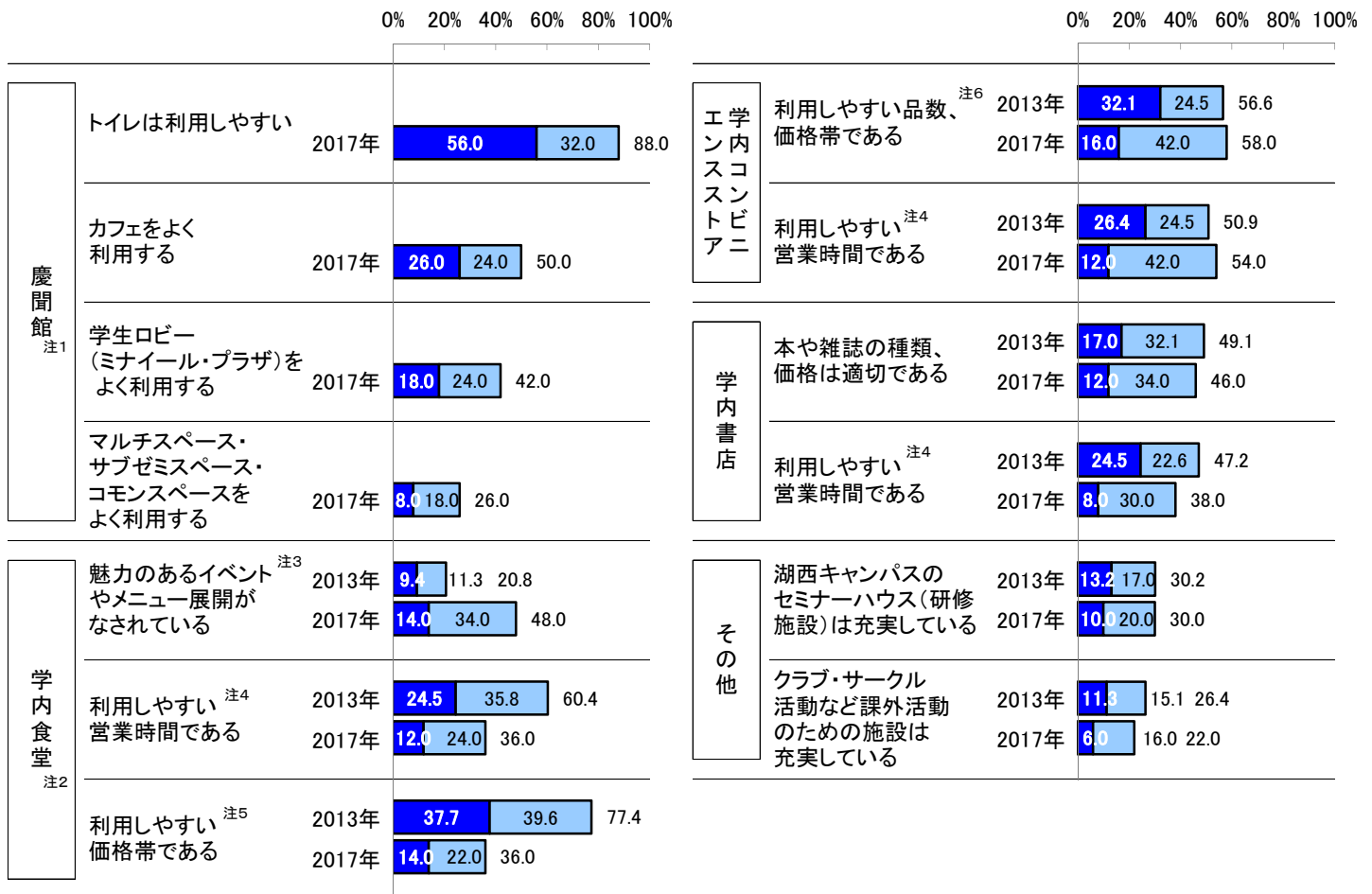
《その他》の湖西キャンパスのセミナーハウス（研修施設）、クラブ・サークル活動など課外活動のための施設への評価は3割以下と依然低い。

### 【G 福利厚生施設・設備などについて-1】

#### ■全体

2013年(n=53)

2017年(n=50)



■とてもあてはまる □まああてはまる

注1 2017年に新しく追加された項目  
 注2 2013年は「食堂」  
 注3 2013年は「メニューが充実している」  
 注4 2013年は「営業時間は適切である」  
 注5 2013年は「価格は適切である」  
 注6 2013年は「品数、価格は適切である」

## 8. 「H.その他」の評価

「その他」の項目に対する評価で最も評価の高い項目は、  
「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」80.0%

その他の項目については、「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」の評価が80.0%と最も高く、次いで、「通学のための交通の便がよい」（76.0%）、「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」（68.0%）と続く。

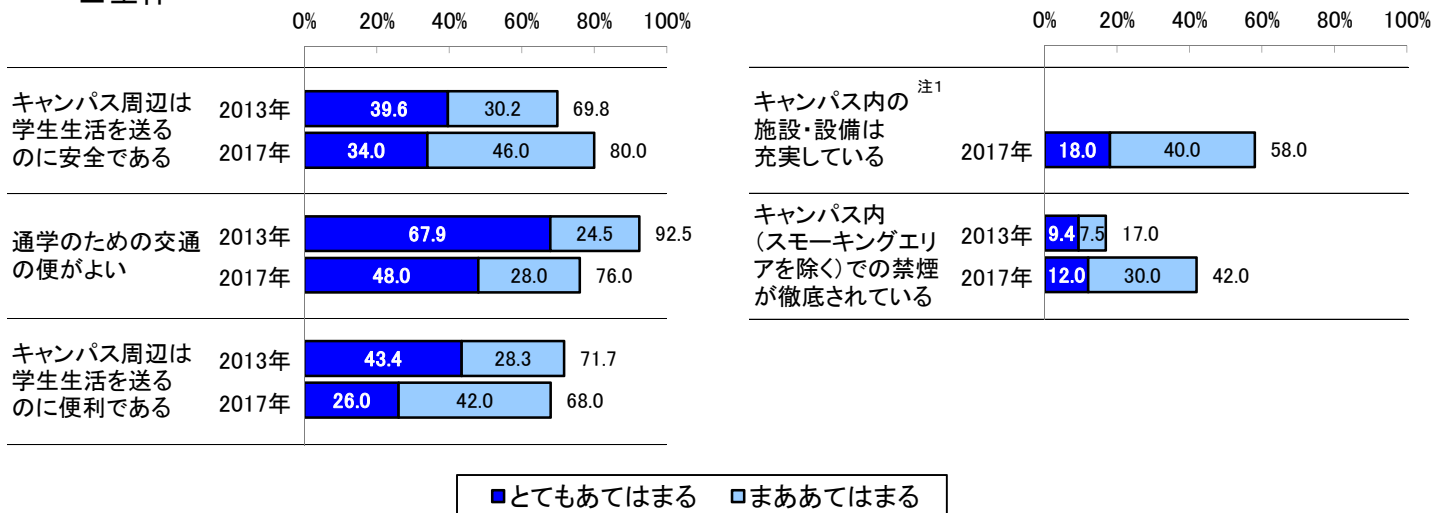
2013年と比較すると、「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」は約10ポイント評価が上昇している。「キャンパス内（スモキングエリアを除く）での禁煙が徹底されている」も25.0ポイント上昇しているものの評価としては42.0%と、依然として5割未満にとどまる。

一方、「通学のための交通の便がよい」は2013年よりも16.5ポイント評価が低下している。

### 【H その他】

2013年(n=53)  
2017年(n=50)

#### ■全体



注1 2017年に新しく追加された項目

## 9. 各カテゴリーの満足度

### 各カテゴリーの満足度\*

1位：「C. 教員」88.0%

2位：「B. 学びの環境」「H. その他」76.0%

3位：「A. 授業」68.0%

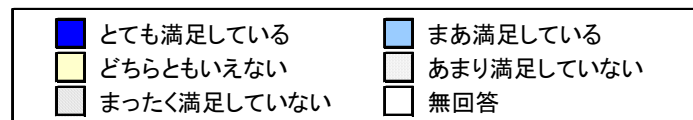
各カテゴリーの満足度上位は、「C.教員」「B.学びの環境」「H.その他」「A.授業」と、学びに関連するカテゴリーが多くあがる。特に「C.教員」は「とても満足している」の割合が5割を超えており、満足度が高い。

一方、「E.進路・就職サポート体制」に対する満足度は低く、2割半ばにとどまる。

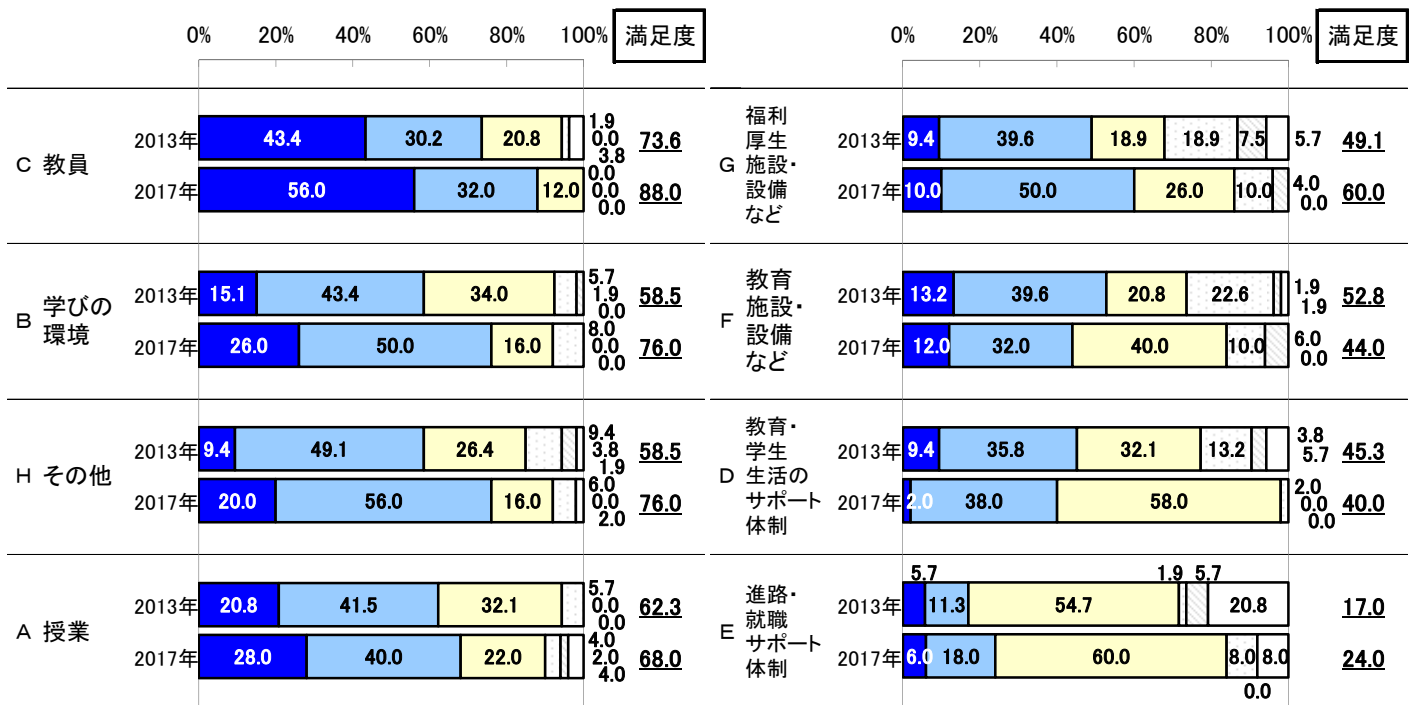
2013年度と比較すると、8カテゴリー中6カテゴリーで満足度が上昇しており、特に「B.学びの環境」「H.その他」では、それぞれ17.5ポイント上昇している。反対に、「F.教育施設・設備など」「D.教育・学生生活のサポート体制」の満足度は2013年より低下している。

※満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

### ■全体



2013年(n=53)  
2017年(n=50)



## IV. 大谷大学大学院に対する満足度について

### 1. 大谷大学大学院への満足度

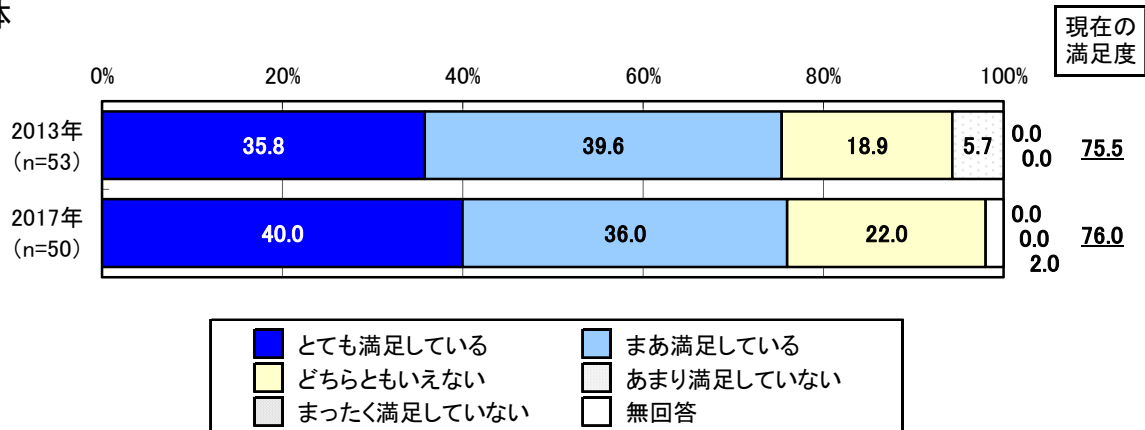
Q7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

#### 大谷大学大学院への満足度※は76.0%

大谷大学大学院に対する現在の満足度は76.0%で、2013年と比べて大きな変化はみられない。

※現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

#### ■全体



## 付 調査票

# より良い学びの場をめざして

大谷大学 在学生満足度アンケート

2017年11月

大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために、学生のみなさんの文学部・短期大学部に対する満足度調査を実施することにしました。

ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定するようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。また、必ず最後の質問まで回答してくださるようお願いします。

## 《注意事項》

- ①アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ②記入は授業時間内で終了するようにし、記入後は教卓に提出してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料にして評価を記入してください。
- ④記入後、調査票を提出した方から帰っていただいて結構です。  
調査票は持ち帰らず、必ず提出して帰ってください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属学部・学科 (1つに○)	<p>【文 学 部】 1. 真宗学科 2. 仏教学科 3. 哲学科          4. 社会学科 5. 歴史学科 6. 文学科          7. 国際文化学科 8. 人文情報学科 9. 教育・心理学科          【短期大学部】 10. 仏教科 11. 幼児教育保育科</p>
学 年 (1つに○)	1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年 4. 第4学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
本学へ入学した際の 入試の種類 (1つに○)	1. アドミッション・オフィス入試 2. 自己推薦入試 3. 公募制推薦入試 A方式 小論文型 4. 公募制推薦入試 B方式 2教科型 5. 指定校制推薦入学制度 6. 一般入試 第1期 (2月初旬実施) 7. 一般入試 第2期 (2月中旬実施) 8. 一般入試 第3期 (3月初旬実施) 9. 大学入試センター試験利用入試 10. 文学部第3学年編入試 (推薦編入試・社会人編入試含む)
受験時の本学の 志望順位 (1つに○)	1. 第1志望 2. 第2志望 3. 第3志望以下
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった
現在の居住形態 (1つに○)	1. 自宅 2. 下宿 (アパート・マンション等での一人暮らし) 3. 学生寮 (本学学寮を含む) 4. その他
アルバイトについて (1つに○)	1. したことがない 2. 以前していたが、現在はしていない 3. 長期休暇のときのみする 4. 現在しており、週1～2日程度 5. 現在しており、週3～4日程度 6. 現在しており、週5日以上
クラブ・サークル 活動について (1つに○)	1. 学内のクラブ・サークルに加入している 2. 学外のクラブ・サークルに加入している 3. 学内・学外のクラブ・サークル両方に加入している 4. クラブ・サークルには加入していない
あなたの学費は誰が 負担していますか (1つに○)	1. 全額家庭から 2. 大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から 3. 大部分をアルバイト収入や奨学金から 4. 金融機関の教育ローン 5. その他の援助など ( )

## I あなたの大谷大学進学について

Q 1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 学問的知識や専門的技術を身につけたいから | 6. 学生生活を楽しまたいから        |
| 2. 幅広い教養を身につけたいから       | 7. 周囲の友だちが進学するから       |
| 3. 取得したい資格や免許があるから      | 8. 家族、先生、先輩などが進学を勧めるから |
| 4. 就職するときに有利だから         | 9. 特に目的はない             |
| 5. 社会に出たとき、学歴が必要だから     | 10. その他 ( )            |

Q 2 あなたが大谷大学に入学を決めた際の理由は何ですか。あてはまる番号3つに○をつけてください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学びたい学科・分野があるから       | 14. 資格や免許が取得できるから       |
| 2. 興味をもてそうな授業が多いから      | 15. 留学や海外研修の制度が充実しているから |
| 3. 教員と学生の距離が近いから        | 16. 就職率が高いから            |
| 4. 指導を受けたい教員がいるから       | 17. 学費が安いから             |
| 5. 施設や設備が充実しているから       | 18. 奨学金制度が充実しているから      |
| 6. キャンパスや校舎がきれいだから      | 19. 歴史や伝統がある大学だから       |
| 7. キャンパスの周囲の環境がよいから     | 20. オープンキャンパスが好印象だったから  |
| 8. 交通の便がよいから            | 21. 高校の先生に勧められたから       |
| 9. クラブ・サークル活動が活発だから     | 22. 家族に勧められたから          |
| 10. 学生生活を楽しめそうな雰囲気があるから | 23. 志望していた大学に合格しなかったから  |
| 11. 仏教系の大学だから           | 24. 入試難易度が自分に合っていたから    |
| 12. 建学の理念（人間重視）に共感したから  | 25. その他 ( )             |
| 13. 京都にある大学だから          |                         |

Q 3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。  
以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 一般企業へ就職        | 7. 宗教関係（自坊を含む）へ就職 |
| 2. 公務員として就職       | 8. 福祉施設へ就職        |
| 3. 中学校・高校の教員として就職 | 9. 進学             |
| 4. 小学校の教員として就職    | 10. 未定            |
| 5. 幼稚園教諭として就職     | 11. その他 ( )       |
| 6. 保育士として就職       |                   |



## Ⅱ あなたの大谷大学での取り組みについて

Q 4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身につけてきたと思いますか。  
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=十分身につけてきた 4=ある程度身につけてきた 3=どちらともいえない 2=あまり身につけていない 1=まったく身につけていない

- |                                           |                   |
|-------------------------------------------|-------------------|
| 1. 学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力                | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 基礎的なレベルでの外国語運用能力（読解・会話・表現）             | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. 日本語を正確に読解し、論理的に表現し、議論する<br>コミュニケーション能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 自分や他者を理解し、主体的に様々な問題解決に取り組む力            | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. 社会人として必要な一般常識やマナー                      | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. プレゼンテーション能力                            | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. パソコン操作や情報処理技能                          | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

※ ここからの8～10は、あなたが所属する学部・学科に該当する文を読み、回答してください。

- |                                                                                                        |   |                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-------------------|
| 8. 【文学部】人間・社会・自然環境についての幅広い視野や考え方<br>【短大・仏教科】人間・社会についての幅広い視野や考え方<br>【短大・幼児教育保育科】教育・保育についての幅広い視野や考え方     | } | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 9. 【文学部】人間・社会・自然環境に関する課題を設定する力<br>【短大・仏教科】人間・社会に関する課題を設定する力<br>【短大・幼児教育保育科】教育・保育に関する課題を設定する力           | } | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 10. 【文学部】人間・社会・自然環境の様々な問題や課題を分析する力<br>【短大・仏教科】人間・社会の様々な問題や課題を分析する力<br>【短大・幼児教育保育科】教育・保育の様々な問題や課題を分析する力 | } | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

Q 5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。  
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

- |                                          |                   |
|------------------------------------------|-------------------|
| 1. 大学に来ることが楽しい                           | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 大谷大学に親しみを感じる                          | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. 自己の欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている          | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 自分の生き方について考えている                       | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. ものごとに対して思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う       | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. ものごとに対して自分なりの意見（問題発見や課題設定）や考えをもっている   | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. 自分と違う意見でも、他者を理解し、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う                 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

### Ⅲ 大谷大学での学業について

Q 6 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

ほとんど出席している	8～9割程度出席している	6～7割程度出席している	半分程度出席している	出席は半分以下である
5	4	3	2	1

Q 7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. 授業内容が理解できないから     | 7. アルバイトを重視するから    |
| 2. 授業内容に物足りなさを感じるから  | 8. 出席をとらないから       |
| 3. 授業で発言の機会が少ないから    | 9. クラスの雰囲気になじめないから |
| 4. 担当教員に不満があるから      | 10. 生活リズムが合わないから   |
| 5. 友人との付き合いを重視するから   | 11. その他 ( )        |
| 6. クラブ・サークル活動を重視するから |                    |

Q 8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

ほぼすべての授業が理解できる	だいたいの授業は理解できる	半分くらいの授業は理解できる	理解できない授業が多い	ほとんどの授業が理解できない
5	4	3	2	1

Q 9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 授業内容が専門的すぎるから    | 6. 高校で履修しなかった科目の知識が必要だから |
| 2. 授業の進み方が速すぎるから    | 7. 自分の予習や準備が不足しているから     |
| 3. 授業内容に興味を持ってないから  | 8. 自分の意欲が不足しているから        |
| 4. 履修すべき単位数が多すぎるから  | 9. その他 ( )               |
| 5. 教員の指導や助言が十分でないから |                          |

## Ⅳ 大谷大学に対する評価や満足度について

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。  
 それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる    4=まああてはまる    3=どちらともいえない    2=あまりあてはまらない    1=まったくあてはまらない

### 【A 大谷大学での授業について】

1. 本学での授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |                              |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1) 専門的な知識・技能が身につく授業が多い       | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 3) 興味をもてる授業が多い               | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 4) 内容をよく理解できる授業が多い           | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 5) 資格取得に役立ちそうな授業が多い          | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 6) 将来の進路に役立ちそうな授業が多い         | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 7) 現代的な課題について学べる授業が多い        | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い      | ..... | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

2. 本学での授業を全般的にみて、あなたはどのくらい満足していますか。あなたの気持ちに最も近い番号 1つに○ をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

**【B 大谷大学での学びの環境について】**

1. 本学での学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 高校と大学の学びをつなぐ教育（「学びの発見」など）が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 演習（ゼミ）での教育が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 外国語教育が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 選択できる授業科目が豊富に用意されている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 副専攻の授業科目を受講しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 1セメスターの登録単位数制限は適切である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 他大学との単位互換が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) Webシラバス（授業計画）は、時間割作成等に役立っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 留学や語学・文化研修など、国際交流プログラムが充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学での学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

**【C 大谷大学の教員について】**

1. 本学の教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 授業をよく工夫している教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 勉学意欲をもたせてくれる教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 学問分野の専門家として優れた教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い .. 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 指導教員は、学生のことを親身になって考えてくれる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学の教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

**【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】**

1. 本学の教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

＜教育に関するサポート＞

- 1) 入学時のオリエンテーションが充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 外国語学習や海外研修などのサポート体制が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教務課の窓口に行きやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 「学びの発見」の授業では、TA（ティーチングアシスタント）に相談できる体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) TAのアドバイスはわかりやすく、適切である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

＜学生生活に関するサポート＞

- 9) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) 休学や留年をした場合のサポート体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 14) クラブ・サークルなど課外活動に対する理解やサポート体制（助成金など）が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 15) 学園祭（紫明祭）への理解やサポート体制が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 16) 学生支援課の窓口に行きやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学の教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号 1 つに ○ をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

**【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】**

1. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |              |                |                  |
|--------------|----------------|------------------|
| 1. よく利用している  | ┌───┐<br>└───┘ | 3. ほとんど利用したことがない |
| 2. たまに利用している |                | 4. 利用したことがない     |



「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きます。利用しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 現段階で進路・就職サポートは不要だから | 6. スタッフが厳しそうな雰囲気があるから   |
| 2. 就職活動をする予定がないから      | 7. 個別相談・面接指導の予約が面倒だから   |
| 3. 適切な支援がもらえないから       | 8. 開室時間に授業等で行くことができないから |
| 4. 欲しいと思う情報が少ないから      | 9. 利用の仕方がわからないから        |
| 5. キャリアセンターに入りにくいから    | 10. その他 ( )             |

2. 本学の進路・就職サポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |                                                    |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1) 1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である                     | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 2) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細かである                      | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 3) キャリアセンターの資料や情報が豊富である                            | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 4) 就職について専門的な助言をしてくれる<br>(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 5) 就職に関するガイダンスや対策講座が充実している                         | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 6) 適性検査や採用試験対策模試などが充実している                          | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 7) インターンシップなど、学外での体験制度が充実している                      | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 8) 公務員志望者のための指導や講座が充実している                          | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 9) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している                        | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 10) 大学院進学のための資料や情報が豊富である                           | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 11) 卒業生（OB・OG）に話を聞く機会が充実している                       | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 12) キャリアセンターの職員は相談しやすい                             | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 13) 教職支援センターでの教員志望者のための指導や講座が充実している                | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

3. 本学の進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

**【F 大谷大学の福利厚生施設・設備などについて】**

1. 本学の福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |             |                                    |   |   |   |   |   |
|-------------|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 《慶間館》       | 1) カフェをよく利用する                      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 2) 学生ロビー（ミナイル・プラザ）をよく利用する          | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 3) マルチスペース・サブゼミスペース・コモンスペースをよく利用する | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 4) トイレは利用しやすい                      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内食堂》      | 5) 利用しやすい営業時間である                   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 6) 魅力のあるイベントやメニュー展開がなされている         | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 7) 利用しやすい価格帯である                    | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内コンビニストア》 | 8) 利用しやすい営業時間である                   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 9) 利用しやすい品数、価格帯である                 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内書店》      | 10) 利用しやすい営業時間である                  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 11) 本や雑誌の種類、価格は適切である               | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《その他》       | 12) クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 13) 湖西キャンパスのセミナーハウス（研修施設）は充実している   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような本学の福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

**【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】**

1. 本学の教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

《講義室など》	1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている ……	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	2) 利用できるパソコンの台数は十分である ……	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	3) スタッフに質問・相談がしやすい ……	5	—	4	—	3	—	2	—	1
《博物館》	4) 博物館の展示を観覧する ……	5	—	4	—	3	—	2	—	1
《体育館》	5) 体育館・湖西キャンパスの体育施設は充実している	5	—	4	—	3	—	2	—	1

2. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい →

「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。

2. いいえ

- |                            |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a) 開館日・開館時間は適切である ……       | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b) 資料の検索がしやすい ……           | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c) 蔵書の種類や冊数は十分である ……       | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d) ビデオ・CDなど視聴覚資料が充実している …… | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| e) 図書館員に質問・相談がしやすい ……      | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい →

「1. はい」に○をつけた方は、a)～f)の質問に答えてください。

2. いいえ

- |                             |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a) 開室日・開室時間は適切である ……        | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b) 利用したい時にパソコンが利用できる ……     | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c) 学科を超えた交流や学びの機会に役立っている …… | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d) 助教に相談しやすい ……             | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| e) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である ……  | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。

- |                            |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| f) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている …… | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。



**【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】**

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。

2. いいえ
- |                    |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である      | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b) スタッフに相談しやすい     | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c) 勉強会やイベントに参加しやすい | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d) 勉強会は語学力の向上に役立つ  | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| e) 留学相談をしたことがある    | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。

2. いいえ
- |                                        |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である                          | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい                   | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている                     | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d) 教職支援センター日より『大谷教師塾』には<br>役立つ情報が載っている | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| e) 教職員は教職について専門的な助言をしてくれる              | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

6. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きします。

あなたは《実習支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に答えてください。

2. いいえ
- |                      |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|----------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である        | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている   | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| d) 実習手続きの窓口として適切である  | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

**【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】**

7. 短期大学部の方にお聞きします。

あなたは、短期大学部の《一般研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。

- 1. はい →
- 2. いいえ

「1. はい」に○をつけた方は、a)、b)の質問に答えてください。

a) 開室時間は適切である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

b) 常駐している助教や室員に相談しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、短期研究室を利用しない理由を聞かせてください。

8. すべての方にお聞きします。

上記にあげたような本学の教育施設・設備（10～11ページも含めて）を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

**【H その他】**

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) キャンパス内の施設・設備は充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) キャンパス内（スモークングエリアを除く）での禁煙が徹底されている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 通学のための交通の便がよい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

## V 大谷大学の建学の理念・目的について

大谷大学には、「**仏教精神にもとづいた人間教育を行い、真実を求め、現実から目をそらさず、あるべき社会や人間のあり方を探究する人物を育成し、人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する**」という建学の理念があります。この理念は【人間が大好きです。】や【Be Real 寄りそう知性】というメッセージとして象徴的に表されています。  
これについて、以下の設問に答えてください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学に入学する前から知っていた
2. 大学に入学してから知った
3. 今回初めて知った

Q11-2 あなたは、上記のような建学の理念、目的として表明されている学びの内容や姿勢を、  
どのような機会に感じることがありますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 「人間学」や「仏教と人間」の授業
2. 導入科目（「学びの発見」）の授業
3. 演習（ゼミ）の授業
4. 各種講義
5. 各教員による個別指導
6. 総合研究室での助教による指導
7. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート
8. クラブ・サークル等の課外活動
9. 資格取得のための各種実習
10. インターンシップ
11. マルチスペースやカフェ等での自由な談話
12. 各種宗教行事
13. その他（ )

## Ⅵ 大谷大学に対する満足度について

Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

Q13 大谷大学に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください（記述スペース不足の場合は、次ページの余白をご利用ください）。

\*\*\*質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*

# より良い学びの場をめざして

大谷大学大学院 在学生満足度アンケート

2017年11月

大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために、学生のみなさんの大学院に対する満足度調査を実施することにしました。

ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定するようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。また、必ず最後の質問まで回答して下さるようお願いいたします。

## 《注意事項》

- ①アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ②記入は授業時間内で終了するようにし、記入後は教卓に提出してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料にして評価を記入してください。
- ④記入後、調査票を提出した方から帰っていただいて結構です。  
持ち帰って回答する場合は、2017年11月24日（金）までに企画課（博綜館1階）もしくは、総合研究室に備え付けられた回収ボックスに投函してください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属研究科・専攻 (1つに○)	【文学研究科】 1. 真宗学専攻 2. 仏教学専攻 3. 哲学専攻 4. 社会学専攻 5. 仏教文化専攻 6. 国際文化専攻 7. 教育・心理学専攻
学 年 (1つに○)	1. 修士課程第1学年 2. 修士課程第2学年 3. 博士後期課程第1学年 4. 博士後期課程第2学年 5. 博士後期課程第3学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
修士課程の方に、 博士後期課程進学に ついてお聞きします (1つに○)	1. ぜひ進学したいと思っている 2. できれば進学したいと思っている 3. 進学は考えていない
博士後期課程の方に、 課程修了について お聞きします (1つに○)	1. ぜひ課程修了したいと思っている (学位論文を提出し、学位を取る) 2. できれば課程修了したいと思っている 3. 課程修了は考えていない
出身大学 (1つに○)	1. 大谷大学 2. 他大学
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった

## I あなたの大谷大学大学院での学業・取り組みについて

Q 1 あなたが大谷大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから
2. 希望する指導教員や研究対象が本学にあったから
3. 将来、研究者になることをめざしていたから
4. 資格や免許取得に有利だから
5. めざす分野での就職に有利だから
6. 将来について考える時間が欲しかったから
7. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

Q 2 あなたが、大谷大学大学院で意欲的に取り組んでいることは何ですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 専門分野の研究
2. 資格・免許取得のための勉強
3. 就職のための準備
4. ボランティア活動
5. アルバイト
6. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。  
 あてはまる番号1つに○をつけてください。

順調である	どちらかといえば 順調である	どちらとも いえない	どちらかといえば 不調である	不調である
5	4	3	2	1

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分に  
 あてはまると感じますか。  
 それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

- 1. 大学院での勉学が楽しい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2. 大谷大学大学院に親しみを感じる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3. 欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4. 自分の生き方について考えている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5. ものがとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6. ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7. 自分と違う意見でも、多様な考え方の一つとして尊重しようと思う .. 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9. 専攻における専門知識が身についている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10. 専攻に必要な問題発見力や探求力が身についている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11. 専攻に必要な読解力や表現力が身についている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12. 学際的視野が身についている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

## Ⅱ 大谷大学大学院に対する評価や満足度について

Q 5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。  
 それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

### 【A 授業について】

1. 授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |                              |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1) 専門的な知識・技能が身につく授業が多い       | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 3) 興味をもてる授業が多い               | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 4) 内容をよく理解できる授業が多い           | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 5) 資格取得に役立ちそうな授業が多い          | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 6) 将来の進路に役立ちそうな授業が多い         | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 7) 現代的な課題について学べる授業が多い        | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い      | 5 | - | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

2. 授業を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1



**【B 学びの環境について】**

1. 学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 演習（ゼミ）での研究指導が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 外国語を学ぶ多様な機会が用意されている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 関連科目に興味ある科目が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 資格や免許取得のための授業が受講しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 他大学大学院との単位互換が充実している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) We bシラバス（授業計画）を、研究計画等に活用している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 専門領域の基礎を学び直すことができる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 自分の興味・関心を追求することができる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) ゼミでの発表の機会が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ゼミ以外での発表の機会が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 学会誌等への投稿機会が整っている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 国際的な学术交流の機会が多い ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) 教えることを体験する機会としてのT A、情報アシスタント等に参加することについて、  
あなたはどのように思いますか。自由にお書きください。

2. 学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。  
また、その理由をご記入ください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

**理由**

**【C 教員について】**

1. 教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 高度な内容をわかりやすく伝えるように工夫している ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 学生の指導に熱意をもっている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 研究意欲を喚起してくれる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 学問分野の専門家として優れている ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 授業以外でも教員に気軽に質問等ができる ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い .. 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。  
また、その理由をご記入ください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

理由

**【D 教育・学生生活のサポート体制について】**

1. 教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

＜教育に関するサポート＞

- 1) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 資格取得に関する履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 海外研修や留学などのサポート体制が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教務課の窓口に行きやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

＜学生生活に関するサポート＞

- 7) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 休学や留年をした場合のサポート体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 学生支援課の窓口に行きやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

**【E 進路・就職サポート体制について】**

1. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- |              |   |                  |
|--------------|---|------------------|
| 1. よく利用している  | ↓ | 3. ほとんど利用したことがない |
| 2. たまに利用している |   | 4. 利用したことがない     |

「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 就職活動をする予定がないから      | 6. スタッフが厳しそうな雰囲気があるから   |
| 2. 現段階で進路・就職サポートは不要だから | 7. 個別相談・面接指導の予約が面倒だから   |
| 3. 適切な支援がもらえないから       | 8. 開室時間に授業等で行くことができないから |
| 4. 欲しいと思う情報が少ないから      | 9. 利用の仕方がわからないから        |
| 5. キャリアセンターに入りにくいから    | 10. その他 ( )             |

2. 進路・就職サポートに関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |                                                             |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------------------------------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細かである                               | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 2) キャリアセンターの資料や情報は豊富である                                     | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 3) 就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している<br>(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 4) 研究職や専門職に就くために指導教員に相談することができる                             | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 5) 公務員志望者のための指導や講座が充実している                                   | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 6) 教職支援センターでの教員志望者のための指導や講座が充実している                          | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 7) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している                                 | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |
| 8) キャリアセンターの職員は相談しやすい                                       | ..... | 5 | — | 4 | — | 3 | — | 2 | — | 1 |

3. 進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号 1 つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

【F 教育施設・設備などについて】

1. 教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

《講義室など》	1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
《博物館》	2) 博物館の展示を観覧する	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
《その他》	3) 学習会・研究会をするスペースは十分である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1

2. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。

2. いいえ	a) 開館日・開館時間は適切である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	b) 資料の検索がしやすい	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	c) 蔵書の種類や冊数は十分である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	d) ビデオ・CDなど視聴覚資料が充実している	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	e) 図書館員に質問・相談がしやすい	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～h)の質問に答えてください。

2. いいえ	a) 開室日・開室時間は適切である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	b) 利用したい時にパソコンが利用できる	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	c) 参考書・基本文献・辞書など、研究に必要な基本的な資料がそろっている	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	d) ひとりひとりの研究スペースは十分である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	e) 専攻を超えた交流や学びの機会に役立っている	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	f) 助教に相談しやすい	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
	g) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1

※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。

h) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている	…	5	—	4	—	3	—	2	—	1
-------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。

**【F 教育施設・設備などについて 続き】**

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。

2. いいえ
- a) 開室時間は適切である ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
  - b) スタッフに相談しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
  - c) 勉強会やイベントに参加しやすい ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
  - d) 勉強会は語学力の向上に役立つ ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
  - e) 留学相談をしたことがある ..... 5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. 上記にあげたような教育施設・設備（前ページも含めて）を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

理由

**【G 福利厚生施設・設備などについて】**

1. 福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- |             |                                          |   |   |   |   |   |
|-------------|------------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 《慶間館》       | 1) カフェをよく利用する .....                      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 2) 学生ロビー（ミナイル・プラザ）をよく利用する .....          | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 3) マルチスペース・サブゼミスペース・コモンスペースをよく利用する ..... | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 4) トイレは利用しやすい .....                      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内食堂》      | 5) 利用しやすい営業時間である .....                   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 6) 魅力のあるイベントやメニュー展開がなされている .....         | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 7) 利用しやすい価格帯である .....                    | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内コンビニストア》 | 8) 利用しやすい営業時間である .....                   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 9) 利用しやすい品数、価格帯である .....                 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内書店》      | 10) 利用しやすい営業時間である .....                  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 11) 本や雑誌の種類、価格は適切である .....               | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《その他》       | 12) クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している .....  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|             | 13) 湖西キャンパスのセミナーハウス（研修施設）は充実している .....   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

**【H その他】**

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- |                                           |                   |
|-------------------------------------------|-------------------|
| 1) キャンパス内の施設・設備は充実している .....              | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2) キャンパス内 (スモーキングエリアを除く) での禁煙が徹底されている ... | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3) 通学のための交通の便がよい .....                    | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である .....           | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である .....           | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号 1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

**Ⅲ 大谷大学の建学の理念・目的について**

大谷大学には、「**仏教精神にもとづいた人間教育を行い、真実を求め、現実から目をそらさず、あるべき社会や人間のあり方を探究する人物を育成し、人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する**」という建学の理念があります。この理念は【人間が大好きです。】や【Be Real 寄りそう知性】というメッセージとして象徴的に表されています。

これについて、以下の設問に答えてください。

**Q6-1** あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。  
あてはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 大学院に入学する前から知っていた
2. 大学院に入学してから知った
3. 今回初めて知った

**Q6-2** あなたは、上記のような建学の理念、目的として表明されている学びの内容や姿勢を、  
どのような機会に感じるがありますか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 「仏教の視点」の授業     | 7. 院生間での勉強会                 |
| 2. 「専攻交流演習Ⅰ」の授業   | 8. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート |
| 3. 演習(ゼミ)の授業      | 9. マルチスペースやカフェ等での自由な談話      |
| 4. 各種講義           | 10. 各種宗教行事                  |
| 5. 各教員による個別指導     | 11. その他( )                  |
| 6. 総合研究室での助教による指導 |                             |



#### Ⅳ 大谷大学大学院に対する満足度について

- Q 7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

- Q 8 大谷大学大学院に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください（記述スペース不足の場合は、次ページの余白をご利用ください）。

\*\*\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\*\*\*